

# 事務事業評価シート（1/2）

136 頁  
令和 5年 9月 5日

整理番号 0046  
 評価年度 令和 4年度 進捗区分 評価完了  
 所属 1405 福祉部福祉政策課  
 事務事業番号 00588 成年後見制度利用支援事業

所属長名 小石 明子  
 記入者 木村 友樹

【基本情報】

総合計画	03	大津市総合計画 第2期実行計画				
基本方針	001	子どもから高齢者までが輝いて、魅力あふれるまちを創ります				
基本政策	002	心豊かに暮らせる、福祉が充実したまちにします				
施策	006	安定した社会保障制度の運営				
取組の方向性	003	地域福祉活動の推進				
事務事業	010	成年後見制度利用支援事業				
新規継続区分	継続					
運営方法	その他					
評価区分	対象	主な取組区分	対象			
根拠法令等	大津市成年後見制度利用支援条例					
事業概要	(事業概要) 成年後見制度は判断能力が不十分で、財産管理、身上監護についての契約や遺産分割などの法律行為を自分で行なうことが困難な方を保護し、支援する制度である。今後、高齢化が進む中、権利擁護や成年後見に係る相談窓口の重要性は増し、複雑で専門的な支援が求められる。地域包括支援センターや障害者生活支援センターとの連携を図りながら、より対応が困難な専門的技術による相談を行う権利擁護サポートセンターを設置している。					
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	(事業を取りまく社会環境) 介護保険制度や障害者総合支援法が整備される一方で、その制度の活用を自ら行うことができない判断能力の不十分な方が増加しており、このような対象者への支援が必要とされている。 (見直しや改善等の経過) 令和3年4月1日から成年後見人等への報酬助成金に係る要綱の一部改正を行った。また、令和4年3月に成年後見制度利用促進計画を策定したことに伴い、令和4年6月から権利擁護サポートセンタの機能を充実させ、権利擁護支援の中核機関として位置づけ、成年後見制度のさらなる利用促進を図っている。令和5年度から中核機関の機能を拡充した。					

【事業分析】

対象(何又は誰を)	認知症高齢者、知的障害者、精神障害者など判断能力の不十分な者に対して
目的(何のために)	判断能力が不十分な方の、財産管理、身上監護についての契約や遺産分割などの法律行為を正当に行なってもらうために
手段(どのようなやり方で)	権利擁護サポートセンターに相談業務等を委託し、身寄りのない等の理由で申立てが困難な方に対しては、市長による申立てを行い、また、低所得の高齢者及び障害者に対しては、成年後見人等の報酬の助成を行うことにより
成果(どのような状態にするのか)	成年後見制度が円滑に利用されるようにする。

【コスト】

(単位：千円)

	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
	決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト	19,879	24,893	29,483	29,483	29,483	29,483	29,483
事業費	15,994	21,078	24,025	24,025	24,025	24,025	24,025
国庫支出金	5,000	2,600	2,300	2,300	2,300	2,300	2,300
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	24	38	38	38	38	38	38
一般財源	10,970	18,440	21,687	21,687	21,687	21,687	21,687
人件費計	3,885	3,815	5,458	5,458	5,458	5,458	5,458
事務・技術(人)	0.35	0.35	0.35	0.35	0.35	0.35	0.35
技能労務(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度任用(人)	0.35	0.35	0.88	0.88	0.88	0.88	0.88
嘱託(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

# 事務事業評価シート（2/2）

137 頁  
令和 5年 9月 5日

整理番号 0046  
 評価年度 令和 4年度 進捗区分 評価完了  
 所属 1405 福祉部福祉政策課  
 事務事業番号 00588 成年後見制度利用支援事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-15-05-05-06-00-45-00	成年後見制度利用支援事業費	福祉部福祉政策課

【定量評価】

指標名	単位	上段：目標値 下段：実績値						
		令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
(活動)市長による成年後見申立件数	回	15.00	15.00	15.00	15.00	15.00	15.00	15.00
		14.00	17.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果)支援業務委託に係る相談件数	件	2,500.00	2,500.00	3,000.00	3,000.00	3,000.00	3,000.00	3,000.00
		2,917.00	2,436.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果)支援業務委託に係る申立支援件数	件	1,300.00	1,300.00	1,900.00	1,900.00	1,900.00	1,900.00	1,900.00
		1,870.00	1,880.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

【定性評価】

評価項目	評価の観点	基準	評価
1 妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A 妥当である	A
		B ほぼ妥当である	
		C あまり妥当ではない	
		D 妥当ではない	
評価理由	委託先は成年後見制度の専門的知識と専門職との連携を築いている		
2 有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A 上がっている	A
		B やや上がっている	
		C あまり上がっていない	
		D 上がっていない	
評価理由	市長申立や後見人等への報酬助成の件数が年々増加している。		
3 効率性	事業手法は効率的であるか	A 効率的である	A
		B やや効率的である	
		C あまり効率的でない	
		D 効率的でない	
評価理由	国の補助を受けながら、専門的知識を持つ委託先が実施している。		
4 施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A 貢献している	A
		B やや貢献している	
		C あまり貢献していない	
		D 貢献していない	
評価理由	誰もが安心して大津に住み続けるための施策として貢献度が高い。		
評価理由			

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	拡大
所属コメント (400文字)	国の成年後見制度利用促進基本計画に基づき、令和4年3月に大津市成年後見制度利用促進計画を策定し、令和4年6月に権利擁護サポートセンター内に中核機関を設置した。今後、計画に基づき、複雑化する課題にチームで対応することができるよう、関係機関や専門職、関連団体などによる地域連携のネットワークを築き、必要な方へ必要な支援が届けられるように取組を一層充実させていく。		

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	拡大
部局コメント (400文字)	今後も市民ニーズが増加していくと考えられることから、成年後見制度利用促進計画に基づき、関係機関等の地域連携のネットワークを築き、複雑化する課題に対応できるよう取組んでいく。		

# 事務事業評価指標一覧

評価年度 令和 4年度 進捗区分 評価完了  
 所属 1405 福祉部福祉政策課  
 総合計画 03 大津市総合計画 第2期実行計画  
 事務事業番号 00588 成年後見制度利用支援事業

上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
(活動)市長による成年後見申立件数	回	15.00	15.00	15.00	15.00	15.00	15.00	15.00
	指標説明	14.00	17.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		市長による成年後見申立件数						
(成果)支援業務委託に係る相談件数	件	2,500.00	2,500.00	3,000.00	3,000.00	3,000.00	3,000.00	3,000.00
	指標説明	2,917.00	2,436.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		権利擁護・成年後見制度利用に係る相談委託件数						
(成果)支援業務委託に係る申立支援件数	件	1,300.00	1,300.00	1,900.00	1,900.00	1,900.00	1,900.00	1,900.00
	指標説明	1,870.00	1,880.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		権利擁護・成年後見制度利用に係る申立支援件数						

# 事務事業評価シート（1/2）

139 頁  
令和 5年 9月 5日

整理番号 0047  
 評価年度 令和 4年度  
 所属 1405  
 事務事業番号 00627

進捗区分 評価完了  
 福祉部福祉政策課  
 民生委員児童委員活動推進事業

所属長名 小石 明子  
 記入者 兼原 茉生

【基本情報】

総合計画	03	大津市総合計画 第2期実行計画				
基本方針	001	子どもから高齢者までが輝いて、魅力あふれるまちを創ります				
基本政策	002	心豊かに暮らせる、福祉が充実したまちにします				
施策	006	安定した社会保障制度の運営				
取組の方向性	003	地域福祉活動の推進				
事務事業	002	民生委員児童委員活動推進事業				
新規継続区分	継続					
運営方法	その他					
評価区分	対象	主な取組区分	対象外			
根拠法令等	民生委員法・児童福祉法					
事業概要	(事業概要) 民生委員児童委員は社会奉仕の精神をもって、常に住民の立場に立って相談に応じ、必要な援助を行い、福祉事務所等の関係機関へ協力するなど、地域福祉の担い手として、社会福祉の増進に貢献されている。このため、委員及び民生委員児童委員協議会連合会に対し、その活動の支援を行っている。 民生委員児童委員 585人 : 主任児童委員 63人 : 合計 648人 (令和4年4月1日時点)					
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	(事業を取りまく社会環境) 福祉サービス制度の多様化・複雑化や、独居高齢世帯等の昼夜を問わない緊急対応、個人情報の厳格な管理を求められるようになったこと等により、業務の事務的・心理的な負担が増えている。 (見直しや改善等の経過) 地域で増加するニーズに対応するため、令和4年12月の一斉改選時に7名の定数増を行い、各地区での民生委員児童委員活動の充実を図った。					

【事業分析】

対象(何又は誰を)	民生委員児童委員及び民生委員児童委員協議会連合会を対象として
目的(何のために)	民生委員児童委員の活動支援のため
手段(どのようなやり方で)	活動費の助成、民生委員教室の開催、民生委員推薦会の運営等により
成果(どのような状態にするのか)	民生委員児童委員の活動の円滑化と活性化を図るようにする。

【コスト】 (単位：千円)

	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
	決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト	56,775	66,843	68,963	64,168	76,899	66,227	66,227
事業費	52,090	54,458	61,080	56,285	64,514	58,344	58,344
国庫支出金	216	249	216	216	249	216	216
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0
一般財源	51,874	54,209	60,864	56,069	64,265	58,128	58,128
人件費計	4,685	12,385	7,883	7,883	12,385	7,883	7,883
事務・技術(人)	0.45	1.25	0.80	0.80	1.25	0.80	0.80
技能労務(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度任用(人)	0.35	0.85	0.53	0.53	0.85	0.53	0.53
嘱託(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

# 事務事業評価シート（2/2）

140 頁  
令和 5年 9月 5日

整理番号 0047  
 評価年度 令和 4年度 進捗区分 評価完了  
 所属 1405 福祉部福祉政策課  
 事務事業番号 00627 民生委員児童委員活動推進事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-15-05-05-13-00-01-00	民生委員児童委員活動推進事業費	福祉部福祉政策課
01-15-05-05-13-00-03-00	民生委員活動費（費用弁償分）	福祉部福祉政策課

【定量評価】

指標名	単位	上段：目標値 下段：実績値						
		令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
(活動) 訪問回数	回	66,000.00	152,000.00	152,000.00	152,000.00	152,000.00	152,000.00	152,000.00
		132,611.00	139,494.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果) 相談・支援件数	件	180.00	20,000.00	20,000.00	20,000.00	20,000.00	20,000.00	20,000.00
		19,867.00	19,110.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果) 関係機関へ繋いだ回数	件	180.00	28,000.00	28,000.00	28,000.00	28,000.00	28,000.00	28,000.00
		25,448.00	25,836.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

【定性評価】

評価項目	評価の観点	基準	評価
1 妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A 妥当である	A
		B ほぼ妥当である	
		C あまり妥当ではない	
		D 妥当ではない	
評価理由	民生委員法で定まっているため		
2 有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A 上がっている	A
		B やや上がっている	
		C あまり上がっていない	
		D 上がっていない	
評価理由	関係機関に繋いだ回数が前年より増えているため		
3 効率性	事業手法は効率的であるか	A 効率的である	A
		B やや効率的である	
		C あまり効率的でない	
		D 効率的でない	
評価理由	地域に根差した活動が実施できているため		
4 施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A 貢献している	A
		B やや貢献している	
		C あまり貢献していない	
		D 貢献していない	
評価理由	地域福祉の推進及び発展に貢献しているため		
評価理由			

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
所属コメント (400文字)	民生委員児童委員は、地域住民の孤立や悩みに対し身近に寄り添い、地域福祉の充実に努めていただいている。また、新型コロナウイルス感染症の長期化の影響等により、困りごとを抱える市民と福祉サービスや相談機関へのつなぎ役として、地域における民生委員児童委員の役割はますます大きくなってきている。一方で、委員の高齢化や定年退職年齢の引き上げにより担い手不足の課題もあることから、課題の解消に向け、市と大津市民生委員児童委員協議会連合会の協働で、業務の見直しや活動の負担軽減などに取り組んでいく。		

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
部局コメント (400文字)	民生委員児童委員は、地域の身近な相談者として、また、住民と福祉サービスや相談機関へのつなぎ役として、地域住民の孤立や悩みに対し身近に寄り添い、地域において重要な役割を担っていただいております。担い手不足の課題については大津市民生委員児童委員協議会連合会と連携して計画的・継続的に取り組んでいく。		



# 事務事業評価シート（1/2）

142 頁  
令和 5年 9月 5日

整理番号 0048  
 評価年度 令和 4年度  
 所属 1405  
 事務事業番号 00635

進捗区分 評価完了  
 福祉部福祉政策課  
 ふれあいセンター管理運営事業

所属長名 小石 明子  
 記入者 木村 友樹

## 【基本情報】

総合計画	03	大津市総合計画 第2期実行計画				
基本方針	001	子どもから高齢者までが輝いて、魅力あふれるまちを創ります				
基本政策	002	心豊かに暮らせる、福祉が充実したまちにします				
施策	006	安定した社会保障制度の運営				
取組の方向性	003	地域福祉活動の推進				
事務事業	005	ふれあいセンター管理運営事業				
新規継続区分	継続					
運営方法	直営					
評価区分	対象	主な取組区分	対象外			
根拠法令等	大津市ふれあいセンター条例					
事業概要	(事業概要) 市民の福祉の増進及び市民の交流の促進を図るため、貸館業務を行う。					
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	(事業を取りまく社会環境) 平成24年度よりふれあいセンターとして貸館業務を行っているが、施設の老朽化が進み利用状況は減少している。 (見直しや改善等の経過) 令和3年度にふれあいセンターのあり方について庁内関係部局による検討を行い、ふれあいセンターについては廃止する方針を出した。その後、当該方針に基づき、地域の理解を得られた中ふれあいセンターを令和4年度末に廃止した。					

## 【事業分析】

対象(何又は誰を)	市民および地域の団体等を対象に
目的(何のために)	市民の福祉の増進及び市民の交流の促進を図るため
手段(どのようなやり方で)	貸館業務を推進し
成果(どのような状態にするのか)	市民の福祉が増進され、また、市民交流が促進される。

## 【コスト】

(単位：千円)

	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
	決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト	51,941	53,379	41,893	28,457	26,456	26,456	17,990
事業費	11,713	10,981	10,851	9,563	7,563	7,563	5,815
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	7	13	6	6	6	6	6
一般財源	11,706	10,968	10,845	9,557	7,557	7,557	5,809
人件費計	40,228	42,398	31,042	18,894	18,893	18,893	12,175
事務・技術(人)	0.37	0.35	0.45	0.35	0.35	0.35	0.35
技能労務(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用(人)	2.00	3.00	2.10	1.40	1.40	1.40	0.70
会計年度任用(人)	8.28	7.28	5.02	2.64	2.64	2.64	1.76
嘱託(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

# 事務事業評価シート（2/2）

整理番号 0048  
 評価年度 令和 4年度 進捗区分 評価完了  
 所属 1405 福祉部福祉政策課  
 事務事業番号 00635 ふれあいセンター管理運営事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-15-05-05-75-00-05-00	ふれあいセンター管理運営費	福祉部福祉政策課

【定量評価】

指標名	単位	上段：目標値 下段：実績値						
		令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
(活動)ふれあいセンタ ー利用回数	回	1,800.00	1,500.00	1,500.00	1,500.00	1,500.00	1,500.00	1,500.00
		1,133.00	1,452.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果)ふれあいセンタ ー施設利用者数	人	23,000.00	18,000.00	18,000.00	18,000.00	18,000.00	18,000.00	18,000.00
		10,339.00	14,654.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

【定性評価】

評価項目	評価の観点	基準	評価
1 妥当性	実施主体又は手段は妥 当か	A 妥当である	D
		B ほぼ妥当である	
		C あまり妥当ではない	
		D 妥当ではない	
評価理由	廃止が決定している。		
2 有効性	事業分析の「成果」欄 に記載の成果は上がっ ているか	A 上がっている	D
		B やや上がっている	
		C あまり上がっていない	
		D 上がっていない	
評価理由	目標値を大幅に下回っている。		
3 効率性	事業手法は効率的であ るか	A 効率的である	C
		B やや効率的である	
		C あまり効率的でない	
		D 効率的でない	
評価理由	使用料収入が増えない中、老朽化による修繕費が増加している。		
4 施策への貢献度	施策目標の達成に貢献 しているか	A 貢献している	C
		B やや貢献している	
		C あまり貢献していない	
		D 貢献していない	
評価理由	利用人数が目標値を大幅に下回っている。		
評価理由			

【所属評価結果】

総合評価	事業の抜本的見直しや廃止が必要	事業の方向性	縮小
所属コメント (400文字)	施設の老朽化による修繕の増加や、近年、利用者が減少してきていることから、令和3年度に将来的な施設のあり方について庁内の関係部局により検討をした結果、ふれあいセンターは廃止するという方針を出した。その後、当該方針に基づき地域と協議し、令和4年度末をもって中ふれあいセンターを廃止した。今後も、関連する施設の利活用を含め、地域や利用者への説明を丁寧に行い、協議が整ったセンターから順次、大津市ふれあいセンター条例の改正により廃止していく。		

【部局評価結果】

総合評価	事業の抜本的見直しや廃止が必要	事業の方向性	縮小
部局コメント (400文字)	廃止に向けて関係部局と連携しながら、地域や利用者の理解が得られるよう取り組んでいく。		



# 事務事業評価指標一覧

評価年度 令和 4年度 進捗区分 評価完了  
 所属 1405 福祉部福祉政策課  
 総合計画 03 大津市総合計画 第2期実行計画  
 事務事業番号 00635 ふれあいセンター管理運営事業

上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
(活動)ふれあいセンター 一回利用回数	回	1,800.00	1,500.00	1,500.00	1,500.00	1,500.00	1,500.00	1,500.00
	指標説明	1,133.00	1,452.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
講座利用等を含む								
(成果)ふれあいセンター 一施設利用者数	人	23,000.00	18,000.00	18,000.00	18,000.00	18,000.00	18,000.00	18,000.00
	指標説明	10,339.00	14,654.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
5館を貸館のみで利用した人数								

# 事務事業評価シート（1/2）

145 頁  
令和 5年 9月 5日

整理番号 0049  
 評価年度 令和 4年度  
 所属 1405  
 事務事業番号 02486

進捗区分 評価完了  
 所属長名 小石 明子  
 記入者 木村 友樹

福祉部福祉政策課  
 生活困窮者自立支援事業

## 【基本情報】

総合計画	03	大津市総合計画 第2期実行計画				
基本方針	001	子どもから高齢者までが輝いて、魅力あふれるまちを創ります				
基本政策	002	心豊かに暮らせる、福祉が充実したまちにします				
施策	006	安定した社会保障制度の運営				
取組の方向性	002	自立支援の推進				
事務事業	016	生活困窮者自立支援事業				
新規継続区分	継続					
運営方法	その他					
評価区分	対象	主な取組区分	対象			
根拠法令等	生活困窮者自立支援法					
事業概要	(事業概要) 生活保護に至る前の段階の自立支援策の強化を図るため、生活困窮者に対し、生活困窮者自立相談支援事業の実施、生活困窮者住居確保給付金の支給その他の生活困窮者に対する自立の支援に関する措置を講ずることにより、生活困窮者の自立の促進を図る。					
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	(事業を取りまく社会環境) 平成27年度から生活困窮者自立支援法が施行され、これまで制度の狭間に置かれてきた生活困窮者に対し、第2のセーフティネットとして、自立に向けた支援を行っている。 (見直しや改善等の経過) 新型コロナウイルス感染症の影響による生活困窮者の生活課題や相談に対応するため、令和4年度は家計改善支援事業の実施体制を強化するとともに、生活困窮者への支援活動を行う民間団体等を支援する「大津市新型コロナウイルス感染症等の影響に対する生活困窮者支援活動緊急支援事業補助金」を実施した。					

## 【事業分析】

対象(何又は誰を)	現に経済的に困窮し、最低限の生活を維持することができなくなるおそれのある者を
目的(何のために)	生活保護に至っていない生活困窮者に対する「第2のセーフティネット」として、自立の促進を図るために
手段(どのようなやり方で)	生活困窮者の課題は多様で複合的であるため包括的な支援を行い、同時に個々の状況に応じた適切な個別支援を実施することにより
成果(どのような状態にするのか)	生活困窮者の自立と尊厳の確保を行い、また生活困窮者支援を通じた地域づくりを行う。

## 【コスト】

(単位：千円)

	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
	決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト	283,843	64,541	66,811	67,183	67,183	67,183	67,183
事業費	273,609	62,981	65,251	65,623	65,623	65,623	65,623
国庫支出金	257,392	47,087	42,132	42,380	42,380	42,380	42,380
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0
一般財源	16,217	15,894	23,119	23,243	23,243	23,243	23,243
人件費計	10,234	1,560	1,560	1,560	1,560	1,560	1,560
事務・技術(人)	0.41	0.20	0.20	0.20	0.20	0.20	0.20
技能労務(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用(人)	0.75	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度任用(人)	0.84	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
嘱託(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

# 事務事業評価シート（2/2）

146 頁  
令和 5年 9月 5日

整理番号 0049  
 評価年度 令和 4年度 進捗区分 評価完了  
 所属 1405 福祉部福祉政策課  
 事務事業番号 02486 生活困窮者自立支援事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-15-05-05-06-00-51-00	生活困窮者自立支援事業費	福祉部福祉政策課

【定量評価】

指標名	単位	上段：目標値 下段：実績値						
		令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
(活動)子どもの学習支援等活動数	回	250.00	250.00	250.00	250.00	250.00	250.00	250.00
		203.00	266.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(活動)自立支援相談件数（新規）	回	0.00	550.00	550.00	550.00	550.00	550.00	550.00
		0.00	743.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果)子どもの学習支援等参加者数	人	5,500.00	5,500.00	5,500.00	5,500.00	5,500.00	5,500.00	5,500.00
		3,584.00	6,050.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果)自立支援計画作成者数	人	0.00	220.00	220.00	220.00	220.00	220.00	220.00
		0.00	219.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

【定性評価】

評価項目	評価の観点	基準	評価
1 妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A 妥当である	A
		B ほぼ妥当である	
	C あまり妥当ではない		
	D 妥当ではない		
評価理由	大津市社会福祉協議会を中心に寄り添った支援ができています。		
2 有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A 上がっている	A
		B やや上がっている	
	C あまり上がっていない		
	D 上がっていない		
評価理由	今後も、相談者に寄り添いながら支援が行えるよう取り組んでいく		
3 効率性	事業手法は効率的であるか	A 効率的である	A
		B やや効率的である	
	C あまり効率的でない		
	D 効率的でない		
評価理由	自立相談支援機関として大津市社会福祉協議会に委託している。		
4 施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A 貢献している	A
		B やや貢献している	
	C あまり貢献していない		
	D 貢献していない		
評価理由	包括的な支援体制を整え、生活の安心を支えるまちづくりに貢献		
評価理由			

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	拡大
所属コメント (400文字)	生活困窮者の自立を促すため、自立相談支援、就労準備支援、子どもの学習支援、家計改善支援を基本とした包括的な支援体制を維持した上で、アウトリーチによる支援、地域づくりに関する事業を充実することによりさらなる制度の推進を図っていく。新型コロナウイルス感染症の影響による生活課題や相談にも対応できるよう、関係機関との連携を一層深めていく。		

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	拡大
部局コメント (400文字)	新型コロナウイルス感染症の影響をしっかりと把握し、関係機関や関係所属と連携を図りながら、生活困窮者の自立の促進に必要な事業を推進していくこと。		

# 事務事業評価指標一覧

評価年度 令和 4年度 進捗区分 評価完了  
 所属 1405 福祉部福祉政策課  
 総合計画 03 大津市総合計画 第2期実行計画  
 事務事業番号 02486 生活困窮者自立支援事業

上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
(活動)子どもの学習支援等活動数	回	250.00	250.00	250.00	250.00	250.00	250.00	250.00
	指標説明	203.00	266.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
指標説明		寺子屋、中3学習会の合計実施回数						
(活動)自立支援相談件数(新規)	回	0.00	550.00	550.00	550.00	550.00	550.00	550.00
	指標説明	0.00	743.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
指標説明		新規で自立支援相談を受けた件数(特例貸付に係る相談を除く)(市社協のみ)						
(成果)子どもの学習支援等参加者数	人	5,500.00	5,500.00	5,500.00	5,500.00	5,500.00	5,500.00	5,500.00
	指標説明	3,584.00	6,050.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
指標説明		寺子屋、中3学習会の合計参加者数						
(成果)自立支援計画作成者数	人	0.00	220.00	220.00	220.00	220.00	220.00	220.00
	指標説明	0.00	219.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
指標説明		自立支援計画を作成した人数(市社協のみ)						

# 事務事業評価シート（1/2）

148 頁  
令和 5年 9月 5日

整理番号 0050  
 評価年度 令和 4年度  
 所属 1408  
 事務事業番号 00416

進捗区分 所属評価  
 福祉部障害福祉課  
 社会的事業所等補助事業

所属長名 古藤 一也  
 記入者 杉村 美佳

【基本情報】

総合計画	03	大津市総合計画 第2期実行計画				
基本方針	001	子どもから高齢者までが輝いて、魅力あふれるまちを創ります				
基本政策	002	心豊かに暮らせる、福祉が充実したまちにします				
施策	005	障害者の福祉の充実				
取組の方向性	001	障害者の就労支援の推進				
事務事業	001	社会的事業所等補助事業				
新規継続区分	継続					
運営方法	その他					
評価区分	対象	主な取組区分	対象			
根拠法令等	社会的事業所運営事業費補助金交付要綱					
事業概要	(事業概要) 障害のある人もない人も対等な立場で一緒に働くことができる事業所（社会的事業所）を設置・運営している者に対して、その運営に要する経費の一部を補助する。また、社会的事業所等の建物の新築や増改築、改修に要する経費や、生産性を高めるために利用者自らが使用する機械又は設備の購入に要する経費、土地及び建物の賃借料を補助する。					
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	(事業を取りまく社会環境) 社会的事業所は支援者と利用者という関係ではなく、障害のある者もない者も共に働き経営に参画するという理念のもと活動している。しかしながら、当該事業所が単独で運営を継続できる資力は十分ではない。 (見直しや改善等の経過) 社会的事業所等用地賃借料補助金については、関係事業所との協議を経て、平成28年度に補助要綱を見直し（金額引き下げ）を行い、平成29年度から新要綱にて実施している。今後も状況に応じて検討を加えたい。					

【事業分析】

対象(何又は誰を)	社会的事業所等を設置しているもの
目的(何のために)	心身障害者の社会参加の促進と自立の支援
手段(どのようなやり方で)	運営費の補助、建物の増改築・改修等に要する経費の補助、土地及び建物の賃借料の補助
成果(どのような状態にするのか)	社会的事業所等の円滑な運営、利用者の生産性の向上

【コスト】 (単位：千円)

	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
	決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト	45,232	44,212	44,662	44,662	44,662	44,662	44,662
事業費	44,352	43,354	43,804	43,804	43,804	43,804	43,804
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	15,350	15,405	15,500	15,500	15,500	15,500	15,500
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0
一般財源	29,002	27,949	28,304	28,304	28,304	28,304	28,304
人件費計	880	858	858	858	858	858	858
事務・技術(人)	0.11	0.11	0.11	0.11	0.11	0.11	0.11
技能労務(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度任用(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
嘱託(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

# 事務事業評価シート（2/2）

149 頁  
令和 5年 9月 5日

整理番号 0050  
 評価年度 令和 4年度 進捗区分 所属評価  
 所属 1408 福祉部障害福祉課  
 事務事業番号 00416 社会的事業所等補助事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-15-05-10-42-00-07-00	社会的事業所等補助事業費	福祉部障害福祉課

【定量評価】

指標名	単位	上段：目標値 下段：実績値						
		令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
(活動)社会的事業所の設置数	箇所	4.00	4.00	4.00	4.00	4.00	4.00	4.00
		4.00	4.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果)社会的事業所の利用者数	人	32.00	32.00	32.00	32.00	32.00	32.00	32.00
		29.00	30.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

【定性評価】

評価項目	評価の観点	基準	評価
1 妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A 妥当である	A
		B ほぼ妥当である	
		C あまり妥当ではない	
		D 妥当ではない	
評価理由	障害のある人が事業所の経営や運営に参加できる仕組みである		
2 有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A 上がっている	A
		B やや上がっている	
		C あまり上がっていない	
		D 上がっていない	
評価理由	他機関と連携を図りながら、障害者の雇用促進につなげている		
3 効率性	事業手法は効率的であるか	A 効率的である	B
		B やや効率的である	
		C あまり効率的でない	
		D 効率的でない	
評価理由	障害者の就労促進や社会参加につながっているため		
4 施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A 貢献している	A
		B やや貢献している	
		C あまり貢献していない	
		D 貢献していない	
評価理由	障害の有無に関わらず、共に働く者同士が支えあうことができる		
評価理由			

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
所属コメント (400文字)	社会的事業所とは、障害のある人と障害のない人がともに働き、組織の意思決定にも参加する場である。障害があっても当たり前に行うことができる場合は、障害のある人の暮らしに直結する存在であり、欠かすことのできないものとなっている。当事業に対する運営経費等の一部を補助することにより、障害のある人の就労促進及び社会的、経済的な自立を図ることができることから、当該事業を継続していく必要がある。また社会的事業所等の安定した運営を下支えするため、賃借料の補助を継続して実施していく。		

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
部局コメント (400文字)	障害者の就労支援、障害福祉サービス向上を目的とし、引き続き本事業を継続していく。		

# 事務事業評価指標一覧

評価年度 令和 4年度 進捗区分 所属評価  
所属 1408 福祉部障害福祉課  
総合計画 03 大津市総合計画 第2期実行計画  
事務事業番号 00416 社会的事業所等補助事業

上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
(活動) 社会的事業所の設置数	箇所	4.00	4.00	4.00	4.00	4.00	4.00	4.00
	指標説明	4.00	4.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
社会的事業所の設置数								
(成果) 社会的事業所の利用者数	人	32.00	32.00	32.00	32.00	32.00	32.00	32.00
	指標説明	29.00	30.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
社会的事業所の利用者数の合計								

# 事務事業評価シート（1/2）

151 頁  
令和 5年 9月 5日

整理番号 0051  
 評価年度 令和 4年度  
 所属 1408  
 事務事業番号 00417

進捗区分 所属評価  
 福祉部障害福祉課  
 働き・暮らし応援センター運営補助事業

所属長名 古時 一也  
 記入者 南 いろは

【基本情報】

総合計画	03	大津市総合計画 第2期実行計画				
基本方針	001	子どもから高齢者までが輝いて、魅力あふれるまちを創ります				
基本政策	002	心豊かに暮らせる、福祉が充実したまちにします				
施策	005	障害者の福祉の充実				
取組の方向性	001	障害者の就労支援の推進				
事務事業	002	働き・暮らし応援センター運営補助事業				
新規継続区分	継続					
運営方法	その他					
評価区分	対象	主な取組区分	対象			
根拠法令等	大津市障害者働き・暮らし応援センター事業費補助金交付要綱					
事業概要	(事業概要) 一般就労が困難な障害者に対する就労及び職場定着に向けた支援、日常生活上又は社会生活上の支援、職場開拓などのサービスを福祉、労働の両面から提供する同センター運営経費の一部を補助する。					
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	(事業を取りまく社会環境) 社会全体で、障害の有無に関わらず個々の能力と適性に応じた雇用の場に就き、地域で自立した生活を送ることができる社会の実現を目指し、障害のある人の雇用対策を総合的に推進している。 (見直しや改善等の経過) 平成23年度から利用登録者数の増加に基づいて、補助基準額を増額している。					

【事業分析】

対象(何又は誰を)	同センターを運営する団体
目的(何のために)	障害者の地域における職業生活の自立を図り、雇用の促進及び職業の安定を図る
手段(どのようなやり方で)	同センター運営経費の一部を補助し事業の実施を行う
成果(どのような状態にするのか)	障害者の一般就労機会の拡大につながる

【コスト】 (単位：千円)

	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
	決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト	2,923	2,919	2,919	2,919	2,919	2,919	2,919
事業費	2,763	2,763	2,763	2,763	2,763	2,763	2,763
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0
一般財源	2,763	2,763	2,763	2,763	2,763	2,763	2,763
人件費計	160	156	156	156	156	156	156
事務・技術(人)	0.02	0.02	0.02	0.02	0.02	0.02	0.02
技能労務(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度任用(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
嘱託(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0



# 事務事業評価シート（2/2）

152 頁  
令和 5年 9月 5日

整理番号 0051  
 評価年度 令和 4年度 進捗区分 所属評価  
 所属 1408 福祉部障害福祉課  
 事務事業番号 00417 働き・暮らし応援センター運営補助事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-15-05-10-42-00-04-00	働き・暮らし応援センター運営補助事業費	福祉部障害福祉課

【定量評価】

指標名	単位	上段：目標値 下段：実績値						
		令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
(活動)新規利用者数	人	165.00	165.00	165.00	165.00	165.00	165.00	165.00
		68.00	87.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果)一般就労者数	人	95.00	95.00	95.00	100.00	100.00	100.00	100.00
		50.00	49.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

【定性評価】

評価項目	評価の観点	基準	評価
1 妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A 妥当である	A
		B ほぼ妥当である	
		C あまり妥当ではない	
		D 妥当ではない	
評価理由	補助により当該センターの安定した運営と充実が図られているため		
2 有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A 上がっている	B
		B やや上がっている	
		C あまり上がっていない	
		D 上がっていない	
評価理由	一定の新規利用があるため		
3 効率性	事業手法は効率的であるか	A 効率的である	A
		B やや効率的である	
		C あまり効率的でない	
		D 効率的でない	
評価理由	再登録利用者の増と事前相談の充実を図られているため		
4 施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A 貢献している	A
		B やや貢献している	
		C あまり貢献していない	
		D 貢献していない	
評価理由	障害者の社会参加を積極的に促進する仕組みを整備できている		
評価理由			

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
所属コメント (400文字)	当該センターは、障害当事者の一般就労や職場への定着を目指した支援を行なっているが、一般就労に限らず、障害福祉サービスの利用へ繋ぐ等、より障害者本人の思いと実状に寄り添った支援を行う方針を採っている。このような状況のもと、一般就労に繋がった人数は横ばいであるものの、新規利用者数は増加しており、今後も実績の推移を見極めながら引き続き支援を行っていく。		

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
部局コメント (400文字)	障害者の一般就労に向けた取り組みが求められており、より個々の障害当事者に合った支援を一層促進していくため、引き続き本事業を継続していく。		

# 事務事業評価指標一覧

評価年度    令和 4年度                  進捗区分    所属評価  
 所属            1408                    福祉部障害福祉課  
 総合計画        03                        大津市総合計画 第2期実行計画  
 事務事業番号    00417                    働き・暮らし応援センター運営補助事業

上段：目標値    下段：実績値

指標名	単位	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
(活動)新規利用者数	人	165.00	165.00	165.00	165.00	165.00	165.00	165.00
	指標説明	68.00	87.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
指標説明		センターの新規利用者数（年間）						
(成果)一般就労者数	人	95.00	95.00	95.00	100.00	100.00	100.00	100.00
	指標説明	50.00	49.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
指標説明		センターを利用して一般就労した障害者の数						

# 事務事業評価シート（1/2）

154 頁  
令和 5年 9月 5日

整理番号 0052  
 評価年度 令和 4年度  
 所属 1408  
 事務事業番号 00419

進捗区分 所属評価  
 福祉部障害福祉課  
 障害者移動支援事業

所属長名 古時 一也  
 記入者 南 いろは

## 【基本情報】

総合計画	03	大津市総合計画 第2期実行計画				
基本方針	001	子どもから高齢者までが輝いて、魅力あふれるまちを創ります				
基本政策	002	心豊かに暮らせる、福祉が充実したまちにします				
施策	005	障害者の福祉の充実				
取組の方向性	002	障害福祉サービス等の充実				
事務事業	006	障害者移動支援事業				
新規継続区分	継続					
運営方法	民間委託					
評価区分	対象	主な取組区分	対象外			
根拠法令等	大津市障害者移動支援事業実施要領					
事業概要	(事業概要) 地域生活支援事業の一つに位置づけられ、屋外での単独移動が困難な障害児及び障害者にヘルパーを派遣し、外出時に必要となる介助や支援を行う。 本事業は契約を締結した事業所に委託して実施している。					
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	(事業を取りまく社会環境) 平成18年度の障害者自立支援法の施行に伴い事業を開始した。平成23年10月からの法改正に伴い、視覚障害者は同行援護サービスへ移行した。 (見直しや改善等の経過) 平成24年度から市民税非課税世帯の利用負担額無料化、2人介護加算の新設等の見直しを行った。令和3年度からは、より適正で持続可能な制度となるよう、制度内容、料金等の全面的な見直しを行った。また、実状に合った制度となるよう相談事業所等と定期的に意見交換を行っている。					

## 【事業分析】

対象(何又は誰を)	屋外での移動に困難がある障害児および障害者
目的(何のために)	障害児および障害者の屋外での移動を支援すること
手段(どのようなやり方で)	ヘルパーの派遣や事業所によっては自動車を利用して移動の補助を行なう。
成果(どのような状態にするのか)	屋外での移動が困難な障害児者が地域で積極的に社会参加ができるようにする。

## 【コスト】 (単位：千円)

	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
	決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト	156,398	145,232	165,546	174,250	180,493	186,986	193,739
事業費	153,808	142,668	147,382	156,086	162,329	168,822	175,575
国庫支出金	44,834	40,731	42,961	44,562	46,344	48,198	50,126
県支出金	22,417	20,365	25,845	22,281	23,172	24,099	25,063
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0
一般財源	86,557	81,572	78,576	89,243	92,813	96,525	100,386
人件費計	2,590	2,564	18,164	18,164	18,164	18,164	18,164
事務・技術(人)	0.13	0.13	2.13	2.13	2.13	2.13	2.13
技能労務(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度任用(人)	0.50	0.50	0.50	0.50	0.50	0.50	0.50
嘱託(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

# 事務事業評価シート（2/2）

155 頁  
令和 5年 9月 5日

整理番号 0052  
 評価年度 令和 4年度 進捗区分 所属評価  
 所属 1408 福祉部障害福祉課  
 事務事業番号 00419 障害者移動支援事業

### 【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-15-05-10-25-00-04-00	障害者移動支援事業費	福祉部障害福祉課

指標名	単位	上段：目標値 下段：実績値						
		令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
(活動)実利用者数	人	916.00	916.00	916.00	930.00	930.00	930.00	930.00
		924.00	928.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(活動)延べ利用時間数	時間	63,109.00	64,717.00	64,717.00	64,717.00	64,717.00	64,717.00	64,717.00
		56,832.00	49,881.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果)一人当たり利用時間数	時間/人	68.00	71.00	71.00	70.00	70.00	70.00	70.00
		61.00	53.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

評価項目	評価の観点	基準	評価
1 妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A 妥当である	A
		B ほぼ妥当である	
		C あまり妥当ではない	
		D 妥当ではない	
		評価理由	
2 有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A 上がっている	A
		B やや上がっている	
		C あまり上がっていない	
		D 上がっていない	
		評価理由	
3 効率性	事業手法は効率的であるか	A 効率的である	A
		B やや効率的である	
		C あまり効率的でない	
		D 効率的でない	
		評価理由	
4 施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A 貢献している	A
		B やや貢献している	
		C あまり貢献していない	
		D 貢献していない	
		評価理由	
評価理由			

【所属評価結果】			
総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
所属コメント (400文字)	本事業については、令和3年度7月に行なった制度内容及び料金体系の見直しにより、全体的に利用時間数や1人あたりの利用時間の平均値は減少している。しかしながら、実利用者数は増加傾向にあり、移動にかかる支援が必要な障害児者にとって、本事業の必要性は大きい。今後も屋外での移動が困難な障害児者が地域で積極的に社会参加ができるよう本事業を進めていく。		

【部局評価結果】			
総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
部局コメント (400文字)	障害児者の社会生活上必要な外出支援、余暇活動や社会参加の促進を図るため、引き続き本事業を継続していく。		

# 事務事業評価指標一覧

評価年度 令和 4年度 進捗区分 所属評価  
所属 1408 福祉部障害福祉課  
総合計画 03 大津市総合計画 第2期実行計画  
事務事業番号 00419 障害者移動支援事業

上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
(活動) 実利用者数	人	916.00	916.00	916.00	930.00	930.00	930.00	930.00
	指標説明	1 会計年度の実利用者数						
(活動) 延べ利用時間数	時間	63,109.00	64,717.00	64,717.00	64,717.00	64,717.00	64,717.00	64,717.00
	指標説明	1 会計年度の延べ利用時間総数						
(成果) 一人当たり利用時間数	時間/人	68.00	71.00	71.00	70.00	70.00	70.00	70.00
	指標説明	延べ利用時間数÷実利用者数						

# 事務事業評価シート（1/2）

157 頁  
令和 5年 9月 5日

整理番号 0053  
 評価年度 令和 4年度  
 所属 1408  
 事務事業番号 00420

進捗区分 所属評価  
 福祉部障害福祉課  
 意思疎通支援事業

所属長名 古時 一也  
 記入者 杉村 美佳

【基本情報】

総合計画	03	大津市総合計画 第2期実行計画				
基本方針	001	子どもから高齢者までが輝いて、魅力あふれるまちを創ります				
基本政策	002	心豊かに暮らせる、福祉が充実したまちにします				
施策	005	障害者の福祉の充実				
取組の方向性	002	障害福祉サービス等の充実				
事務事業	007	意思疎通支援事業				
新規継続区分	継続					
運営方法	その他					
評価区分	対象	主な取組区分	対象外			
根拠法令等	障害者総合支援法					
事業概要	(事業概要) 聴覚障害者及び聴覚障害者を構成員とする団体に対し、医療機関、学校等に手話通訳者または要約筆記者を派遣する。手話通訳派遣については大津市の登録手話通訳者による直営、要約筆記派遣については社会福祉法人滋賀県聴覚障害者福祉協会に委託している。					
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	(事業を取りまく社会環境) 平成30年度に大津市手話言語条例を制定し、意思疎通支援への注目度が上がった。 (見直しや改善等の経過) 平成25年度から聴覚障害者相談員設置事業を、平成26年度から盲ろう者通訳派遣・介助員派遣事業を開始。平成31年1月に大津市手話言語条例を施行し、同時に手話施策推進協議会を設置。					

【事業分析】

対象(何又は誰を)	聴覚障害者及び聴覚障害者を構成員とする団体
目的(何のために)	聴覚障害者の日常生活上のコミュニケーションを支援する。
手段(どのようなやり方で)	日常生活のさまざまな場面に手話通訳及び要約筆記者を派遣する。
成果(どのような状態にするのか)	聴覚障害者が周囲の人々とのコミュニケーションが図れ、積極的に社会参加ができるようにする。

【コスト】 (単位：千円)

	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
	決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト	12,786	20,733	23,290	23,290	23,290	23,290	23,290
事業費	7,586	8,129	10,686	10,686	10,686	10,686	10,686
国庫支出金	1,986	2,208	3,001	3,001	3,001	3,001	3,001
県支出金	1,011	1,123	1,526	1,526	1,526	1,526	1,526
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0
一般財源	4,589	4,798	6,159	6,159	6,159	6,159	6,159
人件費計	5,200	12,604	12,604	12,604	12,604	12,604	12,604
事務・技術(人)	0.03	0.98	0.98	0.98	0.98	0.98	0.98
技能労務(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度任用(人)	1.60	1.60	1.60	1.60	1.60	1.60	1.60
嘱託(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

# 事務事業評価シート（2/2）

158 頁  
令和 5年 9月 5日

整理番号 0053  
 評価年度 令和 4年度 進捗区分 所属評価  
 所属 1408 福祉部障害福祉課  
 事務事業番号 00420 意思疎通支援事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-15-05-10-25-00-13-00	意思疎通支援事業費	福祉部障害福祉課

【定量評価】

指標名	単位	上段：目標値 下段：実績値						
		令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
(活動)手話通訳派遣実績	件	835.00	835.00	835.00	835.00	835.00	835.00	835.00
		637.00	562.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果)登録手話通訳者数(直営)	人	40.00	35.00	35.00	35.00	35.00	35.00	35.00
		31.00	31.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

【定性評価】

評価項目	評価の観点	基準	評価
1 妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A 妥当である	A
		B ほぼ妥当である	
		C あまり妥当ではない	
		D 妥当ではない	
評価理由	専門的な知識と手法により実施している。		
2 有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A 上がっている	B
		B やや上がっている	
		C あまり上がっていない	
		D 上がっていない	
評価理由	聴覚障害者が周囲とコミュニケーションを図れている。		
3 効率性	事業手法は効率的であるか	A 効率的である	A
		B やや効率的である	
		C あまり効率的でない	
		D 効率的でない	
評価理由	事業を直営、委託で実施することにより、効率的に実施している。		
4 施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A 貢献している	A
		B やや貢献している	
		C あまり貢献していない	
		D 貢献していない	
評価理由	聴覚障害者の社会参加が着実に促進し、地域生活が向上している。		
評価理由			

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	拡大
所属コメント (400文字)	意思疎通支援事業は、手話通訳を必要とする聴覚障害者の高齢化等により実績は縮小しているが、今後元来の会議形態に戻っていくため、増加していくと考えられる。 聴覚障害者が地域生活を送るうえで、医療機関受診や行政手続き等にも必須である。登録手話通訳者の人数は減少傾向にあり、通訳者の平均年齢が上がっているが、引き続き新たな担い手の養成に取り組むとともに、手話奉仕員の能力向上にも努めていく。 また、令和7年度に開催される国スポ・障スポにおいて手話通訳による意思疎通が考えられることから、手話通訳奉仕員の講座を通じて増員を目指していく。		

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	拡大
部局コメント (400文字)	本事業は、障害者の日常生活及び社会参加に不可欠の事業であり、新たな担い手の養成を踏まえ引き続き本事業を継続していく。		

# 事務事業評価指標一覧

評価年度 令和 4年度 進捗区分 所属評価  
所属 1408 福祉部障害福祉課  
総合計画 03 大津市総合計画 第2期実行計画  
事務事業番号 00420 意思疎通支援事業

上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
(活動)手話通訳派遣実績	件	835.00	835.00	835.00	835.00	835.00	835.00	835.00
	指標説明	637.00	562.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		手話通訳者の年間派遣件数						
(成果)登録手話通訳者数(直営)	人	40.00	35.00	35.00	35.00	35.00	35.00	35.00
	指標説明	31.00	31.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		大津市登録手話通訳者数						



# 事務事業評価シート（1/2）

160 頁  
令和 5年 9月 5日

整理番号 0054  
 評価年度 令和 4年度  
 所属 1408  
 事務事業番号 00421

進捗区分 所属評価  
 福祉部障害福祉課  
 地域活動支援センター事業

所属長名 古時 一也  
 記入者 南 いろは

## 【基本情報】

総合計画	03	大津市総合計画 第2期実行計画				
基本方針	001	子どもから高齢者までが輝いて、魅力あふれるまちを創ります				
基本政策	002	心豊かに暮らせる、福祉が充実したまちにします				
施策	005	障害者の福祉の充実				
取組の方向性	002	障害福祉サービス等の充実				
事務事業	008	地域活動支援センター事業				
新規継続区分	継続					
運営方法	民間委託					
評価区分	対象	主な取組区分	対象外			
根拠法令等	障害者総合支援法					
事業概要	(事業概要) 基礎的事業 一利用者に対し、創作的活動又は生産活動の機会の提供、地域社会との交流促進等の便宜の供与。 機能強化事業 一基礎的事業に加え、I型 精神保健福祉士等を配置。地域の社会基盤との連携強化のための調整、障害への理解促進を図るための普及啓発。II型 雇用・就労が困難な在宅障害者に対する機能訓練・社会適応訓練の実施、余暇支援を行う。					
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	(事業を取りまく社会環境) 障害者差別解消法が施行され、障害に対する理解が少しずつ浸透しているが、引き続き障害に対する正しい理解の普及や地域交流の機会創出が求められている。 (見直しや改善等の経過) 平成23年度から、II型事業は休止している。					

## 【事業分析】

対象(何又は誰を)	在宅障害者
目的(何のために)	在宅障害者の地域活動を支援
手段(どのようなやり方で)	創作的活動又は生産活動の機会の提供、地域社会との交流促進等の便宜を事業所へ委託し実施する。
成果(どのような状態にするのか)	在宅障害者の日中活動の場の確保及び地域の社会基盤との連携強化、地域における障害に対する理解促進

## 【コスト】

(単位：千円)

	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
	決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト	21,800	21,798	21,798	21,798	21,798	21,798	21,798
事業費	21,720	21,720	21,720	21,720	21,720	21,720	21,720
国庫支出金	4,022	4,022	4,085	4,002	4,002	4,002	4,002
県支出金	2,011	2,011	2,042	2,001	2,001	2,001	2,001
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0
一般財源	15,687	15,687	15,593	15,717	15,717	15,717	15,717
人件費計	80	78	78	78	78	78	78
事務・技術(人)	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01
技能労務(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度任用(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
嘱託(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

# 事務事業評価シート（2/2）

161 頁  
令和 5年 9月 5日

整理番号 0054  
 評価年度 令和 4年度 進捗区分 所属評価  
 所属 1408 福祉部障害福祉課  
 事務事業番号 00421 地域活動支援センター事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-15-05-10-25-00-15-00	地域活動支援センター事業費	福祉部障害福祉課

【定量評価】

指標名	単位	上段：目標値 下段：実績値						
		令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
(活動)センター（I型）設置数	箇所	2.00	2.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00
		2.00	2.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果)センター（I型）年間延べ利用者数	人	8,000.00	8,000.00	4,000.00	4,000.00	4,000.00	4,000.00	4,000.00
		1,774.00	2,302.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

【定性評価】

評価項目	評価の観点	基準	評価	
1 妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A 妥当である	A	
		B ほぼ妥当である		
		C あまり妥当ではない		
		D 妥当ではない		
評価理由	精神障害者支援に専門的知識を持つ委託先と契約を交わしている。			
2 有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A 上がっている	A	
		B やや上がっている		
		C あまり上がっていない		
		D 上がっていない		
評価理由	相談支援実績値が増加しているため。			
3 効率性	事業手法は効率的であるか	A 効率的である	A	
		B やや効率的である		
		C あまり効率的でない		
		D 効率的でない		
評価理由	委託先は、相談支援事業所も兼ねており効率的に支援できる。			
4 施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A 貢献している	A	
		B やや貢献している		
		C あまり貢献していない		
		D 貢献していない		
評価理由	利用者に対し、地域交流の機会創出に貢献している。			
評価理由				

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
所属コメント (400文字)	特に精神障害者が通所し創作的活動や生産活動の機会の提供、地域社会との交流促進等の便宜を供与する地域活動支援センターの必要性が大きい中、3年間のコロナ禍の影響も受けている。令和5年度から1カ所に集約されるが、今後も本事業を継続していくことにより、障害者の地域参加と障害に対する理解促進に取り組む。		

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
部局コメント (400文字)	障害者（特に精神障害者）の日常活動の場や地域での生活を支援する事業として必要性が高いため、引き続き本事業を継続していく。		

# 事務事業評価指標一覧

評価年度 令和 4年度 進捗区分 所属評価  
 所属 1408 福祉部障害福祉課  
 総合計画 03 大津市総合計画 第2期実行計画  
 事務事業番号 00421 地域活動支援センター事業

上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
(活動)センター (I 型) 設置数	箇所	2.00	2.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00
	指標説明	I 型 (精神障害者用) の本市における設置数						
(成果)センター (I 型) 年間延べ利用者数	人	8,000.00	8,000.00	4,000.00	4,000.00	4,000.00	4,000.00	4,000.00
	指標説明	年間延べ利用者数						

# 事務事業評価シート（1/2）

163 頁  
令和 5年 9月 5日

整理番号 0055  
 評価年度 令和 4年度  
 所属 1408  
 事務事業番号 00422

進捗区分 所属評価  
 福祉部障害福祉課  
 日中一時支援事業

所属長名 古時 一也  
 記入者 内堀 良麻

【基本情報】

総合計画	03	大津市総合計画 第2期実行計画	
基本方針	001	子どもから高齢者までが輝いて、魅力あふれるまちを創ります	
基本政策	002	心豊かに暮らせる、福祉が充実したまちにします	
施策	005	障害者の福祉の充実	
取組の方向性	002	障害福祉サービス等の充実	
事務事業	009	日中一時支援事業	

新規継続区分	継続		
運営方法	民間委託		
評価区分	対象	主な取組区分	対象外

根拠法令等	障害者総合支援法
事業概要	<p>【日中一時支援事業】                  (事業概要)                  障害者（児）に日中の活動の場を提供し、その家族の就労支援及び就労時間の確保や介護している家族の一時的な休息を提供する。なお、本事業は本市と委託契約を締結した事業所において実施している。</p>
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	<p>【日中一時支援事業】                  (事業を取りまく社会環境) 在宅での介護においては家族等の負担が大きく、介護者のレスパイト（休憩）の必要性は非常に大きい。また、高齢社会となった現在、老障介護へと進みつつあるため、日中一時支援事業に対する需要も高まってきている。                  (見直しや改善等の経過) 平成22年度から、市民税非課税世帯の自己負担金を無料とした。</p>

【事業分析】

対象(何又は誰を)	在宅の障害者（児）
目的(何のために)	障害者（児）を在宅で介護する家族等の支援のため
手段(どのようなやり方で)	日中、施設等で支援する。
成果(どのような状態にするのか)	家族の就労や一時的な休息の機会となり、障害者（児）の在宅生活にゆとりを与える

【コスト】 (単位：千円)

	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
	決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト	209,672	223,197	238,379	269,598	295,731	324,477	356,097
事業費	209,192	222,729	230,111	261,330	287,463	316,209	347,829
国庫支出金	59,096	64,623	66,732	75,785	83,364	91,700	100,870
県支出金	29,548	32,309	33,366	37,892	41,682	45,850	50,435
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0
一般財源	120,548	125,797	130,013	147,653	162,417	178,659	196,524
人件費計	480	468	8,268	8,268	8,268	8,268	8,268
事務・技術（人）	0.06	0.06	1.06	1.06	1.06	1.06	1.06
技能労務（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度任用（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
嘱託（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

# 事務事業評価シート（2/2）

164 頁  
令和 5年 9月 5日

整理番号 0055  
 評価年度 令和 4年度 進捗区分 所属評価  
 所属 1408 福祉部障害福祉課  
 事務事業番号 00422 日中一時支援事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-15-05-10-25-00-17-00	日中一時支援事業費	福祉部障害福祉課

【定量評価】

指標名	単位	上段：目標値 下段：実績値						
		令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
(活動)延べ利用件数	人	40,000.00	40,000.00	44,000.00	44,000.00	44,000.00	44,000.00	44,000.00
		38,946.00	40,017.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(活動)実利用者数	人	650.00	650.00	715.00	715.00	715.00	715.00	715.00
		627.00	653.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果)平均利用件数	件	55.00	55.00	62.00	62.00	62.00	62.00	62.00
		62.00	61.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

【定性評価】

評価項目	評価の観点	基準	評価
1 妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A 妥当である	A
		B ほぼ妥当である	
		C あまり妥当ではない	
		D 妥当ではない	
評価理由	委託により、個々に適したサービスの提供ができる。		
2 有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A 上がっている	A
		B やや上がっている	
		C あまり上がっていない	
		D 上がっていない	
評価理由	利用ニーズは増加傾向にあり、事業の必要性が高まっている。		
3 効率性	事業手法は効率的であるか	A 効率的である	B
		B やや効率的である	
		C あまり効率的でない	
		D 効率的でない	
評価理由	委託件数を増やししながら、利用者ニーズに応えている。		
4 施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A 貢献している	A
		B やや貢献している	
		C あまり貢献していない	
		D 貢献していない	
評価理由	家族等に一時的な休息を提供できている。		
評価理由			

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
所属コメント (400文字)	在宅の障害者（児）及びその家族等の一時的な休息を確保するため、委託件数の増加を図り、利用者のニーズに対応していく。		

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
部局コメント (400文字)	利用ニーズは年々高まっており、今後も在宅障害者（児）及びその家族等への支援を行う必要があることから、引き続き本事業を継続していく。		



# 事務事業評価シート（1/2）

整理番号 0056  
 評価年度 令和 4年度  
 所属 1408  
 事務事業番号 00429

進捗区分 所属評価  
 福祉部障害福祉課  
 入浴サービス事業

所属長名 古藤 一也  
 記入者 入江 くみ子

【基本情報】

総合計画	03	大津市総合計画 第2期実行計画				
基本方針	001	子どもから高齢者までが輝いて、魅力あふれるまちを創ります				
基本政策	002	心豊かに暮らせる、福祉が充実したまちにします				
施策	005	障害者の福祉の充実				
取組の方向性	002	障害福祉サービス等の充実				
事務事業	012	入浴サービス事業				
新規継続区分	継続					
運営方法	民間委託					
評価区分	対象	主な取組区分	対象外			
根拠法令等	障害者総合支援法					
事業概要	(事業概要) 障害者に対し、訪問入浴サービスの給付を行うことにより、その居宅における生活を支援し、もって障害者の福祉の増進を図る。					
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	(事業を取りまく社会環境) 重度身体障害者の自宅浴槽での入浴は、設備面でも困難を伴い、入浴の機会が制限されることが非常に多く、入浴サービスに対する需要は高い。 (見直しや改善等の経過) 平成24年度に訪問入浴サービスの回数を週2回から週3回に変更、市県民税非課税世帯の利用者負担を無料とした。平成31年度より1回あたりの委託料を500円上げ、12,500円とした。					

【事業分析】

対象(何又は誰を)	大津市内に居住し、65歳未満で、居宅において入浴することが困難な重度の心身障害者であって、入浴が可能であると医師が認め、かつ感染症の患者でない者。
目的(何のために)	家庭での入浴が困難な重度障害者に対して入浴の機会を提供することにより、清潔および健康を保持し、もって障害者福祉の増進に資することを目的とする。
手段(どのようなやり方で)	市が委託した障害者の入浴に関する専門的な知識・経験および特殊浴槽等の器材を備えた事業者が、障害者に対し入浴サービスを提供する。
成果(どのような状態にするのか)	家庭または通所での入浴困難な在宅重度障害者を入浴させることにより、清潔および健康を保持することで、居宅生活を支援し、障害者福祉の増進を図る。

【コスト】 (単位：千円)

	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
	決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト	50,728	50,798	62,420	76,800	79,716	82,749	85,903
事業費	50,568	50,642	58,520	72,900	75,816	78,849	82,003
国庫支出金	14,285	14,483	17,058	21,250	22,100	22,984	23,904
県支出金	7,142	7,241	8,529	10,625	11,050	11,492	11,952
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0
一般財源	29,141	28,918	32,933	41,025	42,666	44,373	46,147
人件費計	160	156	3,900	3,900	3,900	3,900	3,900
事務・技術(人)	0.02	0.02	0.50	0.50	0.50	0.50	0.50
技能労務(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度任用(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
嘱託(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

# 事務事業評価シート（2/2）

167 頁  
令和 5年 9月 5日

整理番号 0056  
 評価年度 令和 4年度 進捗区分 所属評価  
 所属 1408 福祉部障害福祉課  
 事務事業番号 00429 入浴サービス事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-15-05-10-25-00-09-00	入浴サービス事業費	福祉部障害福祉課

【定量評価】

指標名	単位	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	上段：目標値 下段：実績値	
							令和 8年度	令和 9年度
(活動)訪問入浴サービス利用回数	回	5,000.00	5,000.00	5,000.00	5,000.00	5,000.00	5,000.00	5,000.00
		4,091.00	4,099.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(活動)訪問入浴利用者実人数	人	43.00	43.00	43.00	43.00	43.00	43.00	43.00
		39.00	39.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果)訪問入浴サービス月利用回数	回	9.70	10.00	10.00	10.00	10.00	10.00	10.00
		8.70	8.76	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果)訪問入浴サービス提供者数	社	5.00	5.00	5.00	5.00	5.00	5.00	5.00
		5.00	5.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

【定性評価】

評価項目	評価の観点	基準	評価
1 妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A 妥当である	A
		B ほぼ妥当である	
		C あまり妥当ではない	
		D 妥当ではない	
評価理由	障害者が安全で衛生的な入浴の機会を確保するために必要不可欠。		
2 有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A 上がっている	A
		B やや上がっている	
		C あまり上がっていない	
		D 上がっていない	
評価理由	利用者が継続的に定期的な入浴支援を受けられ、有効性は高い。		
3 効率性	事業手法は効率的であるか	A 効率的である	A
		B やや効率的である	
		C あまり効率的でない	
		D 効率的でない	
評価理由	市の要件を満たす民間事業者に統一単価で効率的に委託している。		
4 施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A 貢献している	A
		B やや貢献している	
		C あまり貢献していない	
		D 貢献していない	
評価理由	居宅での入浴が困難な重度障害者に入浴機会を提供できている。		
評価理由			

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
所属コメント (400文字)	重度身体障害者の自宅浴槽での入浴は、設備面でも困難を伴い、入浴の機会が制限されることが非常に多く、在宅で入浴困難な障害者にとって必要な支援であり、利用者のニーズに対応し、事業を継続していく。		

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
部局コメント (400文字)	障害者の居宅での生活の支援及び衛生面の向上につながることから、引き続き本事業を継続していく。		



# 事務事業評価指標一覧

評価年度 令和 4年度 進捗区分 所属評価  
所属 1408 福祉部障害福祉課  
総合計画 03 大津市総合計画 第2期実行計画  
事務事業番号 00429 入浴サービス事業

上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
(活動)訪問入浴サービス利用回数	回	5,000.00	5,000.00	5,000.00	5,000.00	5,000.00	5,000.00	5,000.00
	指標説明	訪問入浴サービスの年間利用総回数 4,091.00 4,099.00 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00						
(活動)訪問入浴利用者実人数	人	43.00	43.00	43.00	43.00	43.00	43.00	43.00
	指標説明	訪問入浴サービスの利用者実人数 39.00 39.00 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00						
(成果)訪問入浴サービス月利用回数	回	9.70	10.00	10.00	10.00	10.00	10.00	10.00
	指標説明	利用実績回数÷登録利用者数÷12ヶ月 8.70 8.76 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00						
(成果)訪問入浴サービス提供者数	社	5.00	5.00	5.00	5.00	5.00	5.00	5.00
	指標説明	訪問入浴サービス提供（委託）業者数 5.00 5.00 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00						

# 事務事業評価シート（1/2）

169 頁  
令和 5年 9月 5日

整理番号 0057  
 評価年度 令和 4年度  
 所属 1408  
 事務事業番号 00430

進捗区分 所属評価  
 福祉部障害福祉課  
 住宅・自動車改造事業

所属長名 古藤 一也  
 記入者 吉田 圭吾

【基本情報】

総合計画	03	大津市総合計画 第2期実行計画				
基本方針	001	子どもから高齢者までが輝いて、魅力あふれるまちを創ります				
基本政策	002	心豊かに暮らせる、福祉が充実したまちにします				
施策	005	障害者の福祉の充実				
取組の方向性	002	障害福祉サービス等の充実				
事務事業	013	住宅・自動車改造事業				
新規継続区分	継続					
運営方法	直営					
評価区分	対象	主な取組区分	対象外			
根拠法令等	障害者総合支援法					
事業概要	(事業概要) 重度身体障害者が住宅改造・自動車改造・自動車操作訓練を要する場合に必要な経費を助成する。					
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	(事業を取りまく社会環境) 障害者が安心、安全に生活するための住環境の整備や移動手段の確保は必要不可欠であり、当事業へのニーズは高い。 (見直しや改善等の経過) 平成21年度から住宅改造の本人負担割合を1/3から1/2へ変更。令和2年度より自動車改造及び自動車操作訓練の助成上限額を10万円から5万円に変更。					

【事業分析】

対象(何又は誰を)	大津市内に居住する身体障害者手帳等の交付を受けている者で、要綱の助成対象者の規定に該当する者。
目的(何のために)	心身障害者の日常生活の便宜を図るため、市がその障害者の住宅の改造および自動車改造に必要な経費を助成し、もって在宅重度心身障害者の福祉の増進に資することを目的とする。
手段(どのようなやり方で)	在宅重度心身障害者の住宅の改造および自動車改造に必要な経費を助成する。
成果(どのような状態にするのか)	在宅重度心身障害者の日常生活の改善を図り、より安全で安定した生活に資する。

【コスト】 (単位：千円)

	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
	決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト	2,897	2,598	3,049	3,225	3,225	3,225	3,225
事業費	2,662	2,365	2,816	2,992	2,992	2,992	2,992
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	420	373	616	1,175	1,175	1,175	1,175
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0
一般財源	2,242	1,992	2,200	1,817	1,817	1,817	1,817
人件費計	235	233	233	233	233	233	233
事務・技術(人)	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01
技能労務(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度任用(人)	0.05	0.05	0.05	0.05	0.05	0.05	0.05
嘱託(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

# 事務事業評価シート（2/2）

170 頁  
令和 5年 9月 5日

整理番号 0057  
 評価年度 令和 4年度 進捗区分 所属評価  
 所属 1408 福祉部障害福祉課  
 事務事業番号 00430 住宅・自動車改造事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-15-05-10-25-00-11-00	住宅・自動車改造事業費	福祉部障害福祉課

【定量評価】

指標名	単位	上段：目標値 下段：実績値						
		令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
(活動)住宅改造費助成件数	件	10.00	13.00	13.00	13.00	13.00	13.00	13.00
		11.00	13.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(活動)自動車改造費助成件数	件	18.00	18.00	12.00	12.00	12.00	12.00	12.00
		11.00	5.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果)住宅改造利用率	%	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00
		110.00	100.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果)自動車改造利用率	%	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00
		61.00	28.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

【定性評価】

評価項目	評価の観点	基準	評価
1 妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A 妥当である	A
		B ほぼ妥当である	
		C あまり妥当ではない	
		D 妥当ではない	
評価理由	住宅改造は介護保険制度と連携し効果的に制度運用している。		
2 有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A 上がっている	B
		B やや上がっている	
		C あまり上がっていない	
		D 上がっていない	
評価理由	継続して一定数の障害者が利用しており、有効性は高い。		
3 効率性	事業手法は効率的であるか	A 効率的である	A
		B やや効率的である	
		C あまり効率的でない	
		D 効率的でない	
評価理由	住宅改造は介護保険制度と連携し効果的に制度運用している。		
4 施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A 貢献している	A
		B やや貢献している	
		C あまり貢献していない	
		D 貢献していない	
評価理由	障害者を支えるまちづくりを推進する上で当事業の貢献度は高い。		
評価理由			

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
所属コメント (400文字)	例年一定のニーズがあり、障害者が在宅生活及び社会参加を送る上で必要な支援であるため、事業を継続していく。		

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
部局コメント (400文字)	障害者の在宅生活及び社会参加の支援に繋がる事から、引き続き本事業を継続していく。		

# 事務事業評価指標一覧

171 頁  
令和 5年 9月 5日

評価年度 令和 4年度          進捗区分          所属評価  
所属           1408          福祉部障害福祉課  
総合計画      03          大津市総合計画 第2期実行計画  
事務事業番号 00430      住宅・自動車改造事業

上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
〔活動〕住宅改造費助成件数	件	10.00	13.00	13.00	13.00	13.00	13.00	13.00
	指標説明	11.00	13.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		住宅改造費助成の実施件数						
〔活動〕自動車改造費助成件数	件	18.00	18.00	12.00	12.00	12.00	12.00	12.00
	指標説明	11.00	5.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		自動車改造費助成の実施件数						
〔成果〕住宅改造利用率	%	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00
	指標説明	110.00	100.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		住宅改造費用実績件数 ÷ 目標件数 × 100						
〔成果〕自動車改造利用率	%	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00
	指標説明	61.00	28.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		自動車改造利用実績件数 ÷ 目標件数 × 100						

# 事務事業評価シート（1/2）

172 頁  
令和 5年 9月 5日

整理番号 0058  
 評価年度 令和 4年度  
 所属 1408  
 事務事業番号 00435

進捗区分 所属評価  
 福祉部障害福祉課  
 障害児地域活動支援事業

所属長名 古時 一也  
 記入者 吉田 圭吾

## 【基本情報】

総合計画	03	大津市総合計画 第2期実行計画		
基本方針	001	子どもから高齢者までが輝いて、魅力あふれるまちを創ります		
基本政策	002	心豊かに暮らせる、福祉が充実したまちにします		
施策	005	障害者の福祉の充実		
取組の方向性	002	障害福祉サービス等の充実		
事務事業	017	障害児地域活動支援事業		
新規継続区分	継続			
運営方法	その他			
評価区分	対象	主な取組区分	対象外	

根拠法令等	大津市障害児サマースクール実施要領			
事業概要	(事業概要) 夏休み期間中の概ね20日間（15日以上）、障害のある子どもたちが集い、学生を中心としたボランティアとペアとなって、プール遊びや音楽鑑賞など、日替わりの遊びを通じて交流することによって心身の発達を促し、地域に根ざした生活を築き上げる。			
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	(事業を取りまく社会環境) 夏休み期間中、障害児の有意義な日中生活の実現が求められている。 令和4年度は、利用者が新型コロナウイルス感染症に罹患したため、やむを得ず2日間の開催となった。 令和4年度の実施後、運営委員会の実行メンバーから申し出があり、令和5年度以降は開催はしないこととした。 元々保護者の協力を得て運営していたが、放課後等デイサービス、日中一時支援等のサービス拡充と、共働きの保護者の増加もあり、運営について協力を得ることが困難な状況になっており、一部実行メンバーへの負荷が増大していたことが要因として挙げられた。			

## 【事業分析】

対象(何又は誰を)	市内に居住する、原則、特別支援学級又は養護学校若しくは特別支援学校に在籍する児童生徒とその保護者
目的(何のために)	夏休み期間中、障害児が集い、遊びや交流を通じて、心身の発達を促すとともに、地域の諸団体と連携し、地域に根ざした生活を築き上げることを目的とする。
手段(どのようなやり方で)	障害児一人あたり一人以上のボランティアを配置し、プール遊びや音楽鑑賞などさまざまな取り組みをしながら、夏休み中の概ね20日間（15日以上）を過ごす。
成果(どのような状態にするのか)	障害児の活動の場を提供することによって夏休みを有意義に過ごし、2学期以降の生活につながりをもたせる。

## 【コスト】

(単位：千円)

	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
	決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト	1,030	1,080	1,500	0	0	0	0
事業費	230	300	1,500	0	0	0	0
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	125	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0
一般財源	230	300	1,375	0	0	0	0
人件費計	800	780	0	0	0	0	0
事務・技術(人)	0.10	0.10	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
技能労務(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度任用(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
嘱託(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

# 事務事業評価シート（2/2）

173 頁  
令和 5年 9月 5日

整理番号 0058  
 評価年度 令和 4年度 進捗区分 所属評価  
 所属 1408 福祉部障害福祉課  
 事務事業番号 00435 障害児地域活動支援事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-15-05-10-77-00-80-00	障害児地域活動支援事業費	福祉部障害福祉課

【定量評価】

指標名	単位	上段：目標値 下段：実績値						
		令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
(活動)参加障害児数	人	30.00	30.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		6.00	8.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(活動)新規参加障害児数	人	10.00	10.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		3.00	2.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果)継続参加率	%	90.00	90.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		50.00	100.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果)ボランティア延べ参加者数	人	600.00	600.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		17.00	21.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

【定性評価】

評価項目	評価の観点	基準	評価
1 妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A 妥当である	B
		B ほぼ妥当である	
		C あまり妥当ではない	
		D 妥当ではない	
評価理由	障害児の夏休み中の健全な生活構築に寄与している。		
2 有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A 上がっている	B
		B やや上がっている	
		C あまり上がっていない	
		D 上がっていない	
評価理由	当事業に参加した障害児が夏休みを有意義に過ごせている。		
3 効率性	事業手法は効率的であるか	A 効率的である	B
		B やや効率的である	
		C あまり効率的でない	
		D 効率的でない	
評価理由	実行委員会で実施しているため、効率的に募集できている。		
4 施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A 貢献している	A
		B やや貢献している	
		C あまり貢献していない	
		D 貢献していない	
評価理由	多様な経験を通じて、障害児の心身の発達に寄与している。		
評価理由			

【所属評価結果】

総合評価	事業の抜本的見直しや廃止が必要	事業の方向性	縮小
所属コメント (400文字)	令和4年度は新型コロナウイルス感染症の影響に伴い予定していた開催日数を大幅に縮小することとなるも、令和3年度よりも参加ボランティア人員が多く集めることができる等、健常者がボランティア活動を通して障害者（児）への理解を深めることができるため、本事業の意義は大きいことを再認識した。しかし近年、放課後等デイサービス、日中一時支援等のサービス利用の拡充等、障害児の夏休みの過ごし場が拡大したことや、実行メンバーが元々障害児の親の支援を前提として成り立っていた中、共働き世帯の増加によって当事業への参画が困難な世帯が増加した。については、運営委員会の要望も踏まえて令和5年度以降、当該事業を廃止する。		

【部局評価結果】

総合評価	事業の抜本的見直しや廃止が必要	事業の方向性	縮小
部局コメント (400文字)	近年における障害児の夏休み中に過ごせる場が拡大したことより、令和5年度以降、当該事業を廃止する。		

# 事務事業評価指標一覧

評価年度 令和 4年度 進捗区分 所属評価  
 所属 1408 福祉部障害福祉課  
 総合計画 03 大津市総合計画 第2期実行計画  
 事務事業番号 00435 障害児地域活動支援事業

上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
(活動)参加障害児数	人	30.00 6.00	30.00 8.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00
	指標説明	当年度の参加障害児数						
(活動)新規参加障害児数	人	10.00 3.00	10.00 2.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00
	指標説明	当年度初めて参加する障害児の数						
(成果)継続参加率	%	90.00 50.00	90.00 100.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00
	指標説明	2年連続参加児童数 / (前年参加児童総数 - 18歳到達者)						
(成果)ボランティア延べ参加者数	人	600.00 17.00	600.00 21.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00
	指標説明	当年度のボランティア参加者の延べ数						

# 事務事業評価シート（1/2）

175 頁  
令和 5年 9月 5日

整理番号 0059  
 評価年度 令和 4年度  
 所属 1408  
 事務事業番号 00440

進捗区分 所属評価  
 福祉部障害福祉課  
 障害福祉サービス事業

所属長名 古時 一也  
 記入者 山崎 晃

## 【基本情報】

総合計画	03	大津市総合計画 第2期実行計画				
基本方針	001	子どもから高齢者までが輝いて、魅力あふれるまちを創ります				
基本政策	002	心豊かに暮らせる、福祉が充実したまちにします				
施策	005	障害者の福祉の充実				
取組の方向性	002	障害福祉サービス等の充実				
事務事業	019	障害福祉サービス事業				
新規継続区分	継続					
運営方法	直営					
評価区分	対象	主な取組区分	対象外			
根拠法令等	障害者総合支援法					
事業概要	(事業概要) 障害者が自立した生活ができるよう必要な障害福祉サービス支援を行うことにより、障害者の福祉の増進を図る。					
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	(事業を取りまく社会環境) 障害者数の増加に伴い、本事業の必要性は年々高まっている。 (見直しや改善等の経過) 平成25年度から難病患者等へのサービスが新たに加わった。					

## 【事業分析】

対象(何又は誰を)	障害者（身体障害・知的障害・精神障害・難病等）
目的(何のために)	支援が必要な障害者に対して、福祉サービスを支給し障害者福祉の増進に資することを目的とする。
手段(どのようなやり方で)	相談支援事業所を通じ、対象者の家庭環境やニーズを聴き取り支援計画を作成し、その必要性を審査し支給決定を行う。
成果(どのような状態にするのか)	障害者が安心して地域で暮らせるようにする。

## 【コスト】 (単位：千円)

	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
	決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト	6,604,128	6,896,325	7,185,065	7,744,235	8,207,333	8,698,213	9,218,546
事業費	6,584,248	6,872,251	7,160,991	7,720,161	8,183,259	8,674,139	9,194,472
国庫支出金	3,285,869	3,429,872	3,575,337	3,854,682	4,085,978	4,331,154	4,591,044
県支出金	1,642,902	1,714,902	1,787,668	1,927,341	2,042,989	2,165,577	2,295,522
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	66	69	72	72	72	72	72
一般財源	1,655,411	1,727,408	1,797,914	1,938,066	2,054,220	2,177,336	2,307,834
人件費計	19,880	24,074	24,074	24,074	24,074	24,074	24,074
事務・技術(人)	2.33	2.53	2.53	2.53	2.53	2.53	2.53
技能労務(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度任用(人)	0.40	1.40	1.40	1.40	1.40	1.40	1.40
嘱託(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0



# 事務事業評価シート（2/2）

176 頁  
令和 5年 9月 5日

整理番号 0059  
 評価年度 令和 4年度 進捗区分 所属評価  
 所属 1408 福祉部障害福祉課  
 事務事業番号 00440 障害福祉サービス事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-15-05-10-13-00-03-00	障害福祉サービス費	福祉部障害福祉課

【定量評価】

指標名	単位	上段：目標値 下段：実績値						
		令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
(活動)訪問系サービス利用者数	人	1,258.00	1,369.00	1,415.00	1,790.00	1,790.00	1,790.00	1,790.00
		1,783.00	1,719.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(活動)日中活動系サービス利用者数	人	1,795.00	2,224.00	2,309.00	2,309.00	2,309.00	2,309.00	2,309.00
		2,126.00	2,121.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果)訪問系サービス利用達成率	%	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00
		141.00	125.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果)日中活動系サービス利用達成率	%	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00
		118.00	95.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

【定性評価】

評価項目	評価の観点	基準	評価
1 妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A 妥当である	A
		B ほぼ妥当である	
		C あまり妥当ではない	
		D 妥当ではない	
評価理由	個別支援計画に基づき、適正な支給を行っている。		
2 有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A 上がっている	A
		B やや上がっている	
		C あまり上がっていない	
		D 上がっていない	
評価理由	支払い実績総額が増加しており有効性は高い。		
3 効率性	事業手法は効率的であるか	A 効率的である	A
		B やや効率的である	
		C あまり効率的でない	
		D 効率的でない	
評価理由	個別支援計画により事業効率化が図られている。		
4 施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A 貢献している	A
		B やや貢献している	
		C あまり貢献していない	
		D 貢献していない	
評価理由	障害者の生活に不可欠なサービスの支給により施策貢献している。		
評価理由			

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
所属コメント (400文字)	障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援する法律（障害者総合支援法）に基づく障害者の地域生活に必要な不可欠な事業である。また、多様なニーズに対応することが求められるため、今後も障害者が自立した生活ができるよう必要な障害福祉サービス支援を行うことにより継続実施が必要である。		

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
部局コメント (400文字)	障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援する法律（障害者総合支援法）に基づく障害者の地域生活に必要な不可欠な事業であり、今後も国の動向・制度改正を注視しつつ、適切な障害福祉サービスを提供していく。		

# 事務事業評価指標一覧

評価年度 令和 4年度      進捗区分 所属評価  
 所属 1408      福祉部障害福祉課  
 総合計画 03      大津市総合計画 第2期実行計画  
 事務事業番号 00440      障害福祉サービス事業

上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
(活動)訪問系サービス利用者数	人	1,258.00	1,369.00	1,415.00	1,790.00	1,790.00	1,790.00	1,790.00
	指標説明	1,783.00	1,719.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
訪問系サービス利用決定者数								
(活動)日中活動系サービス利用者数	人	1,795.00	2,224.00	2,309.00	2,309.00	2,309.00	2,309.00	2,309.00
	指標説明	2,126.00	2,121.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
日中活動系サービス利用決定者数								
(成果)訪問系サービス利用達成率	%	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00
	指標説明	141.00	125.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
訪問系サービス利用者実績数÷障害福祉計画数値目標利用者数								
(成果)日中活動系サービス利用達成率	%	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00
	指標説明	118.00	95.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
日中活動系サービス利用者実績数÷障害福祉計画数値目標利用者数								

# 事務事業評価シート（1/2）

178 頁  
令和 5年 9月 5日

整理番号 0060  
 評価年度 令和 4年度  
 所属 1408  
 事務事業番号 02409

進捗区分 所属評価  
 福祉部障害福祉課  
 就労継続・就労移行支援サービス事業

所属長名 古時 一也  
 記入者 山崎 晃

## 【基本情報】

総合計画	03	大津市総合計画 第2期実行計画				
基本方針	001	子どもから高齢者までが輝いて、魅力あふれるまちを創ります				
基本政策	002	心豊かに暮らせる、福祉が充実したまちにします				
施策	005	障害者の福祉の充実				
取組の方向性	001	障害者の就労支援の推進				
事務事業	003	就労継続・就労移行支援サービス事業				
新規継続区分	継続					
運営方法	直営					
評価区分	対象	主な取組区分	対象			
根拠法令等	障害者総合支援法					
事業概要	(事業概要) 障害者の就労に必要な知識や能力向上のための訓練を行ったり、能力や適性に応じた働く場を提供する。また、福祉的就労から一般的就労への移行を支援する。					
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	(事業を取りまく社会環境) 障害者の経済的自立を支援するため、障害者の就労支援を一層強化する必要がある。 (見直しや改善等の経過) 利用者見込み数については、国の指針を参考にしている。					

## 【事業分析】

対象(何又は誰を)	障害者（身体障害・知的障害・精神障害・難病等）
目的(何のために)	就労が必要な障害者に対して、能力向上の場や働く場の提供についてのサービスを支給し、障害者福祉の増進に資することを目的とする。
手段(どのようなやり方で)	相談支援事業所を通じ、対象者の適性や能力に応じた支援計画を作成し、その必要性を審査し支給決定を行う。
成果(どのような状態にするのか)	障害者が、自身の適性や能力にあった就労を行うことができる。

## 【コスト】

(単位：千円)

	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
	決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト	533,484	570,299	638,176	688,402	756,379	831,152	913,401
事業費	526,124	562,343	630,220	680,446	748,423	823,196	905,445
国庫支出金	262,715	280,834	314,697	339,801	373,781	411,159	452,275
県支出金	131,357	140,417	157,348	169,900	186,890	205,579	226,137
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0
一般財源	132,052	141,092	158,175	170,745	187,752	206,458	227,033
人件費計	7,360	7,956	7,956	7,956	7,956	7,956	7,956
事務・技術(人)	0.92	1.02	1.02	1.02	1.02	1.02	1.02
技能労務(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度任用(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
嘱託(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

# 事務事業評価シート（2/2）

179 頁  
令和 5年 9月 5日

整理番号 0060  
 評価年度 令和 4年度 進捗区分 所属評価  
 所属 1408 福祉部障害福祉課  
 事務事業番号 02409 就労継続・就労移行支援サービス事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-15-05-10-13-00-15-00	就労継続・就労移行支援サービス事業費	福祉部障害福祉課

【定量評価】

指標名	単位	上段：目標値 下段：実績値						
		令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
(活動) 就労移行サービス利用者数	人	117.00	126.00	136.00	140.00	140.00	140.00	140.00
		124.00	140.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(活動) 就労継続サービス利用者数	人	906.00	936.00	1,380.00	1,380.00	1,380.00	1,380.00	1,380.00
		1,071.00	1,375.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果) 就労移行支援サービス利用達成率	%	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00
		105.00	111.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果) 就労継続支援サービス利用達成率	%	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00
		118.00	146.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

【定性評価】

評価項目	評価の観点	基準	評価
1 妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A 妥当である	A
		B ほぼ妥当である	
		C あまり妥当ではない	
		D 妥当ではない	
評価理由	個別支援計画に基づき、適正な給付を行っている。		
2 有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A 上がっている	A
		B やや上がっている	
		C あまり上がっていない	
		D 上がっていない	
評価理由	実績は増加しており、事業の必要性は高い。		
3 効率性	事業手法は効率的であるか	A 効率的である	A
		B やや効率的である	
		C あまり効率的でない	
		D 効率的でない	
評価理由	個別支援計画に基づき、事業効率を図っている。		
4 施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A 貢献している	A
		B やや貢献している	
		C あまり貢献していない	
		D 貢献していない	
評価理由	障害者の安定した暮らしの実現に貢献している。		
評価理由			

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
所属コメント (400文字)	障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援する法律（障害者総合支援法）に基づく障害者の地域生活に必要な不可欠な事業である。今後も多様なニーズの拡がりに対し、障害者の能力や適性に応じた働く場を提供する等取り組みの継続実施が必要である。		

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
部局コメント (400文字)	障害者の適性等に応じた就労支援を行うことで、社会的自立の促進を図る事業であることから、引き続き適切な障害福祉サービスを提供していく。		

# 事務事業評価指標一覧

評価年度 令和 4年度 進捗区分 所属評価  
 所属 1408 福祉部障害福祉課  
 総合計画 03 大津市総合計画 第2期実行計画  
 事務事業番号 02409 就労継続・就労移行支援サービス事業

上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
(活動)就労移行サービス利用者数	人	117.00 124.00	126.00 140.00	136.00 0.00	140.00 0.00	140.00 0.00	140.00 0.00	140.00 0.00
	指標説明	就労移行支援の利用決定者数						
(活動)就労継続サービス利用者数	人	906.00 1,071.00	936.00 1,375.00	1,380.00 0.00	1,380.00 0.00	1,380.00 0.00	1,380.00 0.00	1,380.00 0.00
	指標説明	就労継続支援（A型・B型）、就労定着支援の利用決定者数						
(成果)就労移行支援サービス利用達成率	%	100.00 105.00	100.00 111.00	100.00 0.00	100.00 0.00	100.00 0.00	100.00 0.00	100.00 0.00
	指標説明	就労移行支援サービス利用者実績数÷障害福祉計画数値目標利用者数						
(成果)就労継続支援サービス利用達成率	%	100.00 118.00	100.00 146.00	100.00 0.00	100.00 0.00	100.00 0.00	100.00 0.00	100.00 0.00
	指標説明	就労継続支援サービス利用者実績数÷障害福祉計画数値目標利用者数						

# 事務事業評価シート（1/2）

181 頁  
令和 5年 9月 5日

整理番号 0061  
 評価年度 令和 4年度  
 所属 1408  
 事務事業番号 02410

進捗区分 所属評価  
 福祉部障害福祉課  
 地域移行支援事業

所属長名 古藤 一也  
 記入者 大浦 周子

【基本情報】

総合計画	03 大津市総合計画 第2期実行計画				
基本方針	001 子どもから高齢者までが輝いて、魅力あふれるまちを創ります				
基本政策	002 心豊かに暮らせる、福祉が充実したまちにします				
施策	005 障害者の福祉の充実				
取組の方向性	002 障害福祉サービス等の充実				
事務事業	001 地域移行支援事業				
新規継続区分	継続				
運営方法	民間委託				
評価区分	対象	主な取組区分	対象		
根拠法令等	大津市障害者総合支援法施行細則				
事業概要	(事業概要) 一般住宅への入居を希望しているが入居が困難な障害者に対し、入居に係る相談・助言等を行い、障害者が地域で生活するため支援する。委託により実施。				
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	(事業を取りまく社会環境) 精神科病院の病床の減少により短期での退院促進が求められ、また、障害者入所施設の増加が見込めない社会環境の中での本事業の必要性は高まっている。 (見直しや改善等の経過) これまで精神障害者に特化した当事業を、令和5年度からは地域生活支援拠点事業に移行して集約する。				

【事業分析】

対象(何又は誰を)	障害者（身体障害・知的障害・精神障害・難病等）
目的(何のために)	保証人がいない等の理由により賃貸による一般住宅への入居が困難な障害者に対し、入居に必要な調整等の支援を行うとともに家主等への相談や助言により、障害者が地域で暮らせるようにする。
手段(どのようなやり方で)	委託相談支援専門員が障害者と家主等の調整を図る。
成果(どのような状態にするのか)	障害者が一般住宅へ入居でき、地域で暮らせるようにする。

【コスト】 (単位：千円)

	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
	決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト	6,540	6,534	0	0	0	0	0
事業費	6,300	6,300	0	0	0	0	0
国庫支出金	1,778	1,798	0	0	0	0	0
県支出金	888	899	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0
一般財源	3,634	3,603	0	0	0	0	0
人件費計	240	234	0	0	0	0	0
事務・技術(人)	0.03	0.03	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
技能労務(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度任用(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
嘱託(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

# 事務事業評価シート（2/2）

182 頁  
令和 5年 9月 5日

整理番号 0061  
 評価年度 令和 4年度 進捗区分 所属評価  
 所属 1408 福祉部障害福祉課  
 事務事業番号 02410 地域移行支援事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-15-05-10-25-00-19-00	地域移行支援事業費	福祉部障害福祉課

【定量評価】 上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
(活動) 利用相談者数実績	人	25.00	25.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		15.00	5.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(活動) 一般住居入居者数	人	5.00	5.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		4.00	5.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果) 相談者入居率	%	20.00	20.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		26.00	100.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

【定性評価】

評価項目	評価の観点	基準	評価
1 妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A 妥当である	A
		B ほぼ妥当である	
		C あまり妥当ではない	
		D 妥当ではない	
評価理由	事業の対象となった障害者数が少ない		
2 有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A 上がっている	A
		B やや上がっている	
		C あまり上がっていない	
		D 上がっていない	
評価理由	対象者の支援には効果があった		
3 効率性	事業手法は効率的であるか	A 効率的である	B
		B やや効率的である	
		C あまり効率的でない	
		D 効率的でない	
評価理由	事業内容を特化した事業委託では、対象者に限りがある		
4 施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A 貢献している	B
		B やや貢献している	
		C あまり貢献していない	
		D 貢献していない	
評価理由	住み慣れた地域で安心して暮らすための支援である		
評価理由			

【所属評価結果】

総合評価	事業の抜本的見直しや廃止が必要	事業の方向性	縮小
所属コメント (400文字)	障害者が一般住宅へ入居し、安心して暮らし続けられるための個別の支援は必要であり、実際に効果もあるが、事業内容を狭く特化した事業委託は効率性に問題があった。また、これまで精神障害者を主に支援している相談支援事業者へ委託してきたこともあり、身体障害者や知的障害者が本事業につながるものが少なく、居住支援を希望する全ての障害者のニーズをいやすことが難しかった。これらのことから、本事業を廃止し、居住支援だけでなく、医療機関や入所施設からの地域移行、緊急時支援体制整備等と併せて対応する「地域生活支援拠点コーディネーター設置事業」を新設して集約し、障害者相談支援機能強化事業を受託する4事業者に分けて委託することにより、総合的な支援実施を目指す。		

【部局評価結果】

総合評価	事業の抜本的見直しや廃止が必要	事業の方向性	縮小
部局コメント (400文字)	本事業を廃止し、「地域生活支援拠点コーディネーター設置事業」を新設して集約し、総合的な支援実施を目指す。		

# 事務事業評価指標一覧

評価年度 令和 4年度 進捗区分 所属評価  
所属 1408 福祉部障害福祉課  
総合計画 03 大津市総合計画 第2期実行計画  
事務事業番号 02410 地域移行支援事業

上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
(活動) 利用相談者数実績	人	25.00	25.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		15.00	5.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	指標説明	1年間の制度利用者数						
(活動) 一般住居入居者数	人	5.00	5.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		4.00	5.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	指標説明	1年間の新規一般住宅入居者数						
(成果) 相談者入居率	%	20.00	20.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		26.00	100.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	指標説明	入居者数÷相談者数						



# 事務事業評価シート（1/2）

184 頁  
令和 5年 9月 5日

整理番号 0062  
 評価年度 令和 4年度  
 所属 1408  
 事務事業番号 02411

進捗区分 所属評価  
 福祉部障害福祉課  
 障害福祉サービス事業所等運営補助事業

所属長名 古時 一也  
 記入者 南 いろは

【基本情報】

総合計画	03	大津市総合計画 第2期実行計画				
基本方針	001	子どもから高齢者までが輝いて、魅力あふれるまちを創ります				
基本政策	002	心豊かに暮らせる、福祉が充実したまちにします				
施策	005	障害者の福祉の充実				
取組の方向性	001	障害者の就労支援の推進				
事務事業	004	障害福祉サービス事業所等運営補助事業				
新規継続区分	継続					
運営方法	その他					
評価区分	対象	主な取組区分	対象			
根拠法令等	社会的事業所等用地等賃借料補助金交付要綱					
事業概要	(事業概要) 障害福祉サービス事業所等を設置している者で、その用地又は建物を賃借しているものに対し、当該賃借料に係る経費の一部を補助する。					
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	(事業を取りまく社会環境) 本事業は平成8年度から開始し、市内の障害福祉サービス事業所等の円滑な運営を支援してきた。支援が必要な人の数が増える中、その運営を補助する必要性は高まっている。 (見直しや改善等の経過) 平成26年度に用地賃借料補助金は内容見直し方針を定めた。平成27年度から補助金の見直しについて関係団体と協議を行い、平成29年度より実施した。					

【事業分析】

対象(何又は誰を)	障害福祉サービス事業所等を設置しているもの
目的(何のために)	心身障害者の社会福祉の増進
手段(どのようなやり方で)	用地又は建物の賃借料に係る経費の一部を補助する。
成果(どのような状態にするのか)	障害福祉サービス事業所等の円滑な運営

【コスト】 (単位：千円)

	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
	決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト	95,347	97,041	105,352	112,181	115,663	119,155	120,518
事業費	94,147	95,871	104,182	111,011	114,493	117,985	119,348
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	11,654	10,178	10,697	10,250	10,250	10,250	10,250
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0
一般財源	82,493	85,693	93,485	100,761	104,243	107,735	109,098
人件費計	1,200	1,170	1,170	1,170	1,170	1,170	1,170
事務・技術(人)	0.15	0.15	0.15	0.15	0.15	0.15	0.15
技能労務(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度任用(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
嘱託(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

# 事務事業評価シート（2/2）

185 頁  
令和 5年 9月 5日

整理番号 0062  
 評価年度 令和 4年度 進捗区分 所属評価  
 所属 1408 福祉部障害福祉課  
 事務事業番号 02411 障害福祉サービス事業所等運営補助事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-15-05-10-42-00-01-00	障害福祉サービス事業所等運営補助事業費	福祉部障害福祉課

【定量評価】 上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
(活動)賃借料補助対象事業所数	箇所	30.00	35.00	35.00	35.00	35.00	35.00	35.00
		35.00	35.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果)就労継続支援B型事業利用者数	人	590.00	980.00	980.00	980.00	980.00	980.00	980.00
		968.00	971.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果)日中一時支援事業利用者数	人	920.00	1,200.00	1,200.00	1,200.00	1,200.00	1,200.00	1,200.00
		1,128.00	1,155.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

【定性評価】

評価項目	評価の観点	基準	評価
1 妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A 妥当である	A
		B ほぼ妥当である	
		C あまり妥当ではない	
		D 妥当ではない	
		評価理由	
2 有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A 上がっている	A
		B やや上がっている	
		C あまり上がっていない	
		D 上がっていない	
		評価理由	
3 効率性	事業手法は効率的であるか	A 効率的である	A
		B やや効率的である	
		C あまり効率的でない	
		D 効率的でない	
		評価理由	
4 施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A 貢献している	A
		B やや貢献している	
		C あまり貢献していない	
		D 貢献していない	
		評価理由	
評価理由			

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
所属コメント (400文字)	賃借料補助金は平成29年度の制度見直しを行っており、市の財政状況と本補助金の持続性を鑑みつつ補助金額等の精査を行ない、事業を継続する。		

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
部局コメント (400文字)	事業所等の安定した運営を支援するため、今後も必要な見直しを行いつつ、障害者の就労支援、障害福祉サービス向上のため、引き続き本事業を継続していく。		

# 事務事業評価指標一覧

評価年度 令和 4年度 進捗区分 所属評価  
 所属 1408 福祉部障害福祉課  
 総合計画 03 大津市総合計画 第2期実行計画  
 事務事業番号 02411 障害福祉サービス事業所等運営補助事業

上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
(活動)賃借料補助対象事業所数	箇所	30.00	35.00	35.00	35.00	35.00	35.00	35.00
	指標説明	賃借料補助対象事業所数						
(成果)就労継続支援B型事業利用者数	人	590.00	980.00	980.00	980.00	980.00	980.00	980.00
	指標説明	就労継続支援B型事業利用者数						
(成果)日中一時支援事業利用者数	人	920.00	1,200.00	1,200.00	1,200.00	1,200.00	1,200.00	1,200.00
	指標説明	日中一時支援事業利用者数						

# 事務事業評価シート（1/2）

187 頁  
令和 5年 9月 5日

整理番号 0063  
 評価年度 令和 4年度  
 所属 1408  
 事務事業番号 02444

進捗区分 所属評価  
 福祉部障害福祉課  
 障害児サービス事業

所属長名 古藤 一也  
 記入者 山崎 晃

【基本情報】

総合計画	03	大津市総合計画 第2期実行計画				
基本方針	001	子どもから高齢者までが輝いて、魅力あふれるまちを創ります				
基本政策	002	心豊かに暮らせる、福祉が充実したまちにします				
施策	005	障害者の福祉の充実				
取組の方向性	002	障害福祉サービス等の充実				
事務事業	026	障害児サービス事業				
新規継続区分	継続					
運営方法	直営					
評価区分	対象	主な取組区分	対象外			
根拠法令等	児童福祉法					
事業概要	(事業概要) 障害児が安全で安心した暮らしを送れることができるよう、必要な障害福祉サービスを支給することにより、障害児の福祉の増進を図る。					
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	(事業を取りまく社会環境) 発達障害児数等の増加等、障害児支援の必要性は高まっている。 (見直しや改善等の経過) 支給基準については、国の指針を参考にしている。					

【事業分析】

対象(何又は誰を)	障害児（身体障害・知的障害・精神障害・難病等の方）
目的(何のために)	支援が必要な障害児に対して、障害福祉サービスを支給し障害児の福祉の増進に資することを目的とする。
手段(どのようなやり方で)	相談支援事業所を通じ、家庭環境やニーズを聞き取り支援計画を作成することにより、その必要性を審査し支給決定を行う。
成果(どのような状態にするのか)	障害児が安心して地域で暮らせるようになる。

【コスト】 (単位：千円)

	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
	決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト	1,357,272	1,518,624	1,629,319	1,817,963	2,017,236	2,238,471	2,484,086
事業費	1,349,682	1,510,436	1,621,131	1,809,775	2,009,048	2,230,283	2,475,898
国庫支出金	673,073	753,254	808,295	902,254	1,001,469	1,111,598	1,233,839
県支出金	336,530	376,627	404,147	451,127	500,734	555,799	616,919
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0
一般財源	340,079	380,555	408,689	456,394	506,845	562,886	625,140
人件費計	7,590	8,188	8,188	8,188	8,188	8,188	8,188
事務・技術(人)	0.91	1.01	1.01	1.01	1.01	1.01	1.01
技能労務(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度任用(人)	0.10	0.10	0.10	0.10	0.10	0.10	0.10
嘱託(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

# 事務事業評価シート（2/2）

188 頁  
令和 5年 9月 5日

整理番号 0063  
 評価年度 令和 4年度 進捗区分 所属評価  
 所属 1408 福祉部障害福祉課  
 事務事業番号 02444 障害児サービス事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-15-05-10-13-00-18-00	障害児サービス費	福祉部障害福祉課

【定量評価】

指標名	単位	上段：目標値 下段：実績値						
		令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
(活動)障害児サービス利用者数	人	680.00	1,260.00	1,354.00	1,380.00	1,380.00	1,380.00	1,380.00
		949.00	1,371.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果)障害児サービス利用達成率	%	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00
		139.00	108.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

【定性評価】

評価項目	評価の観点	基準	評価
1 妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A 妥当である	A
		B ほぼ妥当である	
		C あまり妥当ではない	
		D 妥当ではない	
評価理由	個別支援計画に基づき審査し適正に給付決定している。		
2 有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A 上がっている	A
		B やや上がっている	
		C あまり上がっていない	
		D 上がっていない	
評価理由	利用者は増加しており、事業の有効性は高い		
3 効率性	事業手法は効率的であるか	A 効率的である	A
		B やや効率的である	
		C あまり効率的でない	
		D 効率的でない	
評価理由	個別支援計画に基づき効率化が図られている。		
4 施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A 貢献している	A
		B やや貢献している	
		C あまり貢献していない	
		D 貢献していない	
評価理由	障害者の安心な生活を支えている。		
評価理由			

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
所属コメント (400文字)	児童福祉法に基づく障害児の生活を支えるために必要不可欠なサービスである。また、各個人に合ったサービスを提供し、障害児が安心した暮らしを送れることができるよう今後も事業の継続が必要である。		

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
部局コメント (400文字)	児童福祉法に基づき障害児の福祉向上を図る事業であり、引き続き適切な障害福祉サービスを提供していく。		

# 事務事業評価指標一覧

評価年度 令和 4年度 進捗区分 所属評価  
所属 1408 福祉部障害福祉課  
総合計画 03 大津市総合計画 第2期実行計画  
事務事業番号 02444 障害児サービス事業

上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
(活動) 障害児サービス利用者数	人	680.00	1,260.00	1,354.00	1,380.00	1,380.00	1,380.00	1,380.00
	指標説明	障害児通所支援利用者数						
(成果) 障害児サービス利用達成率	%	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00
	指標説明	障害児サービス利用者実績÷障害児福祉計画数値目標利用者数						

# 事務事業評価シート（1/2）

190 頁  
令和 5年 9月 5日

整理番号 0064  
評価年度 令和 4年度  
所属 1428  
事務事業番号 00446

進捗区分 評価完了  
福祉部やまびこ総合支援センター  
やまびこ総合支援センター運営事業

所属長名 遠藤 美菜子  
記入者 辻 友紀子

## 【基本情報】

総合計画	03	大津市総合計画 第2期実行計画				
基本方針	001	子どもから高齢者までが輝いて、魅力あふれるまちを創ります				
基本政策	002	心豊かに暮らせる、福祉が充実したまちにします				
施策	005	障害者の福祉の充実				
取組の方向性	002	障害福祉サービス等の充実				
事務事業	023	やまびこ総合支援センター運営事業				
新規継続区分	継続					
運営方法	直営					
評価区分	対象	主な取組区分	対象外			
根拠法令等	大津市立障害者通所施設条例					
事業概要	<p>(事業概要)</p> <p>乳幼児から成人までの障害のある方々が通所する複合的施設であるやまびこ総合支援センターの施設及び設備の維持管理を行うとともに、自力で通所が困難な利用者を対象としてバスによる送迎を実施する。</p>					
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	<p>(事業を取りまく社会環境)</p> <p>障害のある方が日中を過ごす場所として、質の高いサービスの提供が求められている。施設の運営面から安全・安心・快適性を維持することで、信頼の確保と地域の理解を得ることが必要とされている。</p> <p>(見直しや改善等の経過)</p> <p>令和4年度においては、浴室改修工事（水漏れ）、消防設備交換（非常用照明・誘導灯・煙探知機）等を実施し、利用者が安心して快適に過ごせるよう施設・設備の維持保全を行った。</p>					

## 【事業分析】

対象(何又は誰を)	施設を利用される方が
目的(何のために)	センターの施設・設備の状態を良好に保ち、利用者のニーズに合った安全、快適な事業運営を行うため
手段(どのようなやり方で)	施設・設備に係る定期的な保守点検の実施など、施設の維持管理並びに送迎業務等の委託によって
成果(どのような状態にするのか)	安全で安心して、快適に活動できる状態を保ち続ける

## 【コスト】

(単位：千円)

	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
	決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト	78,298	80,058	82,289	89,209	191,320	82,389	82,301
事業費	63,718	65,658	67,889	74,809	176,920	67,989	67,901
国庫支出金	1,362	0	0	0	0	0	0
県支出金	7	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	213	258	143	143	143	143	143
一般財源	62,136	65,400	67,746	74,666	176,777	67,846	67,758
人件費計	14,580	14,400	14,400	14,400	14,400	14,400	14,400
事務・技術(人)	0.40	0.40	0.40	0.40	0.40	0.40	0.40
技能労務(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用(人)	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00
会計年度任用(人)	1.80	1.80	1.80	1.80	1.80	1.80	1.80
嘱託(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

# 事務事業評価シート（2/2）

191 頁  
令和 5年 9月 5日

整理番号 0064  
 評価年度 令和 4年度 進捗区分 評価完了  
 所属 1428 福祉部やまびこ総合支援センター  
 事務事業番号 00446 やまびこ総合支援センター運営事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-15-05-15-81-00-01-00	やまびこ総合支援センター運営費	福祉部やまびこ総合支援センター

【定量評価】

指標名	単位	上段：目標値 下段：実績値						
		令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
(活動)センター開設日数	日	365.00	365.00	365.00	366.00	365.00	365.00	365.00
		365.00	365.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(活動)送迎バスの運行日数	日	236.00	236.00	236.00	236.00	236.00	236.00	236.00
		237.00	240.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果)施設での無事故達成率	%	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00
		100.00	100.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果)車両事故の未発生率	%	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00
		100.00	100.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

【定性評価】

評価項目	評価の観点	基準	評価
1 妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A 妥当である	A
		B ほぼ妥当である	
		C あまり妥当ではない	
		D 妥当ではない	
評価理由	障害のある方・児童が安全・安心に活動できる施設の提供している		
2 有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A 上がっている	A
		B やや上がっている	
		C あまり上がっていない	
		D 上がっていない	
評価理由	経年劣化等による不具合について修繕を実施している		
3 効率性	事業手法は効率的であるか	A 効率的である	A
		B やや効率的である	
		C あまり効率的でない	
		D 効率的でない	
評価理由	日常点検や軽微な修繕に対応できる当番担当の職員を配置している		
4 施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A 貢献している	A
		B やや貢献している	
		C あまり貢献していない	
		D 貢献していない	
評価理由	利用者が安心・安全に活動できる施設を維持するために必要不可欠		
評価理由			

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	拡大
所属コメント (400文字)	設備の経年劣化や耐用年数を過ぎたものがあり、定期的な点検と診断を行い必要な処置を行う。また、利用者の安全性、快適性を損なうことのないよう計画的な施設改修・保全を図っていく必要がある。送迎バスの運行については、引き続き安全運行を指導する。		

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	拡大
部局コメント (400文字)	利用者の安心・安全のため、計画的な維持管理に努める。		



# 事務事業評価指標一覧

評価年度 令和 4年度 進捗区分 評価完了  
 所属 1428 福祉部やまびこ総合支援センター  
 総合計画 03 大津市総合計画 第2期実行計画  
 事務事業番号 00446 やまびこ総合支援センター運営事業

上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
(活動)センター開設日数	日	365.00	365.00	365.00	366.00	365.00	365.00	365.00
	指標説明	365.00 365.00 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 やまびこ総合支援センターが開所している日数						
(活動)送迎バスの運行日数	日	236.00	236.00	236.00	236.00	236.00	236.00	236.00
	指標説明	237.00 240.00 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 送迎バスの年間運行日数						
(成果)施設での無事故達成率	%	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00
	指標説明	100.00 100.00 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 施設の不具合に起因する事故がないこと (無事故達成日数/年間365日)						
(成果)車両事故の未発生率	%	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00
	指標説明	100.00 100.00 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 バスによる送迎時における加害事故のないこと (無事故達成日数/バス稼働日数)						

# 事務事業評価シート（1/2）

整理番号 0065  
評価年度 令和 4年度  
所属 1428  
事務事業番号 02388

進捗区分 評価完了  
福祉部やまびこ総合支援センター  
児童発達支援事業

所属長名 遠藤 美菜子  
記入者 辻 友紀子

【基本情報】

総合計画	03	大津市総合計画 第2期実行計画				
基本方針	001	子どもから高齢者までが輝いて、魅力あふれるまちを創ります				
基本政策	001	子どもの未来が輝くまちにします				
施策	002	子どもを守る仕組みの充実				
取組の方向性	003	一貫した子どもの発達支援				
事務事業	001	児童発達支援事業				
新規継続区分	継続					
運営方法	直営					
評価区分	対象	主な取組区分	対象外			

根拠法令等	大津市立障害者通所施設条例				
事業概要	<p>(事業概要) 児童発達支援センター「やまびこ園・教室」、北部子ども療育センター「わくわく教室」、東部子ども療育センター「のびのび教室」の3施設で、児童福祉法の規定に基づき、就学前の障害がある、または発達上の課題や困難のある子どもたちに対する早期療育と保護者への支援を実施する。また、指定障害児相談支援事業所として、障害児通所支援事業を利用する障害児及び保護者に対し、「障害児支援利用計画」を作成する。</p>				
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	<p>(事業を取りまく社会環境) 障害や発達上の課題のある子どもの早期療育と保護者支援に対する期待は高い。増えている医療的ケア、配慮が必要な児への対応や乳幼児人口の多い東部エリアでの療育環境の整備、地域支援機能の充実が求められている。 (見直しや改善等の経過) 療育前早期対応親子教室の実施や居宅訪問型児童発達支援サービスを開始するなど療養施設の機能を広げてきた。また、療育体制の整備に関する基本的な方針について検討を行った。</p>				

【事業分析】

対象(何又は誰を)	乳幼児健診等によって、早期の発達支援が必要とされている子どもたちとその家族
目的(何のために)	障害のある子どもたちの発達保障と保護者に対する支援の充実を図る
手段(どのようなやり方で)	通園あるいは訪問により、早期の療育と保護者への支援を行う
成果(どのような状態にするのか)	発達上の課題について保護者と共に療育することで、子どもの健やかな発達を支援するとともに、保護者の子どもに対する不安を取り除き、積極的に子育てを行うことができるように支援する。

【コスト】 (単位：千円)

	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
	決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト	444,661	477,432	659,920	493,804	494,286	487,377	489,297
事業費	49,761	62,384	230,312	64,196	64,678	57,769	59,689
国庫支出金	1,907	328	1,153	0	0	0	0
県支出金	24	22	0	0	0	0	0
地方債	0	12,400	141,500	0	0	0	0
その他	34,623	47,504	30,190	47,204	47,204	47,204	47,204
一般財源	13,207	2,130	57,469	16,992	17,474	10,565	12,485
人件費計	394,900	415,048	429,608	429,608	429,608	429,608	429,608
事務・技術(人)	30.84	33.10	36.00	36.00	36.00	36.00	36.00
技能労務(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用(人)	0.00	2.34	2.34	2.34	2.34	2.34	2.34
会計年度任用(人)	47.80	46.30	43.70	43.70	43.70	43.70	43.70
嘱託(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

# 事務事業評価シート（2/2）

194 頁  
令和 5年 9月 5日

整理番号 0065  
 評価年度 令和 4年度 進捗区分 評価完了  
 所属 1428 福祉部やまびこ総合支援センター  
 事務事業番号 02388 児童発達支援事業

## 【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-15-05-15-81-00-03-00	児童発達支援事業費	福祉部やまびこ総合支援センター

## 【定量評価】

指標名	単位	上段：目標値 下段：実績値						
		令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
(活動)やまびこ園・教室、わくわく教室のびのび教室児童数	人	160.00	160.00	170.00	170.00	170.00	170.00	170.00
		158.00	153.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(活動)保護者援助活動学習会等の回数	回	60.00	60.00	60.00	60.00	60.00	60.00	60.00
		59.00	61.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果)年間延通園児数	人	16,400.00	16,600.00	16,600.00	16,600.00	16,600.00	16,600.00	16,600.00
		16,437.00	15,128.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果)保護者援助活動学習会の参加人数	人	1,900.00	1,950.00	1,950.00	1,950.00	1,950.00	1,950.00	1,950.00
		1,747.00	1,653.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

## 【定性評価】

評価項目	評価の観点	基準	評価
1 妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A 妥当である	A
		B ほぼ妥当である	
		C あまり妥当ではない	
		D 妥当ではない	
評価理由	乳幼児健診による早期発見から早期療育の実施へと連携している		
2 有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A 上がっている	A
		B やや上がっている	
		C あまり上がっていない	
		D 上がっていない	
評価理由	通園困難な重度障害がある子どもに対して支援の場を提供している		
3 効率性	事業手法は効率的であるか	A 効率的である	A
		B やや効率的である	
		C あまり効率的でない	
		D 効率的でない	
評価理由	医療的ケア児に対する看護師の配置など職員配置に努めている		
4 施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A 貢献している	A
		B やや貢献している	
		C あまり貢献していない	
		D 貢献していない	
評価理由	療育施設において、早期発見に続く早期対応を行っている		
評価理由			

## 【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	拡大
所属コメント (400文字)	障害のある子どもや発達上の支援を必要とする子どもが身近な地域で支援が受けられるよう、環境整備に努める。 また、関係機関等と連携し、家族支援・地域支援の充実をめざす。		

## 【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	拡大
部局コメント (400文字)	子どもの心身の健全な成長のため、障害のある子ども及びその家族に対する療育や相談を地域の中で総合的に進めるように努めていく。		

# 事務事業評価指標一覧

評価年度 令和 4年度 進捗区分 評価完了  
 所属 1428 福祉部やまびこ総合支援センター  
 総合計画 03 大津市総合計画 第2期実行計画  
 事務事業番号 02388 児童発達支援事業

上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
(活動)やまびこ園・教室、わくわく教室のびのび教室児童数	人	160.00 158.00	160.00 153.00	170.00 0.00	170.00 0.00	170.00 0.00	170.00 0.00	170.00 0.00
	指標説明	年度末における利用児童数（契約者数）						
(活動)保護者援助活動学習会等の回数	回	60.00 59.00	60.00 61.00	60.00 0.00	60.00 0.00	60.00 0.00	60.00 0.00	60.00 0.00
	指標説明	保護者援助活動として学習会やリフレッシュ講座の開催回数						
(成果)年間延通園児数	人	16,400.00 16,437.00	16,600.00 15,128.00	16,600.00 0.00	16,600.00 0.00	16,600.00 0.00	16,600.00 0.00	16,600.00 0.00
	指標説明	通園児の年間延人数						
(成果)保護者援助活動学習会の参加人数	人	1,900.00 1,747.00	1,950.00 1,653.00	1,950.00 0.00	1,950.00 0.00	1,950.00 0.00	1,950.00 0.00	1,950.00 0.00
	指標説明	保護者援助活動の学習会の参加人数						

# 事務事業評価シート（1/2）

196 頁  
令和 5年 9月 5日

整理番号 0066  
 評価年度 令和 4年度  
 所属 1428  
 事務事業番号 02389

進捗区分 評価完了  
 所属長名 遠藤 美菜子  
 記入者 辻 友紀子

福祉部やまびこ総合支援センター  
 障害福祉サービス事業運営事業

## 【基本情報】

総合計画	03	大津市総合計画 第2期実行計画				
基本方針	001	子どもから高齢者までが輝いて、魅力あふれるまちを創ります				
基本政策	002	心豊かに暮らせる、福祉が充実したまちにします				
施策	005	障害者の福祉の充実				
取組の方向性	002	障害福祉サービス等の充実				
事務事業	003	障害福祉サービス事業運営事業				
新規継続区分	継続					
運営方法	民間委託					
評価区分	対象	主な取組区分	対象			
根拠法令等	大津市立障害者通所施設条例					
事業概要	(事業概要) 市内在住の知的障害者の地域生活を支援するため、「生活支援センター」、生活介護事業所「さくらはうす」及び自立訓練等多機能型事業所「ひまわりはうす」の一体的な運営について、社会福祉法人びわこ学園に委託している。24時間365日体制のホームヘルプやナイトケアの実施など緊急時の対応をはじめ、医療・リハビリ・発達相談・支援計画の策定・事業所との調整等、多岐にわたる総合的な支援を行っている。					
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	(事業を取りまく社会環境) 今後、医療的ケアを必要とする方や強度行動障害を呈する方が増えるにもかかわらず、市内には受け入れるための資源が少ない。 (見直しや改善等の経過) 知的障害児者地域生活支援センターに求められる役割に関して、大津圏域における体制整備検討会からの提言書がまとめられた。					

## 【事業分析】

対象(何又は誰を)	障害のある方々、事業によっては主として知的障害のある方々が対象
目的(何のために)	障害者が安心して、住み慣れた地域において安心して生活していけるよう、福祉サービスの充実を図るために
手段(どのようなやり方で)	生活支援センターの相談支援事業、居宅介護支援事業、さくらはうすの生活介護事業、ひまわりはうすの多機能型事業の運営をびわこ学園に委託し
成果(どのような状態にするのか)	障害のある方々が各事業のサービス内容により、日常生活を快適に過ごし、生き生きと社会参加ができるようになる

## 【コスト】

(単位：千円)

	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
	決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト	377,611	418,360	369,215	368,776	369,893	368,642	368,642
事業費	359,811	402,298	353,153	352,714	353,831	352,580	352,580
国庫支出金	12,608	47,680	798	1,480	1,480	1,480	1,480
県支出金	460	2,162	562	997	997	997	997
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	182,430	171,293	181,501	179,601	179,601	179,601	179,601
一般財源	164,313	181,163	170,292	170,636	171,753	170,502	170,502
人件費計	17,800	16,062	16,062	16,062	16,062	16,062	16,062
事務・技術(人)	1.76	1.10	1.10	1.10	1.10	1.10	1.10
技能労務(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用(人)	0.00	0.66	0.66	0.66	0.66	0.66	0.66
会計年度任用(人)	1.20	1.20	1.20	1.20	1.20	1.20	1.20
嘱託(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

# 事務事業評価シート（2/2）

197 頁  
令和 5年 9月 5日

整理番号 0066  
 評価年度 令和 4年度 進捗区分 評価完了  
 所属 1428 福祉部やまびこ総合支援センター  
 事務事業番号 02389 障害福祉サービス事業運営事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-15-05-15-81-00-05-00	障害福祉サービス事業運営費	福祉部やまびこ総合支援センター

【定量評価】

指標名	単位	上段：目標値 下段：実績値						
		令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
(活動)「さくらハウス」「ひまわりハウス」の年度末契約者数	人	80.00	76.00	76.00	76.00	76.00	76.00	76.00
(成果)「さくらハウス」「ひまわりハウス」の利用率	%	71.00	69.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果)相談支援件数	件	65.00	65.00	65.00	65.00	65.00	65.00	65.00
		68.67	66.10	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		6,000.00	6,000.00	6,000.00	6,000.00	6,000.00	6,000.00	6,000.00
		6,518.00	6,443.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

【定性評価】

評価項目	評価の観点	基準	評価
1 妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A 妥当である	A
		B ほぼ妥当である	
		C あまり妥当ではない	
		D 妥当ではない	
		評価理由	
2 有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A 上がっている	A
		B やや上がっている	
		C あまり上がっていない	
		D 上がっていない	
		評価理由	
3 効率性	事業手法は効率的であるか	A 効率的である	A
		B やや効率的である	
		C あまり効率的でない	
		D 効率的でない	
		評価理由	
4 施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A 貢献している	A
		B やや貢献している	
		C あまり貢献していない	
		D 貢献していない	
		評価理由	
評価理由			

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	拡大
所属コメント (400文字)	障害のある方が安心して地域で生活していけるよう、日中及び地域支援の拠点となり、公の施設としての役割を果たしていく。		

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	拡大
部局コメント (400文字)	障害のある人の地域での生活を支援できる施設として、相談事業も含めた支援を行う。		

# 事務事業評価指標一覧

評価年度 令和 4年度 進捗区分 評価完了  
 所属 1428 福祉部やまびこ総合支援センター  
 総合計画 03 大津市総合計画 第2期実行計画  
 事務事業番号 02389 障害福祉サービス事業運営事業

上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
(活動)「さくらハウス」「ひまわりハウス」の年度末契約者数	人	80.00 71.00	76.00 69.00	76.00 0.00	76.00 0.00	76.00 0.00	76.00 0.00	76.00 0.00
	指標説明	年度末における契約者数						
(成果)「さくらハウス」「ひまわりハウス」の利用率	%	65.00 68.67	65.00 66.10	65.00 0.00	65.00 0.00	65.00 0.00	65.00 0.00	65.00 0.00
	指標説明	平均利用人数／契約者数						
(成果)相談支援件数	件	6,000.00 6,518.00	6,000.00 6,443.00	6,000.00 0.00	6,000.00 0.00	6,000.00 0.00	6,000.00 0.00	6,000.00 0.00
	指標説明	訪問・電話等による相談件数						

# 事務事業評価シート（1/2）

199 頁  
令和 5年 9月 5日

整理番号 0067  
 評価年度 令和 4年度  
 所属 1424  
 事務事業番号 02413

進捗区分 評価完了  
 福祉部生活福祉課  
 生活保護自立促進等事業

所属長名 山本 茂  
 記入者 橋本 知佳

【基本情報】

総合計画	03	大津市総合計画 第2期実行計画				
基本方針	001	子どもから高齢者までが輝いて、魅力あふれるまちを創ります				
基本政策	002	心豊かに暮らせる、福祉が充実したまちにします				
施策	006	安定した社会保障制度の運営				
取組の方向性	002	自立支援の推進				
事務事業	002	生活保護自立促進等事業				
新規継続区分	継続					
運営方法	民間委託					
評価区分	対象	主な取組区分	対象			

根拠法令等	自立支援プログラム実施要領				
事業概要	(事業概要) 生活保護世帯の自立を助長するため、自立支援プログラムを実施する。メニューとしては●就労支援事業●就労準備支援事業●長期入院患者退院促進支援事業●多重債務者等支援事業●薬物等依存症者回復プログラム●成年後見申立支援プログラム●単身世帯見守り事業●リバースモゲージ活用●居宅生活移行総合支援事業				
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	(事業を取りまく社会環境) 本市での生活保護の状況は、平成26年度から被保護世帯が減少傾向であったが、新型コロナウイルスの影響で令和2年度から微増となっている。今後も増加すると見込まれる。 (見直しや改善等の経過) 自立支援プログラムの7事業のうち就労支援事業については、ハローワークとの連携をより密にすることで被保護者の就労につなげる。多重債務者支援事業は、法テラスに相談しながら事務手続きを進めている。				

【事業分析】

対象(何又は誰を)	生活保護受給世帯に対して
目的(何のために)	大津市総合計画基本構想に示された「希望に満ちて、生き生きとくらすことのできるまちづくり」推進の一環として、被保護世帯の自立を助長する
手段(どのようなやり方で)	世帯の状況に応じた自立支援プログラム等を実施することにより
成果(どのような状態にするのか)	最低限度の生活の維持及び生活保護からの自立を支援して一人ひとりの市民が希望に満ちた生活を送れるようにする。

【コスト】 (単位：千円)

	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
	決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト	31,098	34,890	35,124	35,952	35,952	35,952	35,952
事業費	8,078	7,022	7,597	8,425	8,425	8,425	8,425
国庫支出金	5,524	5,482	5,423	6,045	6,045	6,045	6,045
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0
一般財源	2,554	1,540	2,174	2,380	2,380	2,380	2,380
人件費計	23,020	27,868	27,527	27,527	27,527	27,527	27,527
事務・技術(人)	0.32	0.60	0.60	0.60	0.60	0.60	0.60
技能労務(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度任用(人)	6.60	7.48	7.37	7.37	7.37	7.37	7.37
嘱託(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0



# 事務事業評価シート（2/2）

200 頁  
令和 5年 9月 5日

整理番号 0067  
 評価年度 令和 4年度 進捗区分 評価完了  
 所属 1424 福祉部生活福祉課  
 事務事業番号 02413 生活保護自立促進等事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-15-15-05-21-00-10-00	生活保護自立促進等事業費	福祉部生活福祉課

【定量評価】

指標名	単位	上段：目標値 下段：実績値						
		令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
(活動)自立支援プログラム支援者数	人	60.00	60.00	60.00	60.00	60.00	60.00	60.00
		39.00	45.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果)自立支援プログラム等による成果額（扶助費削減額）	千円	10,000.00	10,000.00	10,000.00	10,000.00	10,000.00	10,000.00	10,000.00
		4,938.00	5,930.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

【定性評価】

評価項目	評価の観点	基準	評価
1 妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A 妥当である	A
		B ほぼ妥当である	
		C あまり妥当ではない	
		D 妥当ではない	
評価理由	ハローワークとの一体的事業では目標を設定し支援している。		
2 有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A 上がっている	A
		B やや上がっている	
		C あまり上がっていない	
		D 上がっていない	
評価理由	支援員等が問題を一緒に解決することは、保護費削減効果に繋がる		
3 効率性	事業手法は効率的であるか	A 効率的である	A
		B やや効率的である	
		C あまり効率的でない	
		D 効率的でない	
評価理由	関係機関との情報交換等は、プログラム遂行に効果的である。		
4 施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A 貢献している	A
		B やや貢献している	
		C あまり貢献していない	
		D 貢献していない	
評価理由	受給者の自立は、生活の安心を支えるまちづくりに貢献できる。		
評価理由			

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
所属コメント (400文字)	自立支援プログラムを継続していくこととし、就労支援事業はハローワークとの一体的事業として、多重債務者等支援事業は、債務整理を必要とする方へ具体的な事務手続きを支援することで、いずれも自立につながることからより多くの方に参加してもらえるよう進める。単身世帯見守り事業は、今後も定期的な安否確認を実施していく。居宅生活移行総合支援事業については、住居がない方からの生活保護の申請も増加していることから、支援の強化が求められる。		

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
部局コメント (400文字)	当該事業は、それぞれ異なる状況にある保護受給者に対し、効果的な支援プログラムを提供することで一人ひとりの保護受給者が健康で文化的な生活を送れるよう支援するとともに、就労や資産活用等により、多くの保護受給者を自立させることにつながることから、今後も引き続いて実施していく。		

# 事務事業評価指標一覧

評価年度 令和 4年度 進捗区分 評価完了  
所属 1424 福祉部生活福祉課  
総合計画 03 大津市総合計画 第2期実行計画  
事務事業番号 02413 生活保護自立促進等事業

上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
(活動)自立支援プログラム支援者数	人	60.00 39.00	60.00 45.00	60.00 0.00	60.00 0.00	60.00 0.00	60.00 0.00	60.00 0.00
	指標説明	令和2年度から就労支援事業及び就労準備支援事業の支援者数						
(成果)自立支援プログラム等による成果額（扶助費削減額）	千円	10,000.00 4,938.00	10,000.00 5,930.00	10,000.00 0.00	10,000.00 0.00	10,000.00 0.00	10,000.00 0.00	10,000.00 0.00
	指標説明	令和2年度から就労支援事業及び就労準備支援事業による効果額（扶助費削減額）						

# 事務事業評価シート（1/2）

202 頁  
令和 5年 9月 5日

整理番号 0068  
 評価年度 令和 4年度  
 所属 1424  
 事務事業番号 02594

進捗区分 評価完了  
 福祉部生活福祉課  
 生活困窮者自立促進事業費

所属長名 山本 茂  
 記入者 橋本 知佳

## 【基本情報】

総合計画	03	大津市総合計画 第2期実行計画				
基本方針	001	子どもから高齢者までが輝いて、魅力あふれるまちを創ります				
基本政策	002	心豊かに暮らせる、福祉が充実したまちにします				
施策	006	安定した社会保障制度の運営				
取組の方向性	002	自立支援の推進				
事務事業	017	生活困窮者自立促進事業費				
新規継続区分	継続					
運営方法	民間委託					
評価区分	対象	主な取組区分	対象			
根拠法令等	生活困窮者自立支援法					
事業概要	(事業概要) 生活保護に陥るおそれのある生活困窮者に対する支援として、平成27年度から生活困窮者自立支援法のもとに開始された。当課が実施している支援メニューは、必須事業の●住居確保給付金事業、任意事業の●一時生活支援事業●学習支援事業（中3学習会）を実施している。					
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	(事業を取りまく社会環境) 学習支援事業は、貧困の連鎖を断ち切る観点からも注目されている。一時生活支援事業のシェルター5部屋は稼働率が高く利用が困難であり救護施設で対応することも多い。住居確保給付金の申請は、やや減少したものの新型コロナウイルス流行以前と比較すると高止まりしている。 (見直しや改善等の経過) 学習支援事業の中3学習会は、浜大津教室、瀬田教室、堅田教室を開設し、支援を継続している。一時生活支援事業のシェルターについても、依然として即時に利用は困難であり救護施設と併用して支援を行っている。					

## 【事業分析】

対象(何又は誰を)	離職等により住居を失うおそれのある方や住居を失った方及び生活保護受給世帯やひとり親世帯の子どもで学習支援を必要としている人に対して
目的(何のために)	生活に困窮している人や生活保護を受給している人も含め、すべての市民が希望に満ちて生き生きと暮らすことのできるまちづくりを推進する
手段(どのようなやり方で)	住居を失うおそれのある方に対する家賃補助、NPO法人へ委託した住居喪失者への衣食住の提供、就労支援及び委託事業で学習支援を必要としている子どもたちへの中3学習会を開催することにより
成果(どのような状態にするのか)	生活に困窮している人が求職・増収活動に集中できる環境を整えるとともに、生活基盤が弱い傾向にある子どもたちへの学習支援により、進学率を高め、将来に夢と希望が持てるようにする

## 【コスト】

(単位：千円)

	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
	決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト	92,030	63,058	58,294	58,294	55,554	55,554	53,088
事業費	79,286	49,102	45,274	45,274	42,534	42,534	40,068
国庫支出金	49,324	34,315	32,459	32,459	28,350	28,350	25,062
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0
一般財源	29,962	14,787	12,815	12,815	14,184	14,184	15,006
人件費計	12,744	13,956	13,020	13,020	13,020	13,020	13,020
事務・技術(人)	0.57	0.74	0.62	0.62	0.62	0.62	0.62
技能労務(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度任用(人)	2.64	2.64	2.64	2.64	2.64	2.64	2.64
嘱託(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

# 事務事業評価シート（2/2）

203 頁  
令和 5年 9月 5日

整理番号 0068  
 評価年度 令和 4年度 進捗区分 評価完了  
 所属 1424 福祉部生活福祉課  
 事務事業番号 02594 生活困窮者自立促進事業費

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-15-15-05-21-00-20-00	生活困窮者自立促進事業費	福祉部生活福祉課

【定量評価】

指標名	単位	上段：目標値 下段：実績値						
		令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
(活動) 学習支援事業利 用人数	人	45.00	45.00	45.00	45.00	45.00	45.00	45.00
		32.00	45.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(活動) 住居確保給付金 事業利用人数	人	200.00	160.00	160.00	140.00	140.00	120.00	120.00
		164.00	136.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果) 高校進学者数	人	45.00	45.00	45.00	45.00	45.00	45.00	45.00
		32.00	45.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果) 住居確保給付金 支給額	千円	27,526.00	30,178.00	34,000.00	27,200.00	27,200.00	21,760.00	21,760.00
		34,055.00	21,372.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

【定性評価】

評価項目	評価の観点	基準	評価
1 妥当性	実施主体又は手段は妥 当か	A 妥当である	A
		B ほぼ妥当である	
		C あまり妥当ではない	
		D 妥当ではない	
評価理由	各事業は妥当な手段、方法で実施している。		
2 有効性	事業分析の「成果」欄 に記載の成果は上がっ ているか	A 上がっている	A
		B やや上がっている	
		C あまり上がっていない	
		D 上がっていない	
評価理由	生活の安定に繋がる成果が出ている。		
3 効率性	事業手法は効率的であ るか	A 効率的である	A
		B やや効率的である	
		C あまり効率的でない	
		D 効率的でない	
評価理由	ボランティアや民間企業を効率的に活用している。		
4 施策への貢献度	施策目標の達成に貢献 しているか	A 貢献している	A
		B やや貢献している	
		C あまり貢献していない	
		D 貢献していない	
評価理由	生活困窮者が更なる生活困窮に陥らないよう支援している。		
評価理由			

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
所属コメント (400文字)	住居確保給付事業や一時生活支援事業は、住宅確保や衣食住の提供に留まらず、就労支援を行う形で自立を支援する。学習支援事業は、経済的に困窮している家庭の中学3年生の学習支援を行い、高校への進学を果たすことで貧困の連鎖を防止する。今後は庁内の関係部局及び関係機関とも一層の連携を図り、生活困窮者への総合的な支援を目標とする。 現状として国による新型コロナ対策支援の終了や原油や物価高騰等の影響もあり、今後、生活困窮者からの相談・申請件数が増加することが懸念される。		

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
部局コメント (400文字)	子どもの貧困問題の要因の一つに子どもの教育環境の格差があり、貧困の連鎖を断ち切るために「中3学習会」の意義はとても大きい。そして、住居確保給付金や一時生活支援事業があることにより、離職した人が求職活動に集中すること、早期の自立につながる事が期待できるため、今後もこれらの取り組みを継続していく。また、国による新型コロナ支援策の終了や原油や物価高騰等の影響から、生活困窮者からの相談も依然として多いため、今後の動向についても留意し、対応していく。		

# 事務事業評価指標一覧

評価年度 令和 4年度 進捗区分 評価完了  
 所属 1424 福祉部生活福祉課  
 総合計画 03 大津市総合計画 第2期実行計画  
 事務事業番号 02594 生活困窮者自立促進事業費

上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
(活動) 学習支援事業利用人数	人	45.00 32.00	45.00 45.00	45.00 0.00	45.00 0.00	45.00 0.00	45.00 0.00	45.00 0.00
	指標説明	令和3年度から学習支援事業利用人数						
(活動) 住居確保給付金事業利用人数	人	200.00 164.00	160.00 136.00	160.00 0.00	140.00 0.00	140.00 0.00	120.00 0.00	120.00 0.00
	指標説明	住宅を喪失する恐れのある者に対する家賃補助人数						
(成果) 高校進学者数	人	45.00 32.00	45.00 45.00	45.00 0.00	45.00 0.00	45.00 0.00	45.00 0.00	45.00 0.00
	指標説明	令和2年度から高校進学者数						
(成果) 住居確保給付金支給額	千円	27,526.00 34,055.00	30,178.00 21,372.00	34,000.00 0.00	27,200.00 0.00	27,200.00 0.00	21,760.00 0.00	21,760.00 0.00
	指標説明	住宅喪失の怖れのある者に対して支給した住居確保給付金額						

# 事務事業評価シート（1/2）

整理番号 0069  
 評価年度 令和 4年度  
 所属 1488  
 事務事業番号 00014

進捗区分 所属評価  
 福祉部子ども未来局子ども・若者政策課  
 児童館運営事業

所属長名 東 弘典  
 記入者 徳永 幸代

【基本情報】

総合計画	03	大津市総合計画 第2期実行計画				
基本方針	001	子どもから高齢者までが輝いて、魅力あふれるまちを創ります				
基本政策	001	子どもの未来が輝くまちにします				
施策	001	子ども・子育て支援の充実				
取組の方向性	001	出産前からの切れ目のない支援				
事務事業	004	児童館運営事業				
新規継続区分	継続					
運営方法	直営					
評価区分	対象	主な取組区分	対象外			

根拠法令等	児童福祉法				
事業概要	(事業概要) 7児童館が、児童館運営基本方針及び活動基本指針に基づき、より広域的に多くの児童が利用できる魅力ある児童館づくりを積極的に推進し、あわせて地域における子どもの健全育成や子育て機能の充実を図っていく。				
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	(事業を取りまく社会環境) 急速な少子化の進行に伴う少子高齢化や、女性の就業率の上昇、共働き世帯の割合の増加等、子育て家庭を取り巻く環境も大きく変化している。核家族化や地域におけるつながりの希薄化等により、子育てに関する負担や不安、孤独感が高まっている。また、子どもが地域で幅広い年代の人々と関わり、様々な体験をする機会が減少している。さらには、貧困世帯の問題や児童虐待相談件数の増加等、子どもを取り巻く環境は厳しい現状にある。(見直しや改善等の経過) 厚労省の「令和4年度児童館における健全育成活動等開発事業」の採択を受け、児童館において「中・高生世代の活動」等4つのテーマで小学生キッズボランティア活動や高校生主体の事業開催等のモデル事業を実施した。				

【事業分析】

対象(何又は誰を)	0歳～18歳未満の子どもや、子育て中の保護者を対象に
目的(何のために)	地域における遊び及び生活の援助と子育て支援を行い、子どもの心身を育成し情操をゆたかにすることを目的として
手段(どのようなやり方で)	長期的・継続的にかかわり、遊び及び生活を通して子どもの発達の増進を図り、遊びの拠点と「居場所」場の提供、家庭や地域に対する子育て支援活動を実施し、
成果(どのような状態にするのか)	子育て中の保護者の負担を軽減し、親子がいきいきと生活できたり、小中学生が友だちの中で自分を発揮し、地域やいろいろな世代の方とのつながりを深めたりする。

【コスト】 (単位：千円)

	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
	決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト	144,730	136,799	149,411	147,542	159,915	293,027	280,080
事業費	17,460	20,600	25,071	23,202	35,575	168,687	155,740
国庫支出金	4,549	3,607	5,008	0	0	0	2,056
県支出金	39	335	209	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	96	113	435	135	135	50,135	50,135
一般財源	12,776	16,545	19,419	23,067	35,440	118,552	103,549
人件費計	127,270	116,199	124,340	124,340	124,340	124,340	124,340
事務・技術(人)	4.10	2.33	2.40	2.40	2.40	2.40	2.40
技能労務(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用(人)	3.30	3.90	3.90	3.90	3.90	3.90	3.90
会計年度任用(人)	24.30	24.45	26.90	26.90	26.90	26.90	26.90
嘱託(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

# 事務事業評価シート（2/2）

206 頁  
令和 5年 9月 5日

整理番号 0069  
 評価年度 令和 4年度 進捗区分 所属評価  
 所属 1488 福祉部子ども未来局子ども・若者政策課  
 事務事業番号 00014 児童館運営事業

## 【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-15-10-50-05-00-01-00	児童館運営費	福祉部子ども未来局子ども・若者政策課

## 【定量評価】

指標名	単位	上段：目標値 下段：実績値						
		令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
(活動)親子ふれあい活動事業数	回	650.00	650.00	650.00	650.00	650.00	650.00	650.00
		520.00	499.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(活動)小中学生以上活動事業数	回	400.00	400.00	400.00	400.00	400.00	400.00	400.00
		285.00	273.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果)児童館親子ふれあい活動参加者数	人	25,000.00	38,500.00	38,500.00	38,500.00	38,500.00	38,500.00	38,500.00
		9,777.00	9,609.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果)親子ふれあい活動について満足度80%以上の人数割合	%	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00
		100.00	100.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

## 【定性評価】

評価項目	評価の観点	基準	評価
1 妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A 妥当である	A
		B ほぼ妥当である	
評価理由	直営で情報共有、連携しながら事業実施していることは妥当	C あまり妥当ではない	
		D 妥当ではない	
2 有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A 上がっている	B
		B やや上がっている	
評価理由	事業参加者の満足度が高く、事業の成果はあがっている	C あまり上がっていない	
		D 上がっていない	
3 効率性	事業手法は効率的であるか	A 効率的である	B
		B やや効率的である	
評価理由	年代別に各児童館の特性を活かした事業を実施しており効率的	C あまり効率的でない	
		D 効率的でない	
4 施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A 貢献している	A
		B やや貢献している	
評価理由	子育て支援、子どもの遊び場、居場所として施策に貢献している	C あまり貢献していない	
		D 貢献していない	
評価理由			

## 【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	拡大
所属コメント (400文字)	未就学児及びその保護者に対して、子育て総合支援センターと連携して地域子育て支援拠点（つどいの広場）事業を実施し、母子保健分野での関係機関との連携強化により活動内容の充実を図っている。小学生以上に対し、児童館の拠点性、多機能性、地域性を活かし、子どもの居場所としての機能を充実させるとともに教育委員会との連携強化を進めていく。 令和4年度は前年度に引き続き、開館時間や利用人数の制限などを行いながら事業運営を行った。参加の傾向などを踏まえ、事業開催の見直しを行った児童館もあり、評価指標にあげた活動事業数については減少しているが、児童館の年間来館者数としては前年度に比べ増加している。		

## 【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	拡大
部局コメント (400文字)	地域の子育て支援の拠点としての機能に加え、児童館の特性を活かした機能の充実に努めていく。		

# 事務事業評価指標一覧

評価年度 令和 4年度 進捗区分 所属評価  
 所属 1488 福祉部子ども未来局子ども・若者政策課  
 総合計画 03 大津市総合計画 第2期実行計画  
 事務事業番号 00014 児童館運営事業

上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
(活動)親子ふれあい活動事業数	回	650.00	650.00	650.00	650.00	650.00	650.00	650.00
	指標説明	7 児童館の親子ふれあい活動事業数 (就学前の親子対象とした活動)						
(活動)小中学生以上活動事業数	回	400.00	400.00	400.00	400.00	400.00	400.00	400.00
	指標説明	7 児童館の小中学生以上活動事業数						
(成果)児童館親子ふれあい活動参加者数	人	25,000.00	38,500.00	38,500.00	38,500.00	38,500.00	38,500.00	38,500.00
	指標説明	7 児童館の親子ふれあい活動参加者の合計数						
(成果)親子ふれあい活動について満足度80%以上の人数割合	%	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00
	指標説明	7 児童館の親子ふれあい活動 (3歳児登録制) 参加者の満足度指数						



# 事務事業評価シート（1/2）

208 頁  
令和 5年 9月 5日

整理番号 0070  
 評価年度 令和 4年度  
 所属 1488  
 事務事業番号 00044

進捗区分 所属評価  
 福祉部子ども未来局子ども・若者政策課  
 ファミリーサポートセンター運営事業

所属長名 東 弘典  
 記入者 森 勇人

## 【基本情報】

総合計画	03	大津市総合計画 第2期実行計画				
基本方針	001	子どもから高齢者までが輝いて、魅力あふれるまちを創ります				
基本政策	001	子どもの未来が輝くまちにします				
施策	001	子ども・子育て支援の充実				
取組の方向性	001	出産前からの切れ目のない支援				
事務事業	006	ファミリーサポートセンター運営事業				
新規継続区分	継続					
運営方法	民間委託					
評価区分	対象	主な取組区分	対象外			

根拠法令等	児童福祉法、子ども・子育て支援法、子育て援助活動支援事業実施要綱					
事業概要	(事業概要) 仕事と育児を両立できる環境を整備するとともに、地域の子育て支援を行うため、平成13年4月に「ファミリーサポートセンター」を設立し、同年7月から会員による相互援助活動を行っている。 事業の管理運営については、社会福祉法人大津市社会福祉協議会に委託している。					
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	(事業を取りまく社会環境) 新型コロナウイルス感染症の影響はあるものの、核家族化の進行、保護者の働き方の多様化などにより、子育ての負担感から子どもの見守り事業へのニーズは増加傾向にある。 (これまでの見直し) 依頼会員が安心して利用できるよう、国が示す基準に基づいて安全講習の実施を強化している。また、援助会員を増やすために、地域での関係機関の会議での担い手への声掛けや、会員同士の誘い合いを促す取組に努めている。					

## 【事業分析】

対象(何又は誰を)	育児の援助を行いたい者と受けたい者が、ファミリーサポートセンターで会員登録し、
目的(何のために)	仕事と育児を両立できる環境を整備するとともに、地域の子育て支援を行うために、
手段(どのようなやり方で)	ファミリーサポートセンターのアドバイザーが会員間のニーズのあった調整を行い、援助活動を実施し、
成果(どのような状態にするのか)	仕事と育児の両立支援、地域の子育て支援を行う。

## 【コスト】

(単位：千円)

	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
	決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト	15,516	15,548	17,108	17,108	17,108	17,108	17,108
事業費	14,316	14,378	14,378	14,378	14,378	14,378	14,378
国庫支出金	4,772	4,792	4,792	4,792	4,792	4,792	4,792
県支出金	4,772	4,792	4,792	4,792	4,792	4,792	4,792
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0
一般財源	4,772	4,794	4,794	4,794	4,794	4,794	4,794
人件費計	1,200	1,170	2,730	2,730	2,730	2,730	2,730
事務・技術(人)	0.15	0.15	0.35	0.35	0.35	0.35	0.35
技能労務(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度任用(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
嘱託(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

# 事務事業評価シート（2/2）

整理番号 0070  
 評価年度 令和 4年度 進捗区分 所属評価  
 所属 1488 福祉部子ども未来局子ども・若者政策課  
 事務事業番号 00044 ファミリーサポートセンター運営事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-15-10-05-28-00-25-00	ファミリーサポートセンター運営事業費	福祉部子ども未来局子ども・若者政策課

【定量評価】

指標名	単位	上段：目標値 下段：実績値						
		令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
(活動)センター会員数 (新規)	人	200.00	200.00	200.00	200.00	200.00	200.00	200.00
		130.00	167.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(活動)説明会、講習会 等の参加人数	人	400.00	400.00	400.00	400.00	400.00	400.00	400.00
		108.00	85.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果)センター活動件 数	件	5,330.00	5,435.00	5,539.00	5,644.00	5,600.00	5,600.00	5,600.00
		3,770.00	2,376.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

【定性評価】

評価項目	評価の観点	基準	評価
1 妥当性	実施主体又は手段は妥 当か	A 妥当である	A
		B ほぼ妥当である	
		C あまり妥当ではない	
		D 妥当ではない	
評価理由	市全域に子育て支援ネットワークを作る仕組みであるため。		
2 有効性	事業分析の「成果」欄 に記載の成果は上がっ ているか	A 上がっている	C
		B やや上がっている	
		C あまり上がっていない	
		D 上がっていない	
評価理由	活動件数は減少しているが、特定の利用者の支援ニーズは大きい。		
3 効率性	事業手法は効率的であ るか	A 効率的である	A
		B やや効率的である	
		C あまり効率的でない	
		D 効率的でない	
評価理由	委託相手方が市全域に子育て支援のネットワークを有している。		
4 施策への貢献度	施策目標の達成に貢献 しているか	A 貢献している	A
		B やや貢献している	
		C あまり貢献していない	
		D 貢献していない	
評価理由	地域の力により切れ目のない子育て支援の一部を担っている。		
評価理由			

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
所属コメント (400文字)	令和4年度の件数減少の理由としては、年間を通して利用回数が多い世帯が、子どもの成長に伴い利用がなくなったなど個別事業によるところが大きい、引き続き、利用を求める方がそれぞれのニーズに合わせて制度を活用できるよう、特に、依頼も援助も行うことのできる「両方会員」での加入を促進し、将来的に持続可能な組織体制の構築を目指す。		

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
部局コメント (400文字)	引き続き事業の周知に努め、相互扶助による子育て支援の充実に努めていく。		



# 事務事業評価シート（1/2）

整理番号 0071  
評価年度 令和 4年度  
所属 1488  
事務事業番号 00871

進捗区分 所属評価  
福祉部子ども未来局子ども・若者政策課  
青少年健全育成事業

所属長名 東 弘典  
記入者 宿谷 真穂

【基本情報】

総合計画	03	大津市総合計画 第2期実行計画				
基本方針	001	子どもから高齢者までが輝いて、魅力あふれるまちを創ります				
基本政策	003	生き生きと健康に過ごせるまちにします				
施策	010	青少年の健全育成				
取組の方向性	001	子ども・若者の健やかな育成				
事務事業	001	青少年健全育成事業				
新規継続区分	継続					
運営方法	その他					
評価区分	対象	主な取組区分	対象			

根拠法令等	地方青少年問題協議会法				
事業概要	<p>(事業概要) 次代を担う青少年を健全に育成するため、本市における青少年健全育成施策を推進する。また、関係団体・機関等と連携を図りながら、家庭・地域・学校が一体となった市民運動として事業を展開し、青少年の健全育成に対する意識高揚を図る。(1) 青少年健全育成に係る各種啓発活動 (2) 青少年育成市民会議活動への支援 (3) 中学生広場の開催</p>				
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	<p>(事業を取りまく社会環境) 少子高齢化や情報化の急速な進展、生活様式の変化など、青少年を取り巻く環境は大きく変化しており、SNSの利用の仕方など問題が多く存在する。また、新型コロナウイルス感染症の対策が将来にわたり子ども・若者に与える影響を注視する必要がある。</p>				

【事業分析】	
対象(何又は誰を)	市民及び青少年関係団体を対象に
目的(何のために)	次代を担う青少年の健全育成を行うために
手段(どのようなやり方で)	青少年育成学区市民会議等と連携して事業を展開し
成果(どのような状態にするのか)	青少年の健全育成に対する市民意識の高揚を図るとともに、青少年が健やかに成長できる社会環境の整備を図る

【コスト】 (単位：千円)

	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
	決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト	16,814	16,431	17,110	17,399	17,110	17,110	17,110
事業費	7,246	7,288	7,578	7,867	7,578	7,578	7,578
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	500	488	438	390	438	438	438
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0
一般財源	6,746	6,800	7,140	7,477	7,140	7,140	7,140
人件費計	9,568	9,143	9,532	9,532	9,532	9,532	9,532
事務・技術(人)	0.70	0.58	0.61	0.61	0.61	0.61	0.61
技能労務(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度任用(人)	1.28	1.49	1.54	1.54	1.54	1.54	1.54
嘱託(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

# 事務事業評価シート（2/2）

212 頁  
令和 5年 9月 5日

整理番号 0071  
 評価年度 令和 4年度 進捗区分 所属評価  
 所属 1488 福祉部子ども未来局子ども・若者政策課  
 事務事業番号 00871 青少年健全育成事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-15-05-05-40-00-01-00	青少年健全育成事業費	福祉部子ども未来局子ども・若者政策課

【定量評価】

指標名	単位	上段：目標値 下段：実績値						
		令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
(活動) 啓発活動の回数	回	1,200.00	1,200.00	1,200.00	1,200.00	1,200.00	1,200.00	1,200.00
		1,090.00	1,137.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果) 青少年育成学区 民会議活動への参加者 数	人	40,000.00	50,000.00	61,000.00	61,000.00	61,000.00	61,000.00	61,000.00
		34,712.00	52,154.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果) 大津っ子まつり	人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

【定性評価】

評価項目	評価の観点	基準	評価
1 妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A 妥当である	A
		B ほぼ妥当である	
		C あまり妥当ではない	
		D 妥当ではない	
評価理由	市と関係団体が協力して事業を実施する体制は妥当である		
2 有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A 上がっている	A
		B やや上がっている	
		C あまり上がっていない	
		D 上がっていない	
評価理由	制約のある中で活動を継続し、成果をあげている		
3 効率性	事業手法は効率的であるか	A 効率的である	B
		B やや効率的である	
		C あまり効率的でない	
		D 効率的でない	
評価理由	市と市民団体がそれぞれに分担し、効率的に事業に取り組んでいる		
4 施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A 貢献している	A
		B やや貢献している	
		C あまり貢献していない	
		D 貢献していない	
評価理由	市民団体と市が協働で、市内全域で取り組んでいる		
評価理由			

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
所属コメント (400文字)	地域の子どもを地域で守り育てるため、青少年の健やかな成長と自立に向けた取組みを継続していく。地域との連携についても、工夫しながら進め、困難を抱えた子ども・若者についての支援についても理解を求めていく。評価指標については、啓発活動回数、活動への参加者数共に前年度に比べ増加することができた。		

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
部局コメント (400文字)	引き続き地域の関係団体等と協力して社会全体で子ども・若者支援に取り組んでいく。		



# 事務事業評価シート（1/2）

整理番号 0072  
評価年度 令和 4年度  
所属 1488  
事務事業番号 02265

進捗区分 所属評価  
福祉部子ども未来局子ども・若者政策課  
子ども・若者育成支援推進事業

所属長名 東 弘典  
記入者 宿谷 真穂

【基本情報】

総合計画	03	大津市総合計画 第2期実行計画				
基本方針	001	子どもから高齢者までが輝いて、魅力あふれるまちを創ります				
基本政策	003	生き生きと健康に過ごせるまちにします				
施策	010	青少年の健全育成				
取組の方向性	001	子ども・若者の健やかな育成				
事務事業	003	子ども・若者育成支援推進事業				
新規継続区分	継続					
運営方法	民間委託					
評価区分	対象	主な取組区分	対象			
根拠法令等	子ども・若者育成支援推進法、子供・若者育成支援推進大綱					
事業概要	<p>(事業概要)</p> <p>子ども・若者総合相談窓口と子ども・若者支援地域協議会を設置し、社会生活を営む上で困難を有する子ども・若者を支援する体制をつくる。子ども・若者支援地域協議会において、意見交換会、研修会、グループワーク、講演会を実施し、支援機関のスキルアップと連携を図る。</p>					
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	<p>(事業を取りまく社会環境)</p> <p>深刻化している少子高齢化や就業形態の多様化、情報社会の進展による有害情報の拡散、貧困問題、不登校、若年無業者、引きこもりの長期化等の問題が顕在化している。新型コロナウイルス感染症の対応が、将来にわたり子ども・若者にどのような影響を与えるのか注視する必要がある。</p> <p>(見直しや改善等の経過)</p> <p>平成29年10月に子ども・若者総合相談窓口と支援地域協議会を設置。令和3年度には窓口の人員を週14時間増員し、体制の充実を図った。</p>					

【事業分析】

対象(何又は誰を)	ニート、ひきこもり等、社会生活を円滑に営む上での困難を有する子ども・若者を対象に
目的(何のために)	次代を担う子ども・若者を支援するために
手段(どのようなやり方で)	子ども・若者支援地域協議会の各関係機関と意見交換と連携を深め
成果(どのような状態にするのか)	全ての子ども・若者が将来に希望を持ち、社会的に自立することができる環境を整備する。

【コスト】

(単位：千円)

	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
	決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト	11,532	13,198	12,873	13,964	13,964	13,964	13,964
事業費	8,512	8,600	9,211	10,302	10,302	10,302	10,302
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0
一般財源	8,512	8,600	9,211	10,302	10,302	10,302	10,302
人件費計	3,020	4,598	3,662	3,662	3,662	3,662	3,662
事務・技術(人)	0.30	0.51	0.39	0.39	0.39	0.39	0.39
技能労務(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度任用(人)	0.20	0.20	0.20	0.20	0.20	0.20	0.20
嘱託(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

# 事務事業評価シート（2/2）

215 頁  
令和 5年 9月 5日

整理番号 0072  
 評価年度 令和 4年度 進捗区分 所属評価  
 所属 1488 福祉部子ども未来局子ども・若者政策課  
 事務事業番号 02265 子ども・若者育成支援推進事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-15-05-05-40-00-11-00	子ども・若者育成支援推進事業費	福祉部子ども未来局子ども・若者政策課

【定量評価】

指標名	単位	上段：目標値 下段：実績値						
		令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
(活動)大津市子ども・若者支援地域協議会開催回数	回	5.00	5.00	5.00	5.00	5.00	5.00	5.00
(活動)大津市子ども・若者総合相談窓口への相談件数	件	1,300.00	1,300.00	1,300.00	1,300.00	2,000.00	2,000.00	2,000.00
(成果)大津市子ども・若者支援地域協議会出席率	%	70.00	80.00	80.00	80.00	80.00	80.00	80.00
		55.00	56.70	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

【定性評価】

評価項目	評価の観点	基準	評価
1 妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A 妥当である	A
		B ほぼ妥当である	
		C あまり妥当ではない	
		D 妥当ではない	
評価理由	相談窓口の設置、団体連携の体制促進により目標達成が図れ妥当		
2 有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A 上がっている	B
		B やや上がっている	
		C あまり上がっていない	
		D 上がっていない	
評価理由	相談件数は微減だが、成果目標は達成している		
3 効率性	事業手法は効率的であるか	A 効率的である	A
		B やや効率的である	
		C あまり効率的でない	
		D 効率的でない	
評価理由	相談窓口の民間委託で専門的スキルが活用され効率的である		
4 施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A 貢献している	A
		B やや貢献している	
		C あまり貢献していない	
		D 貢献していない	
評価理由	困難を有する子ども若者支援体制を充実させ、施策に貢献している		
評価理由			

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	拡大
所属コメント (400文字)	子ども・若者総合相談窓口を含む支援地域協議会の各機関が円滑に連携し、当事者及び家族の支援や相談員のスキルアップのため協議と知見習得を深め、子どもや若者が将来に希望を持ち、社会的に自立することができる環境整備に努める。また、令和5年度からは総合相談窓口において、地域や団体等と連携し、段階的な体験事業や当事者交流にも取り組み、相談者の社会参加を目指す。評価指標については、相談窓口での相談件数はほぼ横ばい、支援地域協議会については、出席率が目標に大きく下回った。参加促進のため、協議テーマなどを工夫していく。		

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	拡大
部局コメント (400文字)	子ども・若者総合相談窓口と支援地域協議会の各機関の連携をさらに深め、困難を抱える子ども・若者の社会参加に取組んでいく。		



# 事務事業評価指標一覧

評価年度 令和 4年度 進捗区分 所属評価  
 所属 1488 福祉部子ども未来局子ども・若者政策課  
 総合計画 03 大津市総合計画 第2期実行計画  
 事務事業番号 02265 子ども・若者育成支援推進事業

上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
(活動)大津市子ども・若者支援地域協議会開催回数	回	5.00 1.00	5.00 4.00	5.00 0.00	5.00 0.00	5.00 0.00	5.00 0.00	5.00 0.00
	指標説明	令和2年度より代表者・実務者会議のみをカウントすることに変更						
(活動)大津市子ども・若者総合相談窓口への相談件数	件	1,300.00 2,009.00	1,300.00 1,984.00	1,300.00 0.00	1,300.00 0.00	2,000.00 0.00	2,000.00 0.00	2,000.00 0.00
	指標説明	平成29年10月1日開設						
(成果)大津市子ども・若者支援地域協議会出席率	%	70.00 55.00	80.00 56.70	80.00 0.00	80.00 0.00	80.00 0.00	80.00 0.00	80.00 0.00
	指標説明	代表者・実務者会議への出席率						

# 事務事業評価シート（1/2）

217 頁  
令和 5年 9月 5日

整理番号 0073  
 評価年度 令和 4年度  
 所属 1488  
 事務事業番号 02414

進捗区分 所属評価  
 福祉部子ども未来局子ども・若者政策課  
 子ども・子育て支援事業費（子ども・若者政策課）

所属長名 東 弘典  
 記入者 森 勇人

【基本情報】

総合計画	03	大津市総合計画 第2期実行計画				
基本方針	001	子どもから高齢者までが輝いて、魅力あふれるまちを創ります				
基本政策	001	子どもの未来が輝くまちにします				
施策	001	子ども・子育て支援の充実				
取組の方向性	001	出産前からの切れ目のない支援				
事務事業	001	子ども・子育て支援事業費（子ども・若者政策課）				
新規継続区分	継続					
運営方法	直営					
評価区分	対象	主な取組区分	対象外			

根拠法令等	社会福祉法、次世代育成支援対策推進法、子ども・子育て支援法、子ども・若者育成支援推進法				
事業概要	(事業概要) 「第2次大津市次世代育成支援行動計画」は、令和2年3月に統合され、新たに「大津市子ども・若者支援計画」が策定された。今後は、統合後の計画における各施策の進捗管理を行い、分析・評価しながら、取組や事業内容の改善を提言し、計画を推進していく。 なお、定量評価及び定数評価については、評価時点において確定している同計画の進捗状況評価及び評価指標の数値等に基づき評価を実施している。（今回は令和3年度の実績値に基づき評価を実施。）				
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	(事業を取りまく社会環境) 少子化や核家族化の進行、地域の繋がりの希薄化等を背景にした孤立化や新たな待機児童の発生、仕事と子育ての両立の困難さなどにより、子育て世帯にとって不安や負担感が増大している。加えて、子どもの貧困や児童虐待の増加等、子ども・若者を取り巻く環境は厳しい現状である。 (これまでの見直し) 子どもが生まれる前から自立するまでを切れ目なく支え、「子ども・若者の最善の利益」が実現できる社会を目指すため、前計画を含む子ども・若者関連の3つの計画を統合し、本計画を策定した。				

【事業分析】

対象(何又は誰を)	子ども・若者支援事業を、
目的(何のために)	子どもが生まれる前から自立するまでを切れ目なく支えるため、
手段(どのようなやり方で)	推進・強化し、
成果(どのような状態にするのか)	子ども・若者の最善の利益が実現できる社会を目指す。

【コスト】 (単位：千円)

	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
	決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト	7,768	40,535	29,869	30,112	27,688	31,688	27,925
事業費	348	27,899	17,819	18,218	10,802	14,802	11,039
国庫支出金	0	13,584	5,492	7,650	3,950	3,950	3,950
県支出金	0	333	800	800	800	800	800
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	200	0	0	0	0
一般財源	348	13,982	11,327	9,768	6,052	10,052	6,289
人件費計	7,420	12,636	12,050	11,894	16,886	16,886	16,886
事務・技術(人)	0.85	1.62	1.37	1.35	1.99	1.99	1.99
技能労務(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度任用(人)	0.20	0.00	0.44	0.44	0.44	0.44	0.44
嘱託(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

# 事務事業評価シート（2/2）

整理番号 0073  
 評価年度 令和 4年度 進捗区分 所属評価  
 所属 1488 福祉子ども未来局子ども・若者政策課  
 事務事業番号 02414 子ども・子育て支援事業費（子ども・若者政策課）

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-15-10-05-28-00-05-00	子ども・子育て支援事業費（子ども・若者政策課）	福祉子ども未来局子ども・若者政策課

【定量評価】

指標名	単位	上段：目標値 下段：実績値						
		令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
(活動) 推進した事業割合	%	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00
		96.24	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果) 評価指標事業の達成度	%	80.00	90.00	95.00	100.00	100.00	100.00	100.00
		88.90	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

【定性評価】

評価項目	評価の観点	基準	評価
1 妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A 妥当である	A
		B ほぼ妥当である	
		C あまり妥当ではない	
		D 妥当ではない	
評価理由	子ども・若者支援計画に基づき、各事業の推進を図っている。		
2 有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A 上がっている	A
		B やや上がっている	
		C あまり上がっていない	
		D 上がっていない	
評価理由	評価指標事業R6年度目標達成に向けて着実に推進している。		
3 効率性	事業手法は効率的であるか	A 効率的である	A
		B やや効率的である	
		C あまり効率的でない	
		D 効率的でない	
評価理由	事業担当課の評価及び指標評価により進捗管理を行っている。		
4 施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A 貢献している	B
		B やや貢献している	
		C あまり貢献していない	
		D 貢献していない	
評価理由	事業の進捗管理を行うことで、切れ目ない支援に貢献している。		
評価理由			

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	拡大
所属コメント (400文字)	引き続き大津市子ども・若者支援計画に基づき事業を推進するとともに、社会福祉審議会児童福祉専門分科会の運営を適切に行っていく。また、今年度は、ニーズ調査及び生活実態調査を実施し、子ども・若者やその家庭の現状や課題の把握を進め、次期大津市子ども・若者支援計画策定へ活かしていく。さらに、昨年度、フルリニューアルした子育てアプリについては、出産期から子育て期にかけて切れ目のない伴走型の支援を行うために、子どもの年齢に応じた情報発信を個別に行うことができる機能を追加し、伴走型支援の拡充を図る。		

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	拡大
部局コメント (400文字)	大津市子ども・若者支援計画に基づき、各種事業や施策の推進に努めていく。また、次期計画の策定に向け取り組む。		

# 事務事業評価指標一覧

評価年度 令和 4年度 進捗区分 所属評価  
 所属 1488 福祉部子ども未来局子ども・若者政策課  
 総合計画 03 大津市総合計画 第2期実行計画  
 事務事業番号 02414 子ども・子育て支援事業費（子ども・若者政策課）

上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
(活動)推進した事業割合	%	100.00 96.24	100.00 0.00	100.00 0.00	100.00 0.00	100.00 0.00	100.00 0.00	100.00 0.00
	指標説明	事業担当課が「拡充」及び「維持・推進」と評価した事業の割合（「事業終了」は除く） ※進捗取りまとめの都合上、当該年度実績値は前年度の実績について記載						
(成果)評価指標事業の達成度	%	80.00 88.90	90.00 0.00	95.00 0.00	100.00 0.00	100.00 0.00	100.00 0.00	100.00 0.00
	指標説明	計画評価指標事業について、令和6年度の目標値に対する達成度（割合）の平均 ※進捗取りまとめの都合上、当該年度実績値は前年度の達成度について記載						

# 事務事業評価シート（1/2）

220 頁  
令和 5年 9月 5日

整理番号 0074  
評価年度 令和 4年度  
所属 1435  
事務事業番号 00011

進捗区分 評価完了  
福祉部子ども未来局子育て総合支援センター  
大津っ子みんなで育て愛全戸訪問事業

所属長名 井上 佳子  
記入者 清水 友美子

## 【基本情報】

総合計画	03	大津市総合計画 第2期実行計画				
基本方針	001	子どもから高齢者までが輝いて、魅力あふれるまちを創ります				
基本政策	001	子どもの未来が輝くまちにします				
施策	001	子ども・子育て支援の充実				
取組の方向性	001	出産前からの切れ目のない支援				
事務事業	010	大津っ子みんなで育て愛全戸訪問事業				
新規継続区分	継続					
運営方法	その他					
評価区分	対象	主な取組区分	対象外			
根拠法令等	子ども・子育て支援法					
事業概要	<p>(事業概要)</p> <p>生後4カ月までの乳児のいる全ての家庭を訪問する「大津っ子みんなで育て愛全戸訪問事業」を実施している。保育士と民生委員児童委員が2人一組で訪問し、赤ちゃんの誕生をお祝いするとともに子育て支援情報の提供を行う。また訪問し、支援が必要な場合はすこやか相談所等に連絡する。</p>					
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	<p>(事業を取りまく社会環境)</p> <p>核家族化や地域との関わりが希薄化している中、子育てへの不安感、負担感を抱くことが多く地域での見守りが必要とされている。</p> <p>(見直しや改善等の経過)</p> <p>平成29年度につどいの広場利用者のニーズ調査を行い、新生児期は子育てに関する情報提供を求めていることから、平成30年度より子育てハンドブックを対象者全員に配布している。</p>					

## 【事業分析】

対象(何又は誰を)	生後4カ月までの乳児がいる全ての家庭を対象に
目的(何のために)	乳児家庭の孤立化を防ぎ、乳児にとり健全な育成環境を整えていくために
手段(どのようなやり方で)	保育士と民生委員児童委員が2人一組で訪問し
成果(どのような状態にするのか)	支援が必要な家庭に対して適切なサービスが提供できるようにする。

## 【コスト】

(単位：千円)

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
	決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト	14,201	14,236	14,825	16,379	15,781	15,781	15,781
事業費	5,327	5,604	6,193	7,747	7,149	7,149	7,149
国庫支出金	831	887	629	773	773	773	773
県支出金	797	887	629	773	773	773	773
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0
一般財源	3,699	3,830	4,935	6,201	5,603	5,603	5,603
人件費計	8,874	8,632	8,632	8,632	8,632	8,632	8,632
事務・技術(人)	0.90	0.90	0.90	0.90	0.90	0.90	0.90
技能労務(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度任用(人)	0.54	0.52	0.52	0.52	0.52	0.52	0.52
嘱託(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

# 事務事業評価シート（2/2）

221 頁  
令和 5年 9月 5日

整理番号 0074  
 評価年度 令和 4年度 進捗区分 評価完了  
 所属 1435 福祉部子ども未来局子育て総合支援センター  
 事務事業番号 00011 大津っ子みんなで育て愛全戸訪問事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-15-10-05-22-00-15-00	大津っ子みんなで育て愛全戸訪問事業費	福祉部子ども未来局子育て総合支援センター

【定量評価】

指標名	単位	上段：目標値 下段：実績値						
		令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
(活動) 訪問員研修回数	回	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00
		1.00	1.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果) 訪問実施率	%	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00
		94.31	95.71	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

【定性評価】

評価項目	評価の観点	基準	評価
1 妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A 妥当である	A
		B ほぼ妥当である	
		C あまり妥当ではない	
		D 妥当ではない	
評価理由	地域民生委員児童委員等による訪問・見守りが有効である		
2 有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A 上がっている	A
		B やや上がっている	
		C あまり上がっていない	
		D 上がっていない	
評価理由	出産後早期の家庭訪問は有効である		
3 効率性	事業手法は効率的であるか	A 効率的である	A
		B やや効率的である	
		C あまり効率的でない	
		D 効率的でない	
評価理由	地域の民生委員児童委員と保育園との訪問は効率的である		
4 施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A 貢献している	A
		B やや貢献している	
		C あまり貢献していない	
		D 貢献していない	
評価理由	乳児を抱える家庭の不安解消に寄与している		
評価理由			

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
所属コメント (400文字)	新生児訪問と合わせ、大津で生まれ育つ子ども全ての確認の機会として、今後も地域の保育園、民生委員児童委員の協力を得て事業を継続していく。健康推進課、すこやか相談所との連携のもと、地域の中で子どもが健やかに育つ環境整備を図り、全戸訪問時に必要な子育て支援情報を提供できるよう幅広く情報を収集し発信していく。		

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
部局コメント (400文字)	関係機関等の協力を得て、子育てに関する情報を提供するなど、子育て中の家庭の孤立化を防ぎ、地域で安心して子育てできる環境の整備につなげていく。		

# 事務事業評価指標一覧

評価年度 令和 4年度      進捗区分 評価完了  
 所属 1435      福祉子ども未来局子育て総合支援センター  
 総合計画 03      大津市総合計画 第2期実行計画  
 事務事業番号 00011      大津っ子みんなで育て愛全戸訪問事業

上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
(活動)訪問員研修回数	回	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00
	指標説明	訪問に伴う研修回数						
(成果)訪問実施率	%	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00
	指標説明	94.31	95.71	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		訪問率 (訪問できた世帯数÷対象世帯数)						

# 事務事業評価シート（1/2）

223 頁  
令和 5年 9月 5日

整理番号 0075  
 評価年度 令和 4年度  
 所属 1435  
 事務事業番号 00036

進捗区分 評価完了  
 福祉部子ども未来局子育て総合支援センター  
 子育て総合支援センター事業

所属長名 井上 佳子  
 記入者 清水 友美子

## 【基本情報】

総合計画	03	大津市総合計画 第2期実行計画				
基本方針	001	子どもから高齢者までが輝いて、魅力あふれるまちを創ります				
基本政策	001	子どもの未来が輝くまちにします				
施策	001	子ども・子育て支援の充実				
取組の方向性	001	出産前からの切れ目のない支援				
事務事業	002	子育て総合支援センター事業				
新規継続区分	継続					
運営方法	直営					
評価区分	対象	主な取組区分	対象			
根拠法令等	子ども・子育て支援法					
事業概要	(事業概要) ・大津市の子育て支援に係る企画、実践、情報収集と発信の拠点として事業展開する。 「子どもや子育てに夢が広がる場、世代を超える出会いとつながりあいの場、安心と信頼の気持ちを抱き、誰もが集える場、子育ては楽しい！幸せとを感じる場、一人ひとりの出番があり、共に育ち合える場」を理念に、情報の収集と発信事業、親子・家族の交流、学習、体験事業、子育て語り合い相談事業等を行う。					
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	(事業を取りまく社会環境) 出生数の減少や幼稚園の3年保育の実施、保育園の新規開設等により、子育て支援拠点の利用者は低年齢化、減少傾向にある。 (見直しや改善等の経過) 利用者の低年齢化に伴い、事業の内容を見直し利用者満足度の向上を図ってきた。					

## 【事業分析】

対象(何又は誰を)	・就学前の子どもとその家族や、子育て支援に関わる関係者等の子育て仲間を対象に
目的(何のために)	・子どもを安心して産み育て、共に育ち合う子育て仲間のつながるまちづくりを推進するために
手段(どのようなやり方で)	・日常的なつどいの場の開設、気軽に集え子育て支援につながる講座の開催、子育てについての相談対応、身近な居住地域における遊びの提供等、人と関わることが心地よいと感じる親子、家族の体験活動を通して
成果(どのような状態にするのか)	・子育ての楽しさや子どもを地域で育て合う大切さを認識し、自身の子育てに活かし、子育て仲間とつながり合い、共に子育てを楽しむことを通して、子育ての負担感を軽減し、子どもを産み育てることに喜びを見い出す。

## 【コスト】

(単位：千円)

	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
	決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト	62,563	70,862	72,549	70,262	69,300	63,526	63,428
事業費	12,641	22,708	25,763	20,562	19,600	11,236	11,138
国庫支出金	3,041	2,815	2,991	3,083	3,083	3,083	3,083
県支出金	3,040	2,755	2,991	3,083	3,083	3,083	3,083
地方債	0	8,746	9,900	7,000	6,700	0	0
その他	177	171	184	184	184	184	184
一般財源	6,383	8,221	9,697	7,212	6,550	4,886	4,788
人件費計	49,922	48,154	46,786	49,700	49,700	52,290	52,290
事務・技術(人)	3.83	3.63	3.55	3.55	3.55	4.20	4.20
技能労務(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度任用(人)	6.22	6.40	6.16	7.10	7.10	6.30	6.30
嘱託(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0



# 事務事業評価シート（2/2）

224 頁  
令和 5年 9月 5日

整理番号 0075  
 評価年度 令和 4年度 進捗区分 評価完了  
 所属 1435 福祉部子ども未来局子育て総合支援センター  
 事務事業番号 00036 子育て総合支援センター事業

## 【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-15-10-05-22-00-11-00	子育て総合支援センター事業費	福祉部子ども未来局子育て総合支援センター

## 【定量評価】

指標名	単位	上段：目標値 下段：実績値						
		令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
(活動) 子育て総合支援センター開設日	日	292.00	292.00	292.00	292.00	292.00	292.00	292.00
		293.00	292.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(活動) 子育て講座開催回数	回	500.00	95.00	95.00	95.00	95.00	95.00	95.00
		90.00	169.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果) 子育て総合支援センター来場者数	人	23,000.00	24,500.00	24,500.00	24,500.00	24,500.00	24,500.00	24,500.00
		24,115.00	26,320.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果) 年間事業参加人数	人	8,000.00	6,500.00	6,500.00	6,500.00	6,500.00	6,500.00	6,500.00
		6,471.00	8,770.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

## 【定性評価】

評価項目	評価の観点	基準	評価
1 妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A 妥当である	A
		B ほぼ妥当である	
		C あまり妥当ではない	
		D 妥当ではない	
評価理由	市内6か所のつどいの広場を統括する拠点であるため		
2 有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A 上がっている	B
		B やや上がっている	
		C あまり上がっていない	
		D 上がっていない	
評価理由	コロナ禍での制限はあったが、子育て中の家族に必要な施設である		
3 効率性	事業手法は効率的であるか	A 効率的である	A
		B やや効率的である	
		C あまり効率的でない	
		D 効率的でない	
評価理由	他機関と連携の他に、アプリを活用し効率的な情報発信をしている		
4 施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A 貢献している	A
		B やや貢献している	
		C あまり貢献していない	
		D 貢献していない	
評価理由	つどいの広場提供や、情報発信等により子育て支援に貢献している		
評価理由			

## 【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
所属コメント (400文字)	子育て家庭の状況を把握し、市内の子育て支援の拠点としての機能の充実を図りながら、関係機関や子育て支援者と連携し、子育て中の家族が安心して利用し、育ち合えるための事業を展開していく。また、子育てアプリ等を活用して幅広く子育ての情報を発信していく。		

## 【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
部局コメント (400文字)	保護者が安心して生き生きと子育てできるよう、関係機関等と連携を図りながら、子育て支援の充実に努めていく。		

# 事務事業評価指標一覧

評価年度 令和 4年度 進捗区分 評価完了  
 所属 1435 福祉部子ども未来局子育て総合支援センター  
 総合計画 03 大津市総合計画 第2期実行計画  
 事務事業番号 00036 子育て総合支援センター事業

上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
(活動) 子育て総合支援センター開設日	日	292.00	292.00	292.00	292.00	292.00	292.00	292.00
	指標説明	293.00	292.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		開館日数						
(活動) 子育て講座開催回数	回	500.00	95.00	95.00	95.00	95.00	95.00	95.00
	指標説明	90.00	169.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		講座開催回数						
(成果) 子育て総合支援センター来場者数	人	23,000.00	24,500.00	24,500.00	24,500.00	24,500.00	24,500.00	24,500.00
	指標説明	24,115.00	26,320.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		来場した保護者+子ども=人数						
(成果) 年間事業参加人数	人	8,000.00	6,500.00	6,500.00	6,500.00	6,500.00	6,500.00	6,500.00
	指標説明	6,471.00	8,770.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		講座等参加者保護者+子ども=人数						

# 事務事業評価シート（1/2）

226 頁  
令和 5年 9月 5日

整理番号 0076  
 評価年度 令和 4年度  
 所属 1435  
 事務事業番号 02384

進捗区分 評価完了  
 福祉部子ども未来局子育て総合支援センター  
 子育て地域活動支援事業

所属長名 井上 佳子  
 記入者 清水 友美子

## 【基本情報】

総合計画	03	大津市総合計画 第2期実行計画				
基本方針	001	子どもから高齢者までが輝いて、魅力あふれるまちを創ります				
基本政策	001	子どもの未来が輝くまちにします				
施策	001	子ども・子育て支援の充実				
取組の方向性	001	出産前からの切れ目のない支援				
事務事業	003	子育て地域活動支援事業				
新規継続区分	継続					
運営方法	その他					
評価区分	対象	主な取組区分	対象			
根拠法令等	子ども・子育て支援法					
事業概要	(事業概要) 福祉7エリア内に、子育て中の家族が気軽に集い交流できる子育て支援の拠点を整備している。 ・地域子育て支援拠点を、志賀・東部のエリア2カ所で指定管理者により、北部・中北部・南部のエリア3カ所で委託により、中部・中南部のエリア2カ所で直営により、それぞれ実施している。 ・子育てステーション事業を、市立保育園14カ所で実施している。					
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	(事業を取りまく社会環境) 出生数の減少や幼稚園の3年保育の実施、民間保育園の新規開設等により、子育て支援拠点の利用者は減少傾向にあり、低年齢化が進んでいる。 (見直しや改善等の経過) 市内の各福祉エリアに子育て支援拠点を整備し、互いに情報交換を行うなど子育て情報の共有を行い、事業の見直しを行っている。					

## 【事業分析】

対象(何又は誰を)	就学前の子どもとその家族を対象に
目的(何のために)	子育て中の家族の不安感・負担感を軽減し、孤立化を防止するために
手段(どのようなやり方で)	気軽に集い交流できる子育て支援の拠点を地域に開設し、
成果(どのような状態にするのか)	安心して子育てができる環境を整備し、地域の子育て支援機能を充実させる。

## 【コスト】

(単位：千円)

	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
	決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト	53,993	51,446	50,447	64,149	56,645	56,227	56,227
事業費	32,977	33,996	34,981	45,862	38,358	37,940	37,940
国庫支出金	11,026	11,121	10,780	11,183	11,183	11,183	11,183
県支出金	10,990	10,971	10,780	11,183	11,183	11,183	11,183
地方債	0	0	0	8,600	0	0	0
その他	0	14	14	14	14	14	14
一般財源	10,961	11,890	13,407	14,882	15,978	15,560	15,560
人件費計	21,016	17,450	15,466	18,287	18,287	18,287	18,287
事務・技術(人)	2.10	1.80	1.80	1.80	1.80	1.80	1.80
技能労務(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度任用(人)	1.36	1.10	0.46	1.37	1.37	1.37	1.37
嘱託(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

# 事務事業評価シート（2/2）

227 頁  
令和 5年 9月 5日

整理番号 0076  
 評価年度 令和 4年度 進捗区分 評価完了  
 所属 1435 福祉部子ども未来局子育て総合支援センター  
 事務事業番号 02384 子育て地域活動支援事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-15-10-05-22-00-19-00	子育て地域活動支援事業費	福祉部子ども未来局子育て総合支援センター

【定量評価】

指標名	単位	上段：目標値 下段：実績値						
		令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
(活動)つどいの広場箇所数	カ所	6.00	6.00	6.00	6.00	6.00	6.00	6.00
		6.00	6.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(活動)ステーション事業実施園数	カ所	14.00	14.00	14.00	14.00	14.00	14.00	14.00
		14.00	14.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果)つどいの広場来場者数	人	45,000.00	37,000.00	37,000.00	37,000.00	37,000.00	37,000.00	37,000.00
		36,799.00	42,240.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果)ステーション事業参加者数	人	3,300.00	2,050.00	2,050.00	2,050.00	2,050.00	2,050.00	2,050.00
		2,023.00	2,786.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

【定性評価】

評価項目	評価の観点	基準	評価
1 妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A 妥当である	A
		B ほぼ妥当である	
		C あまり妥当ではない	
		D 妥当ではない	
評価理由	各福祉エリアに、子育て支援拠点を整備している		
2 有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A 上がっている	B
		B やや上がっている	
		C あまり上がっていない	
		D 上がっていない	
評価理由	コロナ禍での制限はあったが、子育て中の家族に必要な施設である		
3 効率性	事業手法は効率的であるか	A 効率的である	B
		B やや効率的である	
		C あまり効率的でない	
		D 効率的でない	
評価理由	指定管理等により各福祉エリアに、子育て支援拠点を整備している		
4 施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A 貢献している	A
		B やや貢献している	
		C あまり貢献していない	
		D 貢献していない	
評価理由	つどいの広場提供や、保育園事業により子育て支援に貢献している		
評価理由			

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
所属コメント (400文字)	今後も、各福祉エリア内に整備した一般型・子育て支援拠点の機能充実を図りながら、関係機関と連携しながら、地域の中で子育て中の家族が安心して利用し、育ち合えるための事業を展開していく。(志賀・東部のエリア2カ所指定管理、北部・中北部・南部エリア3カ所エリア委託、中部・中南部エリア2カ所直営) また、市立保育園14カ所ので実施しているステーション事業により、身近な地域の子育て支援拠点として子育てが家族が利用しやすく、安心して子育てができる環境を整える。		

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
部局コメント (400文字)	地域の身近な子育て支援の資源を活用し、子育て家庭が利用しやすく、安心して子育てできる環境の整備に努めていく。		

# 事務事業評価指標一覧

評価年度 令和 4年度 進捗区分 評価完了  
所属 1435 福祉部子ども未来局子育て総合支援センター  
総合計画 03 大津市総合計画 第2期実行計画  
事務事業番号 02384 子育て地域活動支援事業

上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
(活動)つどいの広場箇所数	カ所	6.00	6.00	6.00	6.00	6.00	6.00	6.00
	指標説明	箇所数						
(活動)ステーション事業実施園数	カ所	14.00	14.00	14.00	14.00	14.00	14.00	14.00
	指標説明	箇所数						
(成果)つどいの広場来場者数	人	45,000.00	37,000.00	37,000.00	37,000.00	37,000.00	37,000.00	37,000.00
	指標説明	来場した大人+子ども=来場者数						
(成果)ステーション事業参加者数	人	3,300.00	2,050.00	2,050.00	2,050.00	2,050.00	2,050.00	2,050.00
	指標説明	来場した大人+子ども=来場者数						

# 事務事業評価シート（1/2）

229 頁  
令和 5年 9月 5日

整理番号 0077  
 評価年度 令和 4年度  
 所属 1447  
 事務事業番号 00017

進捗区分 所属評価  
 福祉部子ども未来局幼保支援課  
 幼稚園子育て支援事業

所属長名 長堀 孝広  
 記入者 衣川 洋子

## 【基本情報】

総合計画	03	大津市総合計画 第2期実行計画				
基本方針	001	子どもから高齢者までが輝いて、魅力あふれるまちを創ります				
基本政策	001	子どもの未来が輝くまちにします				
施策	001	子ども・子育て支援の充実				
取組の方向性	002	質の高い幼児教育・保育の充実				
事務事業	013	幼稚園子育て支援事業				
新規継続区分	継続					
運営方法	直営					
評価区分	対象	主な取組区分	対象			
根拠法令等	学校教育法 24 条・幼稚園教育要領					
事業概要	(事業概要) 幼稚園が、地域や家庭の実情に応じながら、子育て支援機能を活用して「親と子の育ちの場」としての役割や機能を充実し、家庭や地域の教育力を支える。 (主な事業) ・一時預かり事業・親子の絆を深める子育て支援事業・未就園（0～2歳児）親子通園・子育て講座・子育て相談・園庭園舎開放					
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	(事業を取りまく社会環境) 身近に子育ての悩みや不安を相談できる人がおらず子育てにストレスを感じる保護者や子どもとの関わり方が分からず親子関係に課題のある保護者が見られる。 (見直しや改善等の経過) 気軽に親子で来られる場としての事業や内容を改善し、親子の触れ合い遊びや家庭でもできる遊びを提供し、園と家庭がつながるような取組を推進した。また就労など保育の必要性に応じた預かり保育の拡充に取り組んだ。					

## 【事業分析】

対象(何又は誰を)	市内各地域の未就園親子ならびに幼稚園在園親子を対象として
目的(何のために)	地域における子育ての孤立化解消及び家庭の教育力向上を図るため
手段(どのようなやり方で)	未就園親子通園、園庭園舎開放、遊具用具絵本等の貸し出し、子育て相談、子育て講座、在園児預かり保育、子育て情報の提供等の子育て支援施策により
成果(どのような状態にするのか)	幼児の心身の発達の助長と保護者の子育てに対する喜びや充足感、幼児の育ちに対する理解等を一層推進する。

## 【コスト】

(単位：千円)

	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
	決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト	100,032	100,900	100,558	100,152	100,152	100,152	100,152
事業費	1,694	2,822	2,324	1,918	1,918	1,918	1,918
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	133	535	554	0	0	0	0
一般財源	1,561	2,287	1,770	1,918	1,918	1,918	1,918
人件費計	98,338	98,078	98,234	98,234	98,234	98,234	98,234
事務・技術(人)	0.52	0.50	0.52	0.52	0.52	0.52	0.52
技能労務(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度任用(人)	30.38	30.38	30.38	30.38	30.38	30.38	30.38
嘱託(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

# 事務事業評価シート（2/2）

230 頁  
令和 5年 9月 5日

整理番号 0077  
 評価年度 令和 4年度 進捗区分 所属評価  
 所属 1447 福祉部子ども未来局幼保支援課  
 事務事業番号 00017 幼稚園子育て支援事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-50-20-10-80-00-01-00	幼稚園子育て支援事業費	福祉部子ども未来局幼保支援課

【定量評価】

指標名	単位	上段：目標値 下段：実績値						
		令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
(活動)未就園親子通園等の実施回数	回	3,200.00	3,200.00	3,200.00	3,200.00	3,200.00	3,200.00	3,200.00
		2,149.00	2,618.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(活動)在園児預かり保育の実施回数	回	5,500.00	5,500.00	6,800.00	6,800.00	6,800.00	6,800.00	6,800.00
		6,693.00	6,955.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果)未就園親子通園等の参加人数	人	35,000.00	35,000.00	25,000.00	25,000.00	25,000.00	25,000.00	25,000.00
		19,040.00	23,439.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果)在園児預かり保育利用人数	人	70,000.00	70,000.00	70,000.00	70,000.00	70,000.00	70,000.00	70,000.00
		75,502.00	90,681.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

【定性評価】

評価項目	評価の観点	基準	評価
1 妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A 妥当である	A
		B ほぼ妥当である	
		C あまり妥当ではない	
		D 妥当ではない	
評価理由	地域の子育てを支援し幼児教育センターとしての役割を担っている		
2 有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A 上がっている	B
		B やや上がっている	
		C あまり上がっていない	
		D 上がっていない	
評価理由	家庭で経験できない親子での活動を期待しリピーターが増えている		
3 効率性	事業手法は効率的であるか	A 効率的である	A
		B やや効率的である	
		C あまり効率的でない	
		D 効率的でない	
評価理由	全園で子育て指導員を配置し計画的な事業の充実を図っている		
4 施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A 貢献している	A
		B やや貢献している	
		C あまり貢献していない	
		D 貢献していない	
評価理由	地域の子育て支援の拠点として家庭の教育力を支える事業を推進		
評価理由			

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
所属コメント (400文字)	コロナ禍での育児の孤立化、家庭の価値観の多様化がみられる中、幼稚園が子育てセンターとして、未就園事業の在り方や内容を工夫し、安心して事業に参加したり、幼稚園に入園できるよう子どもや保護者とのつながりを大事にした事業の充実を図る。また、在園児保護者対象の子育て講座や子育て相談の場や機会の充実を図り、家庭教育の積極的な支援を推進する。		

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
部局コメント (400文字)	新型コロナウイルス感染症の法的位置付けが5類感染症に移行したことに伴い、自粛や縮小していた行事等を従来どおりの形に戻しながら、幼児期の子育てを支援するため、市立幼稚園における子育て支援事業を推進していく。		

# 事務事業評価指標一覧

評価年度 令和 4年度      進捗区分 所属評価  
 所属 1447      福祉子ども未来局幼保支援課  
 総合計画 03      大津市総合計画 第2期実行計画  
 事務事業番号 00017      幼稚園子育て支援事業

上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
(活動)未就園親子通園等の実施回数	回	3,200.00	3,200.00	3,200.00	3,200.00	3,200.00	3,200.00	3,200.00
	指標説明	2,149.00	2,618.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
市立幼稚園における親子通園事業と子育て講座の延べ回数								
(活動)在園児預かり保育の実施回数	回	5,500.00	5,500.00	6,800.00	6,800.00	6,800.00	6,800.00	6,800.00
	指標説明	6,693.00	6,955.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
平成22年度からの開始事業・市立幼稚園の子育て支援預かり保育実施合計回数								
(成果)未就園親子通園等の参加人数	人	35,000.00	35,000.00	25,000.00	25,000.00	25,000.00	25,000.00	25,000.00
	指標説明	19,040.00	23,439.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
市立幼稚園における親子通園事業と子育て講座の延べ参加人数（R2から3年保育全園実施）								
(成果)在園児預かり保育利用人数	人	70,000.00	70,000.00	70,000.00	70,000.00	70,000.00	70,000.00	70,000.00
	指標説明	75,502.00	90,681.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
市立幼稚園子育て支援預かり保育利用人数								



# 事務事業評価シート（1/2）

232 頁  
令和 5年 9月 5日

整理番号 0078  
 評価年度 令和 4年度  
 所属 1447  
 事務事業番号 00058

進捗区分 所属評価  
 福祉部子ども未来局幼保支援課  
 職員研修事業

所属長名 長堀 孝広  
 記入者 近澤 文

## 【基本情報】

総合計画	03	大津市総合計画 第2期実行計画				
基本方針	001	子どもから高齢者までが輝いて、魅力あふれるまちを創ります				
基本政策	001	子どもの未来が輝くまちにします				
施策	001	子ども・子育て支援の充実				
取組の方向性	002	質の高い幼児教育・保育の充実				
事務事業	006	職員研修事業				
新規継続区分	継続					
運営方法	直営					
評価区分	対象	主な取組区分	対象外			
根拠法令等	児童福祉法第45条					
事業概要	(事業概要) ・保育所に求められる役割に応えるため、研修や研究活動を通して公私立保育園職員の資質向上を図り、保育所運営及び、保育内容の質を高める。					
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	(事業を取りまく社会環境) ・子どもの命と権利を守るセーフティネットとしての役割を担い、子どもの発達保障と保護者の子育てを支援するという保育者の専門性と資質向上が更に求められている。 (見直しや改善等の経過) ・第6次研修計画を策定し、計画に基づき実施。コロナの影響で回数・人数を縮小する中、対象毎の課題の明確化、研修参加者の学びの共有化を図りつつ進めた。主体的な参加を目指す。					

## 【事業分析】

対象(何又は誰を)	公立保育所の職員を対象とする。(一部民間保育所職員・地域型保育事業職員も参加の研修とする)
目的(何のために)	保育所等に働く職員が、保育所の運営及び保育内容の質を高め資質向上を図る
手段(どのようなやり方で)	対象者別育成研修(経験年数や職種で分けるもの)及びテーマ(内容)別研修の開催や県・近畿・全国レベルの研修会への派遣・研究会活動の実施
成果(どのような状態にするのか)	子どもや保護者の実態やその背景の社会情勢を認識し、保育に関する知識と技術を用いて適切に判断・対応する

## 【コスト】

(単位：千円)

	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
	決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト	9,501	9,618	10,537	10,537	10,537	10,537	10,537
事業費	462	729	1,648	1,648	1,648	1,648	1,648
国庫支出金	264	241	552	552	552	552	552
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0
一般財源	198	488	1,096	1,096	1,096	1,096	1,096
人件費計	9,039	8,889	8,889	8,889	8,889	8,889	8,889
事務・技術(人)	0.50	0.50	0.50	0.50	0.50	0.50	0.50
技能労務(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用(人)	0.50	0.50	0.50	0.50	0.50	0.50	0.50
会計年度任用(人)	0.69	0.69	0.69	0.69	0.69	0.69	0.69
嘱託(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

# 事務事業評価シート（2/2）

233 頁  
令和 5年 9月 5日

整理番号 0078  
 評価年度 令和 4年度 進捗区分 所属評価  
 所属 1447 福祉部子ども未来局幼保支援課  
 事務事業番号 00058 職員研修事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-15-10-05-28-00-07-00	職員研修事業費	福祉部子ども未来局幼保支援課

【定量評価】

指標名	単位	上段：目標値 下段：実績値						
		令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
(活動)実施回数	回	63.00	63.00	63.00	63.00	63.00	63.00	63.00
		60.00	60.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果)一人あたりの参加回数	回	6.00	6.00	6.00	6.00	6.00	6.00	6.00
		3.00	3.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果)参加人数	名	1,800.00	1,800.00	1,800.00	1,800.00	1,800.00	1,800.00	1,800.00
		1,072.00	1,179.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

【定性評価】

評価項目	評価の観点	基準	評価
1 妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A 妥当である	A
		B ほぼ妥当である	
		C あまり妥当ではない	
		D 妥当ではない	
評価理由	県国・団体等の研修を活用し、資質向上につなげている		
2 有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A 上がっている	B
		B やや上がっている	
		C あまり上がっていない	
		D 上がっていない	
評価理由	主体的な参加、伝達研修による資質向上の取り組みを行っている		
3 効率性	事業手法は効率的であるか	A 効率的である	B
		B やや効率的である	
		C あまり効率的でない	
		D 効率的でない	
評価理由	課題を明らかにし、必要な技術と技能の習得に即した学びにつなぐ		
4 施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A 貢献している	A
		B やや貢献している	
		C あまり貢献していない	
		D 貢献していない	
評価理由	研修体系が明確化され、ニーズに合わせた保育の質の向上につなぐ		
評価理由			

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
所属コメント (400文字)	・第6次研修計画に基づき、それぞれの職種に求められる役割や専門性、様々な時事課題や多様な保育ニーズに対応できる研修内容を企画し実施していく。職員の目的意識の向上、キャリアデザインを意識した主体的な学びを目指す。オンライン研修の実施、園内の学びの共有などの工夫を図り、保育の質を向上させていく。		

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
部局コメント (400文字)	保育園等の運営に携わる保育士等の職員は、専門職として資質の研鑽を図ることが必要であり、子どもの人権や豊かな保育に係る内容を含め、保育の質の向上につながるような効果的な職員研修を実施していく。		

# 事務事業評価指標一覧

評価年度 令和 4年度 進捗区分 所属評価  
 所属 1447 福祉子ども未来局幼保支援課  
 総合計画 03 大津市総合計画 第2期実行計画  
 事務事業番号 00058 職員研修事業

上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
(活動)実施回数	回	63.00	63.00	63.00	63.00	63.00	63.00	63.00
	指標説明	60.00	60.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
年間で開催した研修会、研究部会、派遣研修の回数								
(成果)一人あたりの参加回数	回	6.00	6.00	6.00	6.00	6.00	6.00	6.00
	指標説明	3.00	3.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
参加総数/公立保育園等職員数								
(成果)参加人数	名	1,800.00	1,800.00	1,800.00	1,800.00	1,800.00	1,800.00	1,800.00
	指標説明	1,072.00	1,179.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
年間に参加した総数								

# 事務事業評価シート（1/2）

235 頁  
令和 5年 9月 5日

整理番号 0079  
 評価年度 令和 4年度  
 所属 1447  
 事務事業番号 00060

進捗区分 所属評価  
 福祉部子ども未来局幼保支援課  
 公立保育所運営事業

所属長名 長堀 孝広  
 記入者 近澤 文

## 【基本情報】

総合計画	03	大津市総合計画 第2期実行計画				
基本方針	001	子どもから高齢者までが輝いて、魅力あふれるまちを創ります				
基本政策	001	子どもの未来が輝くまちにします				
施策	001	子ども・子育て支援の充実				
取組の方向性	002	質の高い幼児教育・保育の充実				
事務事業	007	公立保育所運営事業				
新規継続区分	継続					
運営方法	直営					
評価区分	対象	主な取組区分	対象外			
根拠法令等	児童福祉法					
事業概要	(事業概要) 公立保育園の管理・運営を行う。 園数：15園（ただし、葛川保育園は平成27年4月より休園） 定員：1,533人（葛川保育園を除く） 入所児童数 1,085人 ※R4.4.1現在					
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	(事業を取りまく社会環境) 就学前児童数は減少しているが、共働き世帯の増加等により保育需要は高い。また、保育士人材確保が困難さもあり、入所児童は減少している。一方で、要支援児については増加傾向にある。 (見直しや改善等の経過) 平成28年度に浜大津保育園を民営化し市の財政負担の軽減を行ったが、令和元年度に民営化の推進が撤回されたため、今後は財政負担と大津の保育の質の維持等を考慮しつつ、適正な運営を行う。					

## 【事業分析】

対象(何又は誰を)	公立保育園及び入所児童
目的(何のために)	公立保育園の管理・運営及び保育の実施
手段(どのようなやり方で)	「望ましい環境の中で心身ともに調和のとれた発達を図り、自主・自立・協調性を養い、豊かな情操と創造性を培う」を大津市基準保育目標とし、保育を実施する。
成果(どのような状態にするのか)	各年齢ごとに発達の特徴とねらい、内容、保育者のかかわり方を「保育課程」として作成し職員が共通理解の上で子どもの自発性を大切に興味や欲求を満たした生活や遊びを通して個々の発達に応じた保育をする。

## 【コスト】

(単位：千円)

	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
	決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト	2,114,274	2,251,348	2,285,156	2,283,341	2,283,341	2,283,341	2,283,341
事業費	142,511	146,700	153,590	151,775	151,775	151,775	151,775
国庫支出金	3,411	4,017	4,377	0	0	0	0
県支出金	791	620	125	125	125	125	125
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	64,039	59,292	65,221	58,975	58,975	58,975	58,975
一般財源	74,270	82,771	83,867	92,675	92,675	92,675	92,675
人件費計	1,971,763	2,104,648	2,131,566	2,131,566	2,131,566	2,131,566	2,131,566
事務・技術(人)	189.95	198.17	198.17	198.17	198.17	198.17	198.17
技能労務(人)	6.00	7.00	6.00	6.00	6.00	6.00	6.00
再任用(人)	5.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度任用(人)	123.73	165.62	176.40	176.40	176.40	176.40	176.40
嘱託(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

# 事務事業評価シート（2/2）

236 頁  
令和 5年 9月 5日

整理番号 0079  
 評価年度 令和 4年度 進捗区分 所属評価  
 所属 1447 福祉部子ども未来局幼保支援課  
 事務事業番号 00060 公立保育所運営事業

## 【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-15-10-15-41-00-01-00	公立保育所運営事業費	福祉部子ども未来局幼保支援課

## 【定量評価】

指標名	単位	上段：目標値 下段：実績値						
		令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
(活動)年度当初入所定員	人	1,610.00	1,533.00	1,533.00	1,533.00	1,533.00	1,533.00	1,533.00
		1,521.00	1,533.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果)年度当初入所児童数	人	1,610.00	1,533.00	1,533.00	1,533.00	1,533.00	1,533.00	1,533.00
		1,193.00	1,085.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果)障害児の受入児童数	人	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00
		118.00	128.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

## 【定性評価】

評価項目	評価の観点	基準	評価
1 妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A 妥当である	A
		B ほぼ妥当である	
		C あまり妥当ではない	
		D 妥当ではない	
評価理由	保育の提供拠点として公立保育所ならではの提供ができています		
2 有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A 上がっている	B
		B やや上がっている	
		C あまり上がっていない	
		D 上がっていない	
評価理由	公立保育所に求められる指導的・先導的役割を果たしている		
3 効率性	事業手法は効率的であるか	A 効率的である	A
		B やや効率的である	
		C あまり効率的でない	
		D 効率的でない	
評価理由	民間園に知識・技能を効率的に伝え、保育の質の向上を図っている		
4 施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A 貢献している	A
		B やや貢献している	
		C あまり貢献していない	
		D 貢献していない	
評価理由	保育の提供や保育の質の向上に不可欠な役割を果たしている		
評価理由			

## 【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
所属コメント (400文字)	公立保育園として市全体の保育の質を担保するために必要不可欠な役割を果たしており、財政的な観点と保育の質の維持・向上のバランスを取りながら、適正な運営を行う。		

## 【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
部局コメント (400文字)	公立保育所としての役割をしっかりと果たし、適正に運営していく。		

# 事務事業評価指標一覧

評価年度 令和 4年度 進捗区分 所属評価  
所属 1447 福祉子ども未来局幼保支援課  
総合計画 03 大津市総合計画 第2期実行計画  
事務事業番号 00060 公立保育所運営事業

上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
(活動) 年度当初入所定員	人	1,610.00	1,533.00	1,533.00	1,533.00	1,533.00	1,533.00	1,533.00
	指標説明	1,521.00	1,533.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
公立保育園の入所定員（4月1日現在）								
(成果) 年度当初入所児童数	人	1,610.00	1,533.00	1,533.00	1,533.00	1,533.00	1,533.00	1,533.00
	指標説明	1,193.00	1,085.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
公立保育園の入所児童数（4月1日現在）								
(成果) 障害児の受入児童数	人	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00
	指標説明	118.00	128.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
公立保育園の入所障害児数（4月1日現在）※平成28年度より指標に追加								

# 事務事業評価シート（1/2）

238 頁  
令和 5年 9月 5日

整理番号 0080  
 評価年度 令和 4年度  
 所属 1447  
 事務事業番号 00175

進捗区分 所属評価  
 福祉部子ども未来局幼保支援課  
 幼稚園管理運営事業

所属長名 長堀 孝広  
 記入者 奥野 裕史

【基本情報】

総合計画	03	大津市総合計画 第2期実行計画				
基本方針	001	子どもから高齢者までが輝いて、魅力あふれるまちを創ります				
基本政策	001	子どもの未来が輝くまちにします				
施策	001	子ども・子育て支援の充実				
取組の方向性	002	質の高い幼児教育・保育の充実				
事務事業	016	幼稚園管理運営事業				
新規継続区分	継続					
運営方法	直営					
評価区分	対象	主な取組区分	対象			
根拠法令等						

事業概要	(事業概要) 幼稚園29園の管理運営をはじめ、幼児教育活動に必要な教材や設備等の教育環境の充実を図る。
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	(事業を取りまく社会環境) 少子化や共働き世帯の増加など、社会状況の変化に伴い、幼児教育施設が多様化する中で、幼児教育の質の向上や教育環境の充実が求められている。 (見直しや改善等の経過) 市立幼稚園の3年保育の全園実施、規模適正化計画の推進に加えて、今後、財政負担と大津の教育環境の維持等を考慮しつつ、適正に運営管理を行う。

【事業分析】

対象(何又は誰を)	園児・教職員
目的(何のために)	各幼稚園の管理運営及び教育活動を円滑に行う。
手段(どのようなやり方で)	各幼稚園の地域の実態に応じ、工夫を凝らした教育環境整備に努める。
成果(どのような状態にするのか)	幼児教育環境の整備・充実を図る。

【コスト】 (単位：千円)

	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
	決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト	80,962	47,433	51,616	57,369	51,429	51,429	51,429
事業費	76,097	43,302	46,861	52,614	46,674	46,674	46,674
国庫支出金	0	2,707	0	0	0	0	0
県支出金	0	4,950	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	5,180	100	300	0	0	0	0
一般財源	70,917	35,545	46,561	52,614	46,674	46,674	46,674
人件費計	4,865	4,131	4,755	4,755	4,755	4,755	4,755
事務・技術(人)	0.55	0.47	0.55	0.55	0.55	0.55	0.55
技能労務(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度任用(人)	0.15	0.15	0.15	0.15	0.15	0.15	0.15
嘱託(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

# 事務事業評価シート（2/2）

整理番号 0080  
 評価年度 令和 4年度 進捗区分 所属評価  
 所属 1447 福祉部子ども未来局幼保支援課  
 事務事業番号 00175 幼稚園管理運営事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-50-20-05-08-00-07-00	幼稚園管理運営費（幼保支援課）	福祉部子ども未来局幼保支援課

【定量評価】

指標名	単位	上段：目標値 下段：実績値						
		令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
(活動)教材費（消耗品 +印刷製本費-図書）	千円	11,200.00	11,200.00	8,000.00	8,000.00	8,000.00	8,000.00	8,000.00
		5,833.00	6,120.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果)園児1人当たり の教材費（4歳以上）	円	5,500.00	5,500.00	5,500.00	5,500.00	5,500.00	5,500.00	5,500.00
		3,699.00	4,236.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

【定性評価】

評価項目	評価の観点	基準	評価
1 妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A 妥当である	A
		B ほぼ妥当である	
		C あまり妥当ではない	
		D 妥当ではない	
評価理由	質の高い幼児教育を提供するには、適切な教育環境の整備が必要		
2 有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A 上がっている	B
		B やや上がっている	
		C あまり上がっていない	
		D 上がっていない	
評価理由	本市では幼稚園のニーズは高く、公立幼稚園が果たす役割は大きい		
3 効率性	事業手法は効率的であるか	A 効率的である	A
		B やや効率的である	
		C あまり効率的でない	
		D 効率的でない	
評価理由	規模適正化により経済効率性を高め教育に対する効率も高めている		
4 施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A 貢献している	A
		B やや貢献している	
		C あまり貢献していない	
		D 貢献していない	
評価理由	幼児教育の重要性や幼稚園ニーズの受け皿として貢献は大きい		
評価理由			

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
所属コメント (400文字)	大津市立幼稚園が担ってきた質の高い幼児教育を継続するとともに、幼児教育の転換期に幼児教育の求められる役割について研究を進めていく必要がある。		

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
部局コメント (400文字)	教育環境の充実にに向けた取り組みを継続し、市立幼稚園の適正な管理運営に努める。		



# 事務事業評価指標一覧

評価年度 令和 4年度      進捗区分 所属評価  
 所属 1447              福祉部子ども未来局幼保支援課  
 総合計画 03            大津市総合計画 第2期実行計画  
 事務事業番号 00175    幼稚園管理運営事業

上段：目標値    下段：実績値

指標名	単位	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
(活動)教材費(消耗品 +印刷製本費-図書)	千円	11,200.00	11,200.00	8,000.00	8,000.00	8,000.00	8,000.00	8,000.00
	指標説明	実績値：決算額						
(成果)園児1人当たり の教材費(4歳以上)	円	5,500.00	5,500.00	5,500.00	5,500.00	5,500.00	5,500.00	5,500.00
	指標説明	年間教材費/園児数(4歳以上)						

# 事務事業評価シート（1/2）

241 頁  
令和 5年 9月 5日

整理番号 0081  
 評価年度 令和 4年度  
 所属 1447  
 事務事業番号 02423

進捗区分 所属評価  
 福祉部子ども未来局幼保支援課  
 子ども・子育て支援事業

所属長名 長堀 孝広  
 記入者 奥野 裕史

## 【基本情報】

総合計画	03	大津市総合計画 第2期実行計画				
基本方針	001	子どもから高齢者までが輝いて、魅力あふれるまちを創ります				
基本政策	001	子どもの未来が輝くまちにします				
施策	001	子ども・子育て支援の充実				
取組の方向性	002	質の高い幼児教育・保育の充実				
事務事業	015	子ども・子育て支援事業				
新規継続区分	継続					
運営方法	民間委託					
評価区分	対象	主な取組区分	対象			
根拠法令等	子ども・子育て支援法					
事業概要	(事業概要) ①次世代を担う子ども・子育てを社会全体で支援するための施策の検討（多様な方策による保育所待機児童の解消や地域における子育て支援機能の充実） ②子育て家庭をとりまく社会での家庭支援意識の醸成を図る。 ③子ども・子育て支援事業計画の施策を推進する。					
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	(事業を取りまく社会環境) 子ども・子育て支援事業計画に基づく教育・保育の確保、保育人材の確保はますます重要となり、少子化社会対策と相まって日本社会の最重要課題となっている。 (見直しや改善等の経過) 子ども・子育て支援事業計画は、令和2年度から、子どもが生まれる前から自立するまでを対象とした「大津市子ども・若者支援計画」に統合し、その計画の趣旨・背景を踏まえた取り組みを行っている。					

## 【事業分析】

対象(何又は誰を)	子育て世代を対象として
目的(何のために)	子ども・子育て支援の充実を図るために
手段(どのようなやり方で)	子ども・若者支援計画に基づく施策を展開し
成果(どのような状態にするのか)	幼児期の教育・保育、地域子育て支援事業の質の向上と量の拡充が図られる

## 【コスト】

(単位：千円)

	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
	決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト	14,810	14,291	14,059	14,059	14,059	14,059	14,059
事業費	8,345	8,210	7,744	7,744	7,744	7,744	7,744
国庫支出金	4,353	3,670	3,841	3,841	3,841	3,841	3,841
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0
一般財源	3,992	4,540	3,903	3,903	3,903	3,903	3,903
人件費計	6,465	6,081	6,315	6,315	6,315	6,315	6,315
事務・技術(人)	0.75	0.72	0.75	0.75	0.75	0.75	0.75
技能労務(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度任用(人)	0.15	0.15	0.15	0.15	0.15	0.15	0.15
嘱託(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

# 事務事業評価シート（2/2）

242 頁  
令和 5年 9月 5日

整理番号 0081  
 評価年度 令和 4年度 進捗区分 所属評価  
 所属 1447 福祉部子ども未来局幼保支援課  
 事務事業番号 02423 子ども・子育て支援事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-15-10-05-28-00-70-00	子ども・子育て支援事業費	福祉部子ども未来局幼保支援課

【定量評価】

指標名	単位	上段：目標値 下段：実績値						
		令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
(活動)子ども・子育て会議の開催	回	3.00	3.00	3.00	3.00	3.00	3.00	3.00
(成果)教育・保育、地域子育て支援事業の確保方策の確保割合	%	2.00	3.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00
		100.00	100.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

【定性評価】

評価項目	評価の観点	基準	評価
1 妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A 妥当である	A
		B ほぼ妥当である	
		C あまり妥当ではない	
		D 妥当ではない	
評価理由	法定計画に基づく、本市の子育て施策の根幹となる事業である		
2 有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A 上がっている	A
		B やや上がっている	
		C あまり上がっていない	
		D 上がっていない	
評価理由	量の確保と質の向上を計画的に進める事業であり有効である		
3 効率性	事業手法は効率的であるか	A 効率的である	A
		B やや効率的である	
		C あまり効率的でない	
		D 効率的でない	
評価理由	現状を詳細に分析し策定した計画に基づく事業であり効率的である		
4 施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A 貢献している	A
		B やや貢献している	
		C あまり貢献していない	
		D 貢献していない	
評価理由	総合計画で重要施策と位置づけられている事業であり貢献度は高い		
評価理由			

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
所属コメント (400文字)	就学前児童数が減少していることを踏まえて、令和2年3月に策定した「大津市子ども・若者支援計画」に基づき、保育の質の確保とともに保育人材の確保についても重要な施策として取り組みを推進する。		

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
部局コメント (400文字)	「大津市子ども・若者支援計画」に基づき、目標等を見据えて、諸施策を実施する。		

# 事務事業評価指標一覧

評価年度 令和 4年度 進捗区分 所属評価  
 所属 1447 福祉子ども未来局幼保支援課  
 総合計画 03 大津市総合計画 第2期実行計画  
 事務事業番号 02423 子ども・子育て支援事業

上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
(活動) 子ども・子育て 会議の開催	回	3.00	3.00	3.00	3.00	3.00	3.00	3.00
	指標説明	子ども・若者支援計画の意見聴取、進捗管理を行う会議の開催回数						
(成果) 教育・保育、地 域子育て支援事業の確 保方針の確保割合	%	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00
	指標説明	支援計画の年度末の教育・保育、地域子育て支援事業の総確保割合						

# 事務事業評価シート（1/2）

244 頁  
令和 5年 9月 5日

整理番号 0082  
 評価年度 令和 4年度  
 所属 1447  
 事務事業番号 02547

進捗区分 所属評価  
 福祉部子ども未来局幼保支援課  
 学校図書充実事業（幼稚園）

所属長名 長堀 孝広  
 記入者 奥野 裕史

【基本情報】

総合計画	03 大津市総合計画 第2期実行計画		
基本方針	001 子どもから高齢者までが輝いて、魅力あふれるまちを創ります		
基本政策	001 子どもの未来が輝くまちにします		
施策	001 子ども・子育て支援の充実		
取組の方向性	002 質の高い幼児教育・保育の充実		
事務事業	022 学校図書充実事業（幼稚園）		
新規継続区分	継続		
運営方法	直営		
評価区分	対象	主な取組区分	対象外
根拠法令等	子どもの読書活動の推進に関する法律		
事業概要	(事業概要) 幼稚園児の読書活動を推進するため、幼稚園の蔵書の充実及び読書環境の整備に要する書架等の整備を図る。		
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	(事業を取りまく社会環境) 幼稚園児の読書活動を推進するため、第四次大津市子ども読書活動推進計画に基づき、幼稚園の蔵書の充実及び読書環境の整備に要する書架等の整備を図っている。 (見直しや改善等の経過) 第四次大津市子ども読書活動推進計画に基づき引き続き各幼稚園の蔵書等の整備を行う。		

【事業分析】

対象(何又は誰を)	各幼稚園に
目的(何のために)	各幼稚園の蔵書の充実のために
手段(どのようなやり方で)	園児用図書を購入し
成果(どのような状態にするのか)	幼稚園児が図書に親しむ機会が増える。

【コスト】 (単位：千円)

	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
	決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト	1,443	1,470	1,509	1,470	1,470	1,470	1,470
事業費	1,363	1,392	1,431	1,392	1,392	1,392	1,392
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	1,363	596	1,100	0	0	0	0
一般財源	0	796	331	1,392	1,392	1,392	1,392
人件費計	80	78	78	78	78	78	78
事務・技術(人)	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01
技能労務(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度任用(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
嘱託(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

# 事務事業評価シート（2/2）

整理番号 0082  
 評価年度 令和 4年度 進捗区分 所属評価  
 所属 1447 福祉部子ども未来局幼保支援課  
 事務事業番号 02547 学校図書充実事業（幼稚園）

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-50-05-20-61-00-41-00	学校図書充実事業費〔幼稚園〕	福祉部子ども未来局幼保支援課

【定量評価】

指標名	単位	上段：目標値 下段：実績値						
		令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
(活動) 図書購入数	冊	850.00	850.00	850.00	850.00	850.00	850.00	850.00
		741.00	842.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果) 平均図書購入数	冊	29.00	29.00	29.00	29.00	29.00	29.00	29.00
		25.00	29.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

【定性評価】

評価項目	評価の観点	基準	評価	
1 妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A 妥当である	A	
		B ほぼ妥当である		
		C あまり妥当ではない		
		D 妥当ではない		
評価理由	多様な図書に触れることは、子どもの感じる心を育てるために必要			
2 有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A 上がっている	A	
		B やや上がっている		
		C あまり上がっていない		
		D 上がっていない		
評価理由	図書の充実は幼児期の教育の質の向上と園児の発達の面で有効			
3 効率性	事業手法は効率的であるか	A 効率的である	A	
		B やや効率的である		
		C あまり効率的でない		
		D 効率的でない		
評価理由	子どもの確かな学習と生きる力を養う基盤につながり効率性がある			
4 施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A 貢献している	A	
		B やや貢献している		
		C あまり貢献していない		
		D 貢献していない		
評価理由	図書との触れ合いは園児の発達の側面からも貢献度が高い			
評価理由				

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
所属コメント (400文字)	各幼稚園で蔵書管理やその時々によさしい図書をしっかりと充実させ、子ども達が身近な場所で楽しみながら図書を選び、読み、触れ合う機会を提供することは、幼稚園教育要領に定められた言葉の獲得に関する領域を中心とした発達に非常に有効であり、そのための環境整備に努めることが重要である。		

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
部局コメント (400文字)	幼児期は、生涯にわたる人間形成の基礎となる様々な体験を積む大切な時期であり、本と触れることは非常に重要であることから、保護者や子どものニーズを踏まえ、園児用図書を購入する。		

# 事務事業評価指標一覧

246 頁  
令和 5年 9月 5日

評価年度 令和 4年度 進捗区分 所属評価  
 所属 1447 福祉子ども未来局幼保支援課  
 総合計画 03 大津市総合計画 第2期実行計画  
 事務事業番号 02547 学校図書充実事業（幼稚園）

上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
(活動)図書購入数	冊	850.00	850.00	850.00	850.00	850.00	850.00	850.00
	指標説明	741.00	842.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		各幼稚園の図書購入冊数						
(成果)平均図書購入数	冊	29.00	29.00	29.00	29.00	29.00	29.00	29.00
	指標説明	25.00	29.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		購入冊数／33園（H28から32園）（H30から31園）（R3から29園）						

# 事務事業評価シート（1/2）

247 頁  
令和 5年 9月 5日

整理番号 0083  
 評価年度 令和 4年度  
 所属 1447  
 事務事業番号 02621

進捗区分 所属評価  
 福祉部子ども未来局幼保支援課  
 学校支援総合推進事業〔幼稚園〕

所属長名 長堀 孝広  
 記入者 衣川 洋子

【基本情報】

総合計画	03	大津市総合計画 第2期実行計画	
基本方針	001	子どもから高齢者までが輝いて、魅力あふれるまちを創ります	
基本政策	001	子どもの未来が輝くまちにします	
施策	001	子ども・子育て支援の充実	
取組の方向性	002	質の高い幼児教育・保育の充実	
事務事業	027	学校支援総合推進事業〔幼稚園〕	

新規継続区分	継続		
運営方法	直営		
評価区分	対象	主な取組区分	対象外

根拠法令等	
事業概要	<p>(事業概要)</p> <p>各園において幼稚園協力者会議を組織し、幼稚園と地域・保護者がともに協力し合い子どもの育成にあたる。幼稚園運営支援の一方策として、外部人材活用を積極的に行い、子どもとのかかわりや保育環境への働きかけ、安全教育にかかわる取り組みや学校（幼稚園）評価を行う。</p>
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	<p>(事業を取りまく社会環境)</p> <p>社会が複雑多様化し、子どもを取り巻く環境が大きく変化する中、子どもたちに豊かな感性や道徳心、人間関係作りなどの力を育み、社会生活を送るうえで必要な資質、能力、態度を育成することが大切である（見直しや改善等の経過）</p> <p>各園で、家庭、地域が一体となって地域ぐるみで子どもを育てていこうとする取組が推進されている。</p>

【事業分析】

対象(何又は誰を)	市立幼稚園を対象に
目的(何のために)	幼稚園が家庭や地域社会との結びつきを深め、社会全体で子どもを見守る体制をつくるために
手段(どのようなやり方で)	学校（幼稚園）協力者会議を組織・開催するとともに、地域人材の積極的活用の推進を図り
成果(どのような状態にするのか)	大津市学校園経営の指針に掲げる多様性の尊重と一人一人を大切にされた教育を推進し、地域や社会に開かれた園経営を目指す。

【コスト】

(単位：千円)

	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
	決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト	1,375	1,380	1,380	1,370	1,370	1,370	1,370
事業費	265	290	290	280	280	280	280
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0
一般財源	265	290	290	280	280	280	280
人件費計	1,110	1,090	1,090	1,090	1,090	1,090	1,090
事務・技術(人)	0.10	0.10	0.10	0.10	0.10	0.10	0.10
技能労務(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度任用(人)	0.10	0.10	0.10	0.10	0.10	0.10	0.10
嘱託(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0



# 事務事業評価シート（2/2）

248 頁  
令和 5年 9月 5日

整理番号 0083  
 評価年度 令和 4年度 進捗区分 所属評価  
 所属 1447 福祉部子ども未来局幼保支援課  
 事務事業番号 02621 学校支援総合推進事業〔幼稚園〕

## 【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-50-05-15-30-00-02-00	学校支援総合推進事業費〔幼稚園〕	福祉部子ども未来局幼保支援課

## 【定量評価】

指標名	単位	上段：目標値 下段：実績値						
		令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
(活動)学校(幼稚園)協力者会議の開催回数	回	87.00	87.00	87.00	87.00	87.00	87.00	87.00
(成果)子どもの幼稚園満足度	点	70.00	73.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		2.90	2.90	2.90	2.90	2.90	2.90	2.90
		3.00	2.90	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

## 【定性評価】

評価項目	評価の観点	基準	評価
1 妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A 妥当である	A
		B ほぼ妥当である	
		C あまり妥当ではない	
		D 妥当ではない	
評価理由	家庭地域と緊密な連携を図り子どもの育成に取り組んでいる		
2 有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A 上がっている	A
		B やや上がっている	
		C あまり上がっていない	
		D 上がっていない	
評価理由	園教育への協力体制の充実、安全確保への支援等につながっている		
3 効率性	事業手法は効率的であるか	A 効率的である	A
		B やや効率的である	
		C あまり効率的でない	
		D 効率的でない	
評価理由	外部人材活用が人と関わる力の育成や豊かな体験につながっている		
4 施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A 貢献している	A
		B やや貢献している	
		C あまり貢献していない	
		D 貢献していない	
評価理由	関係者評価結果が課題を明確にした取組の一助となっている		
評価理由			

## 【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
所属コメント (400文字)	今後も園と地域、保護者がより緊密な連携を図り、地域の子どもを育成していく協力体制の基盤として、外部人材を活用した事業の推進に努める。		

## 【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
部局コメント (400文字)	幼稚園と地域・保護者がともに協力して子どもの育成を図る上で、幼稚園運営支援の方策として外部人材を活用することは有効であり、引き続き適切な事業の推進に努める。		

# 事務事業評価指標一覧

評価年度 令和 4年度                      進捗区分 所属評価  
 所属 1447                                  福祉部子ども未来局幼保支援課  
 総合計画 03                                大津市総合計画 第2期実行計画  
 事務事業番号 02621                      学校支援総合推進事業〔幼稚園〕

上段：目標値    下段：実績値

指標名	単位	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
(活動)学校(幼稚園)協力者会議の開催回数	回	87.00	87.00	87.00	87.00	87.00	87.00	87.00
		70.00	73.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
指標説明		幼稚園全体における開催回数の合計（各園3回／R3から園）						
(成果)子どもの幼稚園満足度	点	2.90	2.90	2.90	2.90	2.90	2.90	2.90
		3.00	2.90	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
指標説明		学校評価における各園の関係者評価結果の平均点						

# 事務事業評価シート（1/2）

250 頁  
令和 5年 9月 5日

整理番号 0084  
 評価年度 令和 4年度  
 所属 1410  
 事務事業番号 00063

進捗区分 所属評価  
 福祉部子ども未来局保育幼稚園課  
 民間保育施設運営助成事業

所属長名 若林 雄一  
 記入者 金 永学

## 【基本情報】

総合計画	03	大津市総合計画 第2期実行計画				
基本方針	001	子どもから高齢者までが輝いて、魅力あふれるまちを創ります				
基本政策	001	子どもの未来が輝くまちにします				
施策	001	子ども・子育て支援の充実				
取組の方向性	002	質の高い幼児教育・保育の充実				
事務事業	001	民間保育施設運営助成事業				
新規継続区分	継続					
運営方法	その他					
評価区分	対象	主な取組区分	対象			
根拠法令等	保育所等運営補助金交付要綱等					
事業概要	(事業概要) 民間保育所等に対し、障害児保育補助など保育士の加配に要する経費など、運営費の一部を助成をすることで保育の充実を図っていく。					
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	(事業を取りまく社会環境) 少子化や女性就労の対応及び幼児教育・保育の無償化による保育ニーズは年々増加する中で、待機児童解消への期待とともに保育の質の向上が求められる。 (見直しや改善等の経過) 事業計画に基づく民間保育所等の整備強化に伴う保育士等の処遇改善や特別加配等の助成を制度化し、保育の質の向上に資する。					

## 【事業分析】

対象(何又は誰を)	児童福祉法に基づく認可を受けた民間保育所等
目的(何のために)	民間保育所等の保育の充実、公民格差の是正、特別保育事業の実施
手段(どのようなやり方で)	保育所等が実施する各事業の経費を補助することによって
成果(どのような状態にするのか)	民間保育所等の保育の充実が図られ、もって児童福祉の増進を図る。

## 【コスト】

(単位：千円)

	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
	決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト	1,851,123	1,798,170	1,716,523	1,695,747	1,695,747	1,695,747	1,695,747
事業費	1,836,423	1,782,195	1,698,673	1,677,897	1,677,897	1,677,897	1,677,897
国庫支出金	258,062	206,556	206,323	150,603	150,603	150,603	150,603
県支出金	142,284	129,422	148,429	157,628	157,628	157,628	157,628
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	57	0	0	0	0	0	0
一般財源	1,436,020	1,446,217	1,343,921	1,369,666	1,369,666	1,369,666	1,369,666
人件費計	14,700	15,975	17,850	17,850	17,850	17,850	17,850
事務・技術(人)	1.45	1.75	2.05	2.05	2.05	2.05	2.05
技能労務(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度任用(人)	1.00	0.75	0.60	0.60	0.60	0.60	0.60
嘱託(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

# 事務事業評価シート（2/2）

251 頁  
令和 5年 9月 5日

整理番号 0084  
 評価年度 令和 4年度 進捗区分 所属評価  
 所属 1410 福祉部子ども未来局保育幼稚園課  
 事務事業番号 00063 民間保育施設運営助成事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-15-10-20-54-00-01-00	民間保育施設運営助成事業費	福祉部子ども未来局保育幼稚園課

【定量評価】

指標名	単位	上段：目標値 下段：実績値						
		令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
(活動) 年度当初入所定員数	人	7,093.00	7,083.00	7,083.00	7,043.00	7,043.00	7,043.00	7,043.00
		7,093.00	7,083.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果) 障害児受入園	園	65.00	69.00	70.00	70.00	70.00	70.00	70.00
		69.00	70.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果) 年度当初受入児童数	人	7,021.00	7,061.00	7,061.00	7,061.00	7,061.00	7,061.00	7,061.00
		6,993.00	7,061.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

【定性評価】

評価項目	評価の観点	基準	評価
1 妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A 妥当である	A
		B ほぼ妥当である	
		C あまり妥当ではない	
		D 妥当ではない	
		評価理由	
2 有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A 上がっている	A
		B やや上がっている	
		C あまり上がっていない	
		D 上がっていない	
		評価理由	
3 効率性	事業手法は効率的であるか	A 効率的である	A
		B やや効率的である	
		C あまり効率的でない	
		D 効率的でない	
		評価理由	
4 施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A 貢献している	A
		B やや貢献している	
		C あまり貢献していない	
		D 貢献していない	
		評価理由	
評価理由			

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
所属コメント (400文字)	本事業における幾つかの各補助事業について見直し二年目となるが、各保育施設の各事業補助金の活用が見られ、これにより保育士等職員の確保や処遇の改善が実施されたといえる。一部の事業については見込を若干下回る実績であったため、活用を促進するとともに効果の検証等を引き続き行っていく。		

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
部局コメント (400文字)	大津市総合計画の第2期実行計画でも質の高い幼児教育・保育の充実のため、民間保育施設運営助成の実施が掲げられており、保育環境の充実や保育士の処遇改善といった“保育の質の向上”を目指した支援を行うとともに、より効果的な補助制度となるよう継続的に検証を行う。		

# 事務事業評価指標一覧

評価年度      令和 4年度                              進捗区分      所属評価  
 所属              1410                              福祉部子ども未来局保育幼稚園課  
 総合計画        03                              大津市総合計画 第2期実行計画  
 事務事業番号   00063                              民間保育施設運営助成事業

上段：目標値    下段：実績値

指標名	単位	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
（活動）年度当初入所定員数	人	7,093.00	7,083.00	7,083.00	7,043.00	7,043.00	7,043.00	7,043.00
	指標説明	4月1日時点の保育所及び認定こども園の保育利用定員数						
（成果）障害児受入園	園	65.00	69.00	70.00	70.00	70.00	70.00	70.00
	指標説明	4月1日時点の保育所及び認定こども園の障害認定児童受入園数						
（成果）年度当初受入児童数	人	7,021.00	7,061.00	7,061.00	7,061.00	7,061.00	7,061.00	7,061.00
	指標説明	4月1日時点の保育所及び認定こども園の保育利用園児数						

# 事務事業評価シート（1/2）

253 頁  
令和 5年 9月 5日

整理番号 0085  
 評価年度 令和 4年度  
 所属 1410  
 事務事業番号 02405

進捗区分 所属評価  
 福祉部子ども未来局保育幼稚園課  
 病児・病後児保育事業

所属長名 若林 雄一  
 記入者 金 永学

【基本情報】

総合計画	03	大津市総合計画 第2期実行計画				
基本方針	001	子どもから高齢者までが輝いて、魅力あふれるまちを創ります				
基本政策	001	子どもの未来が輝くまちにします				
施策	001	子ども・子育て支援の充実				
取組の方向性	002	質の高い幼児教育・保育の充実				
事務事業	003	病児・病後児保育事業				
新規継続区分	継続					
運営方法	その他					
評価区分	対象	主な取組区分	対象			
根拠法令等	児童福祉法					
事業概要	(事業概要) 国庫補助金を活用して、病児・病後児保育の実施経費を民間施設に補助する。					
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	(事業を取りまく社会環境) 少子化への対策及び女性就労の促進により多様な保育サービスが求められている。 (見直しや改善等の経過) 病児保育について、法の規定に基づき、整備された保育所等に対して国の補助金を活用している。 国補助金の補助基本単価の増額や加算の追加等、本事業にかかる状況等に応じて都度見直しが行われている。					

【事業分析】

対象(何又は誰を)	病児保育を実施する民間施設
目的(何のために)	多様化する保育ニーズに対応するため
手段(どのようなやり方で)	国等の補助制度を活用し経費の一部を補助することによって
成果(どのような状態にするのか)	多くの方が病児・病後児保育を利用できる状態にする。

【コスト】

(単位：千円)

	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
	決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト	62,969	64,946	114,431	63,108	63,108	63,108	63,108
事業費	62,014	64,011	113,496	62,173	62,173	62,173	62,173
国庫支出金	21,315	21,328	38,303	20,707	20,707	20,707	20,707
県支出金	19,608	21,328	37,803	20,707	20,707	20,707	20,707
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0
一般財源	21,091	21,355	37,390	20,759	20,759	20,759	20,759
人件費計	955	935	935	935	935	935	935
事務・技術(人)	0.10	0.10	0.10	0.10	0.10	0.10	0.10
技能労務(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度任用(人)	0.05	0.05	0.05	0.05	0.05	0.05	0.05
嘱託(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

# 事務事業評価シート（2/2）

254 頁  
令和 5年 9月 5日

整理番号 0085  
 評価年度 令和 4年度 進捗区分 所属評価  
 所属 1410 福祉部子ども未来局保育幼稚園課  
 事務事業番号 02405 病児・病後児保育事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称

【定量評価】		上段：目標値 下段：実績値						
指標名	単位	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
(活動)病児・病後児保育実施施設数	箇所	6.00	6.00	6.00	6.00	6.00	6.00	6.00
		6.00	6.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果)病児・病後児保育延利用者数	人	2,215.00	2,154.00	2,154.00	2,154.00	2,154.00	2,154.00	2,154.00
		1,290.00	1,675.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

【定性評価】		評価項目		評価の観点		基準		評価	
1	妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A	妥当である	A	妥当である	A	A	A
			B	ほぼ妥当である					
			C	あまり妥当ではない					
			D	妥当ではない					
評価理由		法の規定に基づく事業であり妥当である							
2	有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A	上がっている	A	上がっている	A	A	A
			B	やや上がっている					
			C	あまり上がっていない					
			D	上がっていない					
評価理由		保育ニーズでも特に必要とされることから有効である							
3	効率性	事業手法は効率的であるか	A	効率的である	A	効率的である	A	A	A
			B	やや効率的である					
			C	あまり効率的でない					
			D	効率的でない					
評価理由		国の補助金を活用して補助することから有効である							
4	施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A	貢献している	A	貢献している	A	A	A
			B	やや貢献している					
			C	あまり貢献していない					
			D	貢献していない					
評価理由		子育て環境の充実には欠かせない保育サービスであり貢献している							
評価理由									

【所属評価結果】			
総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
所属コメント (400文字)	病児対応型施設は市内で6箇所運営されていたが、大津市北部地域において病児保育事業を実施していた事業者が、令和5年3月末をもって事業を廃止したことから、令和5年度には北部地域で病児保育事業者の選定を行なうこととなった。 また、新型コロナウイルス感染症拡大の影響から延べ利用者数が増加していた前年度と比べ利用数が増加しており、引き続き事業を継続していく必要があると考える。		

【部局評価結果】			
総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
部局コメント (400文字)	病児保育事業は、大津市子ども・若者支援計画の中で「多様なニーズに応じた教育・保育サービスの充実」の施策の一つとなっており、保護者の就労等で病気の子どもの自宅での保育できない場合のニーズに応える重要な事業であり、継続して事業を実施していく必要がある。		

# 事務事業評価指標一覧

評価年度 令和 4年度      進捗区分 所属評価  
 所属 1410      福祉部子ども未来局保育幼稚園課  
 総合計画 03      大津市総合計画 第2期実行計画  
 事務事業番号 02405      病児・病後児保育事業

上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
(活動) 病児・病後児保育実施施設数	箇所	6.00	6.00	6.00	6.00	6.00	6.00	6.00
	指標説明	年度末現在						
(成果) 病児・病後児保育延利用者数	人	2,215.00	2,154.00	2,154.00	2,154.00	2,154.00	2,154.00	2,154.00
	指標説明	当該年度における利用者数						



# 事務事業評価シート（1/2）

256 頁  
令和 5年 9月 5日

整理番号 0086  
 評価年度 令和 4年度  
 所属 1410  
 事務事業番号 02439

進捗区分 所属評価  
 福祉部子ども未来局保育幼稚園課  
 一時預かり事業

所属長名 若林 雄一  
 記入者 金 永学

## 【基本情報】

総合計画	03	大津市総合計画 第2期実行計画				
基本方針	001	子どもから高齢者までが輝いて、魅力あふれるまちを創ります				
基本政策	001	子どもの未来が輝くまちにします				
施策	001	子ども・子育て支援の充実				
取組の方向性	002	質の高い幼児教育・保育の充実				
事務事業	004	一時預かり事業				
新規継続区分	継続					
運営方法	その他					
評価区分	対象	主な取組区分	対象			
根拠法令等	児童福祉法					
事業概要	(事業概要) 国等の補助制度を活用し、一時預かり事業を実施する民間保育所等に対して経費の一部を補助する。					
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	(事業を取りまく社会環境) 少子化への対策及び女性就労の促進により多様化する保育ニーズの中で、一時預かりを求める声が大きくなっている。 (見直しや改善等の経過) 一時預かり保育について、法の規定に基づき、国の補助金が活用されている。 国補助金の補助基本単価の増額や加算の追加等、本事業にかかる状況等に応じて都度見直しが行われている。					

## 【事業分析】

対象(何又は誰を)	一時預かり事業を実施する民間保育所
目的(何のために)	多様な保育ニーズに対応するため
手段(どのようなやり方で)	国等の補助制度を活用して経費の一部を補助することによって
成果(どのような状態にするのか)	一時預かり事業の実施を促進し、多くの方が一時預かり事業を利用できる状態にする。

## 【コスト】

(単位：千円)

	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
	決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト	121,625	117,069	118,083	115,043	115,043	115,043	115,043
事業費	121,070	116,289	117,303	114,263	114,263	114,263	114,263
国庫支出金	43,911	43,664	42,071	38,087	38,087	38,087	38,087
県支出金	38,224	38,763	39,101	38,087	38,087	38,087	38,087
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0
一般財源	38,935	33,862	36,131	38,089	38,089	38,089	38,089
人件費計	555	780	780	780	780	780	780
事務・技術(人)	0.05	0.10	0.10	0.10	0.10	0.10	0.10
技能労務(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度任用(人)	0.05	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
嘱託(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

# 事務事業評価シート（2/2）

257 頁  
令和 5年 9月 5日

整理番号 0086  
 評価年度 令和 4年度 進捗区分 所属評価  
 所属 1410 福祉部子ども未来局保育幼稚園課  
 事務事業番号 02439 一時預かり事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-15-10-20-54-00-07-00	一時預かり事業費	福祉部子ども未来局保育幼稚園課

【定量評価】

指標名	単位	上段：目標値 下段：実績値						
		令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
(活動)一時預かり事業 実施施設数	箇所	43.00	44.00	48.00	48.00	48.00	48.00	48.00
		44.00	48.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果)一時預かり事業 延べ利用人数	人	26,500.00	36,071.00	46,255.00	46,255.00	46,255.00	46,255.00	46,255.00
		36,071.00	46,255.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

【定性評価】

評価項目	評価の観点	基準	評価
1 妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A 妥当である	A
		B ほぼ妥当である	
		C あまり妥当ではない	
		D 妥当ではない	
評価理由	法の規定に基づき、国の補助金を活用することは妥当である		
2 有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A 上がっている	A
		B やや上がっている	
		C あまり上がっていない	
		D 上がっていない	
評価理由	女性就労の促進等から、有効な事業である		
3 効率性	事業手法は効率的であるか	A 効率的である	A
		B やや効率的である	
		C あまり効率的でない	
		D 効率的でない	
評価理由	国の補助金等を活用して補助することから効率的である		
4 施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A 貢献している	A
		B やや貢献している	
		C あまり貢献していない	
		D 貢献していない	
評価理由	女性就労の促進など、子育て環境の充実に貢献している		
評価理由			

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
所属コメント (400文字)	保育士不足のため拡充を図ることが難しい現状であるが、一時預かり事業は一定の需要が見込まれることから、今後も一時預かり事業の実施を推進していく。また、幼稚園型一時預かりについては、認定こども園の増加に伴い利用数が年々増加しており、今後も動向を注視していく。		

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
部局コメント (400文字)	一時預かり事業は、保護者の所用だけでなく育児疲れの解消など、多様なニーズに対応した事業である。また、認定こども園に移行する保育所が増えるなかで、幼稚園型の預かり保育の需要が伸びており、今後も補助を継続し保護者のニーズに応じていく必要がある。		

# 事務事業評価指標一覧

評価年度 令和 4年度 進捗区分 所属評価  
 所属 1410 福祉子ども未来局保育幼稚園課  
 総合計画 03 大津市総合計画 第2期実行計画  
 事務事業番号 02439 一時預かり事業

上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
(活動)一時預かり事業 実施施設数	箇所	43.00	44.00	48.00	48.00	48.00	48.00	48.00
	指標説明	年度末現在						
(成果)一時預かり事業 延べ利用人数	人	26,500.00	36,071.00	46,255.00	46,255.00	46,255.00	46,255.00	46,255.00
	指標説明	年度末現在						

# 事務事業評価シート（1/2）

259 頁  
令和 5年 9月 5日

整理番号 0087  
 評価年度 令和 4年度  
 所属 1406  
 事務事業番号 00025

進捗区分 評価完了  
 所属長名 藤川 義則  
 記入者 宇田 むつみ

福祉部子ども未来局子ども家庭課  
 母子父子福祉対策事業

## 【基本情報】

総合計画	03	大津市総合計画 第2期実行計画		
基本方針	001	子どもから高齢者までが輝いて、魅力あふれるまちを創ります		
基本政策	002	心豊かに暮らせる、福祉が充実したまちにします		
施策	006	安定した社会保障制度の運営		
取組の方向性	002	自立支援の推進		
事務事業	003	母子父子福祉対策事業		
新規継続区分	継続			
運営方法	その他			
評価区分	対象	主な取組区分	対象外	
根拠法令等	大津市寡婦福祉住宅条例			
事業概要	(事業概要) 母子・父子家庭等の自立促進と福祉の増進を図るため、各種事業を推進する。 寡婦福祉住宅事業（7戸） 母子福祉団体の育成事業（大津市母子福祉のぞみ会） 母子家庭等の相談事業（母子父子自立支援員2名、ひとり親家庭福祉推進員54名） ひとり親家庭子育て臨時給付金事業（市単独事業）			
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	(事業を取りまく社会環境) 新型コロナウイルス感染症の拡大以降、減収や無収入となるひとり親家庭が増加傾向にある上に、物価高騰により安定した生活を営む見通しが持ちにくくなっており、子どもの貧困問題が大きな課題となっている。 (見直しや改善等の経過) 寡婦福祉住宅の廃止に向けて、現入居者に機会を見つけて退去の話をしている。 令和2年度から令和4年度において、新型コロナ感染症及び物価高騰対策の一環として、ひとり親家庭に対し、臨時給付金を支給。			

## 【事業分析】

対象(何又は誰を)	母子家庭、父子家庭および寡婦の
目的(何のために)	生活の安定と福祉促進を図るために
手段(どのようなやり方で)	生活全般の相談を受け、情報提供や支援を行うとともに、母子福祉団体団体への補助を行うことで
成果(どのような状態にするのか)	母子・父子家庭、寡婦が安心して生活し、児童が健全に養育されるようになる

## 【コスト】

(単位：千円)

	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
	決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト	299,495	92,500	5,960	5,773	15,444	5,381	5,421
事業費	285,211	89,762	2,442	2,255	11,926	1,863	1,903
国庫支出金	252,264	67,374	0	0	0	120	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	216	177	216	108	108	108	108
一般財源	32,731	22,211	2,226	2,147	11,818	1,635	1,795
人件費計	14,284	2,738	3,518	3,518	3,518	3,518	3,518
事務・技術(人)	1.15	0.20	0.30	0.30	0.30	0.30	0.30
技能労務(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度任用(人)	1.64	0.38	0.38	0.38	0.38	0.38	0.38
嘱託(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

# 事務事業評価シート（2/2）

260 頁  
令和 5年 9月 5日

整理番号 0087  
 評価年度 令和 4年度 進捗区分 評価完了  
 所属 1406 福祉部子ども未来局子ども家庭課  
 事務事業番号 00025 母子父子福祉対策事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-15-10-25-87-00-01-00	母子父子福祉対策事業費	福祉部子ども未来局子ども家庭課

【定量評価】

指標名	単位	上段：目標値 下段：実績値						
		令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
(活動) 寡婦住宅の入居者の年間延べ人数	人	24.00	24.00	12.00	12.00	12.00	12.00	12.00
		24.00	20.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(活動) 母子福祉団体補助金の年間支給額	千円	500.00	500.00	500.00	500.00	500.00	500.00	500.00
		203.00	238.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果) 寡婦住宅の入所率	%	29.00	29.00	14.29	14.29	14.29	14.29	14.29
		29.00	23.81	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果) 母子福祉団体の事業参加人数	人	250.00	250.00	250.00	250.00	250.00	250.00	250.00
		218.00	173.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

【定性評価】

評価項目	評価の観点	基準	評価
1 妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A 妥当である	A
		B ほぼ妥当である	
		C あまり妥当ではない	
		D 妥当ではない	
評価理由	団体は生活支援を積極的に展開している		
2 有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A 上がっている	B
		B やや上がっている	
		C あまり上がっていない	
		D 上がっていない	
評価理由	生活支援と情報提供により自立を支援している		
3 効率性	事業手法は効率的であるか	A 効率的である	B
		B やや効率的である	
		C あまり効率的でない	
		D 効率的でない	
評価理由	さまざまな方法で支援に繋げている		
4 施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A 貢献している	B
		B やや貢献している	
		C あまり貢献していない	
		D 貢献していない	
評価理由	自立に向けた相談支援を行っている		
評価理由			

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
所属コメント (400文字)	子どもの貧困対策としてフードパントリー事業を展開するなど、母子福祉団体も積極的に活動を広げており、市としても広報などに協力していく。ひとり親家庭福祉推進員の相談活動については、現状を維持しつつ、各方面の意見を聞きながらその活動内容について検討をしていく。		

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
部局コメント (400文字)	ひとり親家庭の相談事業や支援の充実に向け、関係団体や関係機関との連携を図っていく。		

# 事務事業評価指標一覧

評価年度 令和 4年度 進捗区分 評価完了  
 所属 1406 福祉部子ども未来局子ども家庭課  
 総合計画 03 大津市総合計画 第2期実行計画  
 事務事業番号 00025 母子父子福祉対策事業

上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
(活動) 寡婦住宅の入居者の年間延べ人数	人	24.00	24.00	12.00	12.00	12.00	12.00	12.00
	指標説明	寡婦福祉住宅7戸中の入所者(月/年)						
(活動) 母子福祉団体補助金の年間支給額	千円	500.00	500.00	500.00	500.00	500.00	500.00	500.00
	指標説明	大津市母子福祉のぞみ会活動補助金額 令和4年度は新型コロナウイルス感染症等の影響により未実施事業あり						
(成果) 寡婦住宅の入所率	%	29.00	29.00	14.29	14.29	14.29	14.29	14.29
	指標説明	寡婦福祉住宅7戸中に入所率						
(成果) 母子福祉団体の事業参加人数	人	250.00	250.00	250.00	250.00	250.00	250.00	250.00
	指標説明	母と子のスポーツ大会・母子寡婦福祉大会、ふれあい広場他 令和4年度は新型コロナウイルス感染症及びインフルエンザの影響により未実施事業多数あり						

# 事務事業評価シート（1/2）

262 頁  
令和 5年 9月 5日

整理番号 0088  
 評価年度 令和 4年度  
 所属 1406  
 事務事業番号 00029

進捗区分 評価完了  
 福祉部子ども未来局子ども家庭課  
 母子家庭等自立支援事業

所属長名 藤川 義則  
 記入者 宇田 むつみ

## 【基本情報】

総合計画	03	大津市総合計画 第2期実行計画				
基本方針	001	子どもから高齢者までが輝いて、魅力あふれるまちを創ります				
基本政策	002	心豊かに暮らせる、福祉が充実したまちにします				
施策	006	安定した社会保障制度の運営				
取組の方向性	002	自立支援の推進				
事務事業	007	母子家庭等自立支援事業				
新規継続区分	継続					
運営方法	その他					
評価区分	対象	主な取組区分	対象			
根拠法令等	自立支援教育訓練給付金事業実施要綱ほか					
事業概要	(事業概要) 母子父子自立支援員2名を配置し、母子家庭等の抱える問題の解決に指導助言し自立を支援する。自立支援教育訓練給付金は、母子家庭の母等が就労に有利な資格を取得のため教育訓練を受講する場合、その受講料の60%（下限：上限あり）を給付金として支給する。高等職業訓練促進給付金は、特定の資格取得を目指し修業する母等を支援することを目的に、訓練促進費を支給。また、日常生活支援については、生活支援などに支援が必要な家庭に支援員を派遣する。					
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	(事業を取りまく社会環境) 母子家庭の就労については、就労率は高くても収入ベースでは非正規雇用をはじめ、低い水準の状態が改善されずにいる。新型コロナウイルス感染症の拡大以降、再就職や養育費確保に関する相談は増えており、ひとり親家庭が不安定な雇用状態に置かれている状況は変わらない。 (見直しや改善等の経過) 国の制度に基づく改定を随時実施。平成31年度には自立支援教育訓練給付金の対象講座の拡大及び支給上限額の引き上げを行い、高等職業訓練促進給付金では、支給額の拡大を行った。					

## 【事業分析】

対象(何又は誰を)	母子家庭の母及び父子家庭の父に対し
目的(何のために)	安定した生活を確保するため
手段(どのようなやり方で)	資格取得に向けた給付金・訓練促進給付金の支給を行い、あるいは生活支援員を派遣することで
成果(どのような状態にするのか)	安定・高収入の就労ができ、生活を安定させることができるようになる

## 【コスト】

(単位：千円)

	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
	決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト	43,588	28,173	37,872	33,634	38,364	38,364	38,364
事業費	38,292	25,213	34,912	30,674	35,404	35,404	35,404
国庫支出金	26,088	18,889	26,053	22,874	26,421	26,421	26,421
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	3	37	7	20	20	20	20
一般財源	12,201	6,287	8,852	7,780	8,963	8,963	8,963
人件費計	5,296	2,960	2,960	2,960	2,960	2,960	2,960
事務・技術(人)	0.60	0.30	0.30	0.30	0.30	0.30	0.30
技能労務(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度任用(人)	0.16	0.20	0.20	0.20	0.20	0.20	0.20
嘱託(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

# 事務事業評価シート（2/2）

263 頁  
令和 5年 9月 5日

整理番号 0088  
 評価年度 令和 4年度 進捗区分 評価完了  
 所属 1406 福祉部子ども未来局子ども家庭課  
 事務事業番号 00029 母子家庭等自立支援事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-15-10-25-87-00-09-00	母子家庭等自立支援事業費	福祉部子ども未来局子ども家庭課

【定量評価】

指標名	単位	上段：目標値 下段：実績値						
		令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
(活動) 自立支援給付金及び高等職業訓練促進給付金支給額	千円	56,721.00	35,000.00	34,000.00	30,000.00	34,000.00	34,000.00	34,000.00
(活動) 自立支援給付金及び高等職業訓練促進給付金の対象者数	人	50.00	50.00	50.00	50.00	50.00	50.00	50.00
(成果) 自立支援給付金及び高等職業訓練促進給付金の支給者数	人	32.00	33.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果) 母子父子自立支援員の年間延べ相談件数	人	25.00	25.00	25.00	25.00	25.00	25.00	25.00
		20.00	11.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		2,000.00	2,000.00	2,000.00	2,000.00	2,000.00	2,000.00	2,000.00
		1,659.00	1,896.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

【定性評価】

評価項目	評価の観点	基準	評価
1 妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A 妥当である	A
		B ほぼ妥当である	
		C あまり妥当ではない	
		D 妥当ではない	
評価理由	就労に結びつく資格の取得機会を増やしている		
2 有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A 上がっている	B
		B やや上がっている	
		C あまり上がっていない	
		D 上がっていない	
評価理由	給付金受給者は資格を活かし就労している		
3 効率性	事業手法は効率的であるか	A 効率的である	A
		B やや効率的である	
		C あまり効率的でない	
		D 効率的でない	
評価理由	経済的に安心して資格取得に向け修学できている		
4 施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A 貢献している	A
		B やや貢献している	
		C あまり貢献していない	
		D 貢献していない	
評価理由	安定した就労に結びついている		
評価理由			

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
所属コメント (400文字)	資格取得により確実に生活安定に結びつくよう、個人の家庭状況にあった資格取得にむけ、相談支援を強化する。本人の不利益にならないよう、ハローワークでの就労支援制度の利用も合わせ、経済的に無理のない資格取得に向けた支援を展開する。日常生活支援については、一時的な支援を基本しつつ、委託団体と連携しながら、ひとり親家庭の安定した生活につながるよう、相談に乗っていく。		

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
部局コメント (400文字)	資格取得が確実に生活安定に結びつくよう、各種制度の利用も含め、適切な支援を継続していく。		





# 事務事業評価シート（1/2）

265 頁  
令和 5年 9月 5日

整理番号 0089  
 評価年度 令和 4年度  
 所属 1406  
 事務事業番号 00030

進捗区分 評価完了  
 福祉部子ども未来局子ども家庭課  
 母子家庭等就業・自立支援センター運営事業

所属長名 藤川 義則  
 記入者 小島 翔太

## 【基本情報】

総合計画	03	大津市総合計画 第2期実行計画				
基本方針	001	子どもから高齢者までが輝いて、魅力あふれるまちを創ります				
基本政策	002	心豊かに暮らせる、福祉が充実したまちにします				
施策	006	安定した社会保障制度の運営				
取組の方向性	002	自立支援の推進				
事務事業	008	母子家庭等就業・自立支援センター運営事業				
新規継続区分	継続					
運営方法	直営					
評価区分	対象	主な取組区分	対象			

根拠法令等	大津市母子家庭等就業・自立支援センター事業実施要綱他				
事業概要	(事業概要) 母子家庭の母を取り巻く生活環境は大変厳しいことから、不安定な就労や、資格等のスキルを持たない母子家庭の母等に対し、家庭状況、職業適正、就業経験等に応じた就業相談を実施。就業に結びつきやすい就業支援講習会、公共職業安定所等職業紹介機関と連携した就業情報の提供を行うと同時に、離婚前相談や養育費確保に向けた、弁護士・司法書士による特別相談等の事業を実施し、ひとり親家庭の生活の安定を確保し、児童の福祉の増進を図る。				
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	(事業を取りまく社会環境) 新型コロナウイルス感染症の拡大以降、ひとり親家庭の就労状況は厳しくなっている。養育費の減額や未払い、減収に追い打ちをかけるように物価高騰が家計を圧迫している。収入増に向けた就労相談も多く、家計改善も合わせ、安定した生活に向けた包括的な相談支援が求められている。 (見直しや改善等の経過) 平成26年度にセンター事業を委託から直営に戻し、利用者の利便性の向上と他の相談員との連携向上に努めた。平成30年度からは養育費支援事業を拡大し令和2年度より養育費確保の新規事業を開始。				

## 【事業分析】

対象(何又は誰を)	母子家庭の母、父子家庭の父等（DV被害により、止むを得ない事情により離婚の届出を行っていないもの等を含む）及び離婚を考えている者に対して
目的(何のために)	ひとり親家庭としての生活の安定と児童の福祉増進を図るため
手段(どのようなやり方で)	①職業相談及び就業情報の提供②就業支援講習会などの実施③公共職業訓練受講の案内④母子・父子自立支援プログラム策定⑤特別相談（弁護士・司法書士による法律相談）⑥養育費確保に向けた支援等を実施することで
成果(どのような状態にするのか)	新規就職、雇用条件の向上、養育費の確保ができ経済的に安定した生活を送れるようになる

## 【コスト】

(単位：千円)

	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
	決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト	9,940	9,969	12,799	13,589	13,589	13,589	13,589
事業費	2,580	2,715	4,367	5,157	5,157	5,157	5,157
国庫支出金	1,571	1,224	2,287	2,558	2,558	2,558	2,558
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	20	30	43	40	40	40	40
一般財源	989	1,461	2,037	2,559	2,559	2,559	2,559
人件費計	7,360	7,254	8,432	8,432	8,432	8,432	8,432
事務・技術(人)	0.30	0.31	0.31	0.31	0.31	0.31	0.31
技能労務(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度任用(人)	1.60	1.56	1.94	1.94	1.94	1.94	1.94
嘱託(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

# 事務事業評価シート（2/2）

266 頁  
令和 5年 9月 5日

整理番号 0089  
 評価年度 令和 4年度 進捗区分 評価完了  
 所属 1406 福祉部子ども未来局子ども家庭課  
 事務事業番号 00030 母子家庭等就業・自立支援センター運営事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-15-10-25-87-00-10-00	母子家庭等就業・自立支援センター運営事業費	福祉部子ども未来局子ども家庭課

【定量評価】

指標名	単位	上段：目標値 下段：実績値						
		令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
(活動)センターでの相談件数	件	500.00	800.00	700.00	700.00	700.00	700.00	700.00
		763.00	608.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(活動)就労支援講習会参加数	人	24.00	45.00	45.00	60.00	60.00	60.00	60.00
		20.00	45.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果)就労相談による新規就職・雇用条件向上件数	件	50.00	50.00	50.00	50.00	50.00	50.00	50.00
		38.00	43.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

【定性評価】

評価項目	評価の観点	基準	評価
1 妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A 妥当である	A
		B ほぼ妥当である	
		C あまり妥当ではない	
		D 妥当ではない	
評価理由	生活の安定のため就労の支援は必要		
2 有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A 上がっている	B
		B やや上がっている	
		C あまり上がっていない	
		D 上がっていない	
評価理由	コロナ等の影響を受けつつも新規就労に繋げている		
3 効率性	事業手法は効率的であるか	A 効率的である	A
		B やや効率的である	
		C あまり効率的でない	
		D 効率的でない	
評価理由	個別相談に応じることで、就労に繋がりがやすい		
4 施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A 貢献している	A
		B やや貢献している	
		C あまり貢献していない	
		D 貢献していない	
評価理由	安定した就労によりひとり親の自立を推進させている		
評価理由			

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
所属コメント (400文字)	新型コロナウイルス感染症の拡大以降、離婚前相談や就労相談に加え生活相談が増える中、ひとり親の自立に向けた包括的な支援の必要性が高まっている。支援員の知識・経験の向上に努めるとともに、他の相談員、他機関・他団体との連携を密にし、ひとり親家庭の安定した生活に向けた支援を強化していく。また、養育費や面会交流に対する意識の向上に努め、児童の健全な育成に向けた支援を行う。		

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
部局コメント (400文字)	より包括的にひとり親家庭の相談にのれるよう、相談員同士や他機関・他団体との連携を密にし、経済的安定から自立に結びつく支援を行っていく。		

# 事務事業評価指標一覧

評価年度 令和 4年度 進捗区分 評価完了  
 所属 1406 福祉子ども未来局子ども家庭課  
 総合計画 03 大津市総合計画 第2期実行計画  
 事務事業番号 00030 母子家庭等就業・自立支援センター運営事業

上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
(活動)センターでの相談件数	件	500.00	800.00	700.00	700.00	700.00	700.00	700.00
	指標説明	763.00	608.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		母子家庭等就業・自立支援センターでの母子家庭の母等の就労相談や離婚前相談等の件数（来所相談延件数） ※離婚前相談等が追加されているため、令和4年度より指標名を変更する。						
(活動)就労支援講習会参加数	人	24.00	45.00	45.00	60.00	60.00	60.00	60.00
	指標説明	20.00	45.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		センターが実施する就労支援講習会への参加数。令和4年度より講座数が増加している。（2講座→3講座）						
(成果)就労相談による新規就職・雇用条件向上件数	件	50.00	50.00	50.00	50.00	50.00	50.00	50.00
	指標説明	38.00	43.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		就労相談、プログラム策定後の新規採用・雇用条件向上した者の件数						

# 事務事業評価シート（1/2）

268 頁  
令和 5年 9月 5日

整理番号 0090  
評価年度 令和 4年度  
所属 1406  
事務事業番号 00035

進捗区分 評価完了  
福祉部子ども未来局子ども家庭課  
母子父子寡婦福祉資金貸付事業

所属長名 藤川 義則  
記入者 小島 翔太

## 【基本情報】

総合計画	03	大津市総合計画 第2期実行計画				
基本方針	001	子どもから高齢者までが輝いて、魅力あふれるまちを創ります				
基本政策	002	心豊かに暮らせる、福祉が充実したまちにします				
施策	006	安定した社会保障制度の運営				
取組の方向性	002	自立支援の推進				
事務事業	012	母子父子寡婦福祉資金貸付事業				
新規継続区分	継続					
運営方法	直営					
評価区分	対象	主な取組区分	対象外			
根拠法令等	母子及び父子並びに寡婦福祉法					
事業概要	<p>(事業概要)</p> <p>母子父子寡婦福祉資金貸付事業は、平成21年度、本市の中核市移行に伴い滋賀県から権限移譲された事業であり、母子及び父子並びに寡婦福祉法第13条等に基づき、母子家庭等の経済的自立の助成と生活意欲の助長を図り、併せて、その扶養している児童の福祉の増進を図るため修学資金を始めとした各種貸付を行う。</p>					
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	<p>(事業を取りまく社会環境)</p> <p>ひとり親家庭は、平均収入が全国平均より低く、とりわけ母子家庭ではその傾向が強く、十分な貯蓄ができない場合が多い。そのため、修学資金など生活費以外の費用に対応できない家庭がある。一方、低所得の家庭への修学機会の拡大を図るため、学費等の給付金制度が充実してきている。</p> <p>(見直しや改善等の経過)</p> <p>国の制度改正に基づき見直しを実施。平成26年度より父子家庭にも対象拡大。平成28年度一部の貸付について貸付限度額の引き上げ。平成30年度、大学院の修学資金等の貸付が可能となった。</p>					

## 【事業分析】

対象(何又は誰を)	母子父子家庭の母父又はその扶養している児童及び寡婦の
目的(何のために)	経済的自立の助成と生活意欲の助長を図り、その扶養している児童の福祉の増進を図るため
手段(どのようなやり方で)	修学資金等について貸し付けることで
成果(どのような状態にするのか)	自立生活を目指すことができる

## 【コスト】

(単位：千円)

	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
	決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト	61,342	72,374	118,822	117,932	117,932	117,932	117,932
事業費	53,914	64,754	110,890	110,000	110,000	110,000	110,000
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	53,914	64,754	110,890	110,000	110,000	110,000	110,000
一般財源	0	0	0	0	0	0	0
人件費計	7,428	7,620	7,932	7,932	7,932	7,932	7,932
事務・技術(人)	0.51	0.50	0.54	0.54	0.54	0.54	0.54
技能労務(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度任用(人)	1.08	1.20	1.20	1.20	1.20	1.20	1.20
嘱託(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

# 事務事業評価シート（2/2）

269 頁  
令和 5年 9月 5日

整理番号 0090  
 評価年度 令和 4年度 進捗区分 評価完了  
 所属 1406 福祉部子ども未来局子ども家庭課  
 事務事業番号 00035 母子父子寡婦福祉資金貸付事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
32-05-05-10-20-00-01-00	母子父子寡婦福祉資金貸付金	福祉部子ども未来局子ども家庭課

【定量評価】

指標名	単位	上段：目標値 下段：実績値						
		令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
(活動)口座振替件数	件	5,000.00	5,100.00	5,100.00	5,100.00	5,100.00	5,100.00	5,100.00
		5,018.00	4,975.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果)修学資金の新貸付件数	件	40.00	30.00	20.00	20.00	20.00	20.00	20.00
		20.00	15.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(活動)母子父子寡婦福祉資金貸付金貸付額	千円	80,000.00	55,000.00	60,000.00	60,000.00	60,000.00	60,000.00	60,000.00
		53,914.00	58,754.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果)元利償還金収納率	%	70.00	70.00	70.00	70.00	70.00	70.00	70.00
		61.80	59.45	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

【定性評価】

評価項目	評価の観点	基準	評価
1 妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A 妥当である	A
		B ほぼ妥当である	
		C あまり妥当ではない	
		D 妥当ではない	
評価理由	教育保障や生活の安定のための手段となっている		
2 有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A 上がっている	A
		B やや上がっている	
		C あまり上がっていない	
		D 上がっていない	
評価理由	資金が確保できることにより、自立や意欲向上に結びついている		
3 効率性	事業手法は効率的であるか	A 効率的である	B
		B やや効率的である	
		C あまり効率的でない	
		D 効率的でない	
評価理由	貸付がひとり親家庭の負担とならないよう事前相談を行っている		
4 施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A 貢献している	A
		B やや貢献している	
		C あまり貢献していない	
		D 貢献していない	
評価理由	将来的な経済自立、生活意欲の向上につながっている		
評価理由			

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
所属コメント (400文字)	ひとり親家庭の経済的自立と生活意欲の向上を図るため、引き続き適正な貸付を行う。貸付についての相談を受ける中で、家計の見直しや健全なライフプランへの認識など、自立した生活へとつながる支援に努め、家庭が抱える課題を見つけ、他の相談員と協力しながら課題解決につなげる。償還が滞っている家庭については、現状を確認しながら償還金の徴収に努めていく。		

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
部局コメント (400文字)	ひとり親家庭が自立した生活を送れるよう、相談にのりながら適切な貸付を行う。償還方法等について相談にのりながら、確実に徴収できるよう努める。		

# 事務事業評価指標一覧

270 頁  
令和 5年 9月 5日

評価年度 令和 4年度 進捗区分 評価完了  
 所属 1406 福祉子ども未来局子ども家庭課  
 総合計画 03 大津市総合計画 第2期実行計画  
 事務事業番号 00035 母子父子寡婦福祉資金貸付事業

上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
(活動)口座振替件数	件	5,000.00	5,100.00	5,100.00	5,100.00	5,100.00	5,100.00	5,100.00
	指標説明	5,018.00	4,975.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
指標説明		償還金の口座振替件数						
(成果)修学資金の新貸付件数	件	40.00	30.00	20.00	20.00	20.00	20.00	20.00
	指標説明	20.00	15.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
指標説明		進学希望者への貸付件数 令和2年度より学費減免制度開始						
(活動)母子父子寡婦福祉資金貸付金貸付額	千円	80,000.00	55,000.00	60,000.00	60,000.00	60,000.00	60,000.00	60,000.00
	指標説明	53,914.00	58,754.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
指標説明		母子父子寡婦福祉資金貸付金は21年度より実施						
(成果)元利償還金収納率	%	70.00	70.00	70.00	70.00	70.00	70.00	70.00
	指標説明	61.80	59.45	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
指標説明		元利償還金の収納率(現年・過年度)						

# 事務事業評価シート（1/2）

271 頁  
令和 5年 9月 5日

整理番号 0091  
評価年度 令和 4年度  
所属 1406  
事務事業番号 04215

進捗区分 評価完了  
福祉部子ども未来局子ども家庭課  
出産・子育て応援給付事業

所属長名 藤川 義則  
記入者 北野 喜之

## 【基本情報】

総合計画	03	大津市総合計画 第2期実行計画				
基本方針	001	子どもから高齢者までが輝いて、魅力あふれるまちを創ります				
基本政策	001	子どもの未来が輝くまちにします				
施策	001	子ども・子育て支援の充実				
取組の方向性	001	出産前からの切れ目のない支援				
事務事業	027	出産・子育て応援給付事業				
新規継続区分	新規					
運営方法	直営					
評価区分	対象	主な取組区分				
根拠法令等	大津市出産・子育て応援給付金支給事業実施要綱					
事業概要	国において、妊娠期から出産・子育てまで一貫して身近で相談に応じ、様々なニーズに即した必要な支援につなぐ伴走型の相談支援の充実を行うとともに、妊娠届出や出産届出を行った妊婦等に対し、出産育児等の負担軽減を図る経済的支援を一体的に実施する事業のうち、経済的支援として「出産応援給付」「子育て応援給付」各5万円を給付している。					
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	核家族化が進み、地域のつながりも希薄となる中で、孤立感や不安感を抱く妊婦・子育て家庭も少なくない。全ての妊婦・子育て家庭が安心して出産・子育てができる環境整備が喫緊の課題である。妊娠期から出産・子育てまで一貫して身近で相談に応じ、様々なニーズに即した必要な支援につなぐ伴走型の相談支援を充実し、経済的支援を一体として実施する事業を支援する交付金が創設された。					

## 【事業分析】

対象(何又は誰を)	妊婦や0歳から2歳の低年齢期の子育て家庭を対象に
目的(何のために)	妊娠届出や出産届出を行った妊婦等に対し、出産育児等の負担軽減を図る
手段(どのようなやり方で)	妊婦や新生児等を養育している方に出産応援給付・子育て応援給付を支給
成果(どのような状態にするのか)	全ての妊婦・子育て家庭が安心して出産・子育てができる環境整備

## 【コスト】

(単位：千円)

	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
	決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト	0	255,693	339,145	251,211	251,211	251,211	251,211
事業費	0	248,846	331,269	244,583	244,583	244,583	244,583
国庫支出金	0	207,359	217,333	162,292	162,292	162,292	162,292
県支出金	0	41,487	54,333	41,145	41,145	41,145	41,145
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0
一般財源	0	0	59,603	41,146	41,146	41,146	41,146
人件費計	0	6,847	7,876	6,628	6,628	6,628	6,628
事務・技術(人)	0.00	0.85	0.66	0.50	0.50	0.50	0.50
技能労務(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度任用(人)	0.00	0.07	0.88	0.88	0.88	0.88	0.88
嘱託(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0



# 事務事業評価シート（2/2）

272 頁  
令和 5年 9月 5日

整理番号 0091  
 評価年度 令和 4年度 進捗区分 評価完了  
 所属 1406 福祉部子ども未来局子ども家庭課  
 事務事業番号 04215 出産・子育て応援給付事業

### 【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称

### 【定量評価】

上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
(活動) 応援給付申請 案内件数	数	0.00	5,700.00	4,800.00	4,800.00	4,800.00	4,800.00	4,800.00
		0.00	5,972.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果) 応援給付支給 決定人数	人	0.00	5,700.00	4,800.00	4,800.00	4,800.00	4,800.00	4,800.00
		0.00	4,947.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

### 【定性評価】

評価項目	評価の観点	基準	評価
1 妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A 妥当である	A
		B ほぼ妥当である	
		C あまり妥当ではない	
		D 妥当ではない	
評価理由	国の実施要綱で、実施主体は市町村と定められている		
2 有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A 上がっている	A
		B やや上がっている	
		C あまり上がっていない	
		D 上がっていない	
評価理由	令和5年2月に申請案内を送付してから短期間で支給決定できた		
3 効率性	事業手法は効率的であるか	A 効率的である	A
		B やや効率的である	
		C あまり効率的でない	
		D 効率的でない	
評価理由	電子申請方式により、申請から支給決定まで迅速に対応できた		
4 施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A 貢献している	A
		B やや貢献している	
		C あまり貢献していない	
		D 貢献していない	
評価理由	出産前からの切れ目ない支援の充実につながっている		
評価理由			

### 【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
所属コメント (400文字)	当該事業は、「伴走型相談支援」と一体となって実施する事業であり、健康推進課やすこやか相談所などと連携を図りながら、妊娠届出や出産届出を行った妊婦等に対し、「出産応援給付」「子育て応援給付」を計画どおり迅速に給付し、出産育児等の負担軽減が図れるように事業の推進を図っていく。		

### 【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
部局コメント (400文字)	当該事業は経済的支援につながり、有効な施策と評価できることから、継続して関係所属と連携を図りながら計画通りにすすめていく。		

# 事務事業評価指標一覧

評価年度 令和 4年度 進捗区分 評価完了  
 所属 1406 福祉部子ども未来局子ども家庭課  
 総合計画 03 大津市総合計画 第2期実行計画  
 事務事業番号 04215 出産・子育て応援給付事業

上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
(活動) 応援給付申請案内件数	数	0.00 0.00	5,700.00 5,972.00	4,800.00 0.00	4,800.00 0.00	4,800.00 0.00	4,800.00 0.00	4,800.00 0.00
	指標説明	「出産応援給付」「子育て応援給付」の申請案内の件数						
(成果) 応援給付支給決定人数	人	0.00 0.00	5,700.00 4,947.00	4,800.00 0.00	4,800.00 0.00	4,800.00 0.00	4,800.00 0.00	4,800.00 0.00
	指標説明	「出産応援給付」「子育て応援給付」の支給決定者数						

# 事務事業評価シート（1/2）

274 頁  
令和 5年 9月 5日

整理番号 0092  
評価年度 令和 4年度  
所属 1407  
事務事業番号 00020

進捗区分 所属評価  
福祉部子ども未来局子ども・子育て安心課  
子育て短期支援事業

所属長名 西 健次  
記入者 草野 陽介

【基本情報】

総合計画	03	大津市総合計画 第2期実行計画				
基本方針	001	子どもから高齢者までが輝いて、魅力あふれるまちを創ります				
基本政策	001	子どもの未来が輝くまちにします				
施策	001	子ども・子育て支援の充実				
取組の方向性	001	出産前からの切れ目のない支援				
事務事業	005	子育て短期支援事業				
新規継続区分	継続					
運営方法	民間委託					
評価区分	対象	主な取組区分	対象外			

根拠法令等	子育て短期支援事業実施要綱				
事業概要	<p>(事業概要)</p> <p>児童を養育している家庭において、保護者の疾病、出産、仕事の理由等によって、家庭での児童の養育が一時的に困難になった場合に乳児院若しくは児童養護施設又は里親において一時的に養育することにより、これらの児童及びその家庭の福祉の向上を図るため、短期入所生活援助（ショートステイ）事業と夜間養護（トワイライトステイ）を実施する。</p>				
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	<p>(事業を取りまく社会環境)</p> <p>保護者の疾病、出産、仕事の理由等により、保護者の養育が一時的に困難になった場合に里親や児童養護施設に預けて一時的に養育することで、児童及び家庭の福祉の向上を図る必要がある。</p> <p>(見直しや改善等の経過)</p> <p>令和3年度より、対象年齢を拡充し、また保護者の育児疲れにも対応できるようにしている。</p>				

【事業分析】

対象(何又は誰を)	児童を養育している家庭を対象に
目的(何のために)	家庭での児童の養育が一時的に困難になった場合に
手段(どのようなやり方で)	乳児院、児童養護施設、里親での短期入所生活援助（ショートステイ）事業及び、児童養護施設、里親での夜間養護（トワイライトステイ）事業の実施により、一時的に養育することで
成果(どのような状態にするのか)	児童及びその家庭の福祉の向上を図る。

【コスト】 (単位：千円)

	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
	決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト	4,037	4,741	5,170	5,521	5,840	5,840	5,840
事業費	2,437	3,181	2,830	3,181	3,500	3,500	3,500
国庫支出金	892	928	823	1,066	1,172	1,172	1,172
県支出金	892	928	823	1,066	1,172	1,172	1,172
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0
一般財源	653	1,325	1,184	1,049	1,156	1,156	1,156
人件費計	1,600	1,560	2,340	2,340	2,340	2,340	2,340
事務・技術(人)	0.20	0.20	0.30	0.30	0.30	0.30	0.30
技能労務(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度任用(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
嘱託(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

# 事務事業評価シート（2/2）

275 頁  
令和 5年 9月 5日

整理番号 0092  
 評価年度 令和 4年度 進捗区分 所属評価  
 所属 1407 福祉部子ども未来局子ども・子育て安心課  
 事務事業番号 00020 子育て短期支援事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-15-10-05-28-00-19-00	子育て短期支援事業費	福祉部子ども未来局子ども家庭相談室

【定量評価】

指標名	単位	上段：目標値 下段：実績値						
		令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
(活動)相談件数	件	103.00	150.00	200.00	200.00	220.00	220.00	220.00
		156.00	208.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果)利用延日数	日	220.00	340.00	450.00	450.00	480.00	480.00	480.00
		340.00	459.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果)利用延人数	人	75.00	120.00	180.00	180.00	190.00	190.00	190.00
		120.00	180.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

【定性評価】

評価項目	評価の観点	基準	評価
1 妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A 妥当である	A
		B ほぼ妥当である	
		C あまり妥当ではない	
		D 妥当ではない	
評価理由	児童の養育が一時的に困難になったことに対する事業として妥当		
2 有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A 上がっている	A
		B やや上がっている	
		C あまり上がっていない	
		D 上がっていない	
評価理由	様々な事情に対し、適切に事業運用を行い目標が達成されている		
3 効率性	事業手法は効率的であるか	A 効率的である	A
		B やや効率的である	
		C あまり効率的でない	
		D 効率的でない	
評価理由	児童及び家庭の福祉の向上を図るものであり効率的である		
4 施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A 貢献している	A
		B やや貢献している	
		C あまり貢献していない	
		D 貢献していない	
評価理由	一時的に養育が困難な家庭に寄り添う事業として実施できている		
評価理由			

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
所属コメント (400文字)	利用数は増加してきており、今後も一時的に養育が困難になった家庭に寄り添いながら、事業の適切な運用を行っていく。		

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
部局コメント (400文字)	利用が増加している状況を踏まえ、事業の適切な実施に努めていく。事業の実施においては、今後も子どもや家庭に必要な対応を丁寧に行なっていく。		

# 事務事業評価指標一覧

評価年度 令和 4年度 進捗区分 所属評価  
 所属 1407 福祉部子ども未来局子ども・子育て安心課  
 総合計画 03 大津市総合計画 第2期実行計画  
 事務事業番号 00020 子育て短期支援事業

上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
(活動)相談件数	件	103.00	150.00	200.00	200.00	220.00	220.00	220.00
	指標説明	156.00	208.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
相談件数								
(成果)利用延日数	日	220.00	340.00	450.00	450.00	480.00	480.00	480.00
	指標説明	340.00	459.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
事業利用件数 (利用延日数)								
(成果)利用延人数	人	75.00	120.00	180.00	180.00	190.00	190.00	190.00
	指標説明	120.00	180.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
事業利用件数 (利用延人数)								

# 事務事業評価シート（1/2）

277 頁  
令和 5年 9月 5日

整理番号 0093  
評価年度 令和 4年度  
所属 1407  
事務事業番号 00068

進捗区分 所属評価  
福祉部子ども未来局子ども・子育て安心課  
家庭児童相談室運営事業

所属長名 西 健次  
記入者 立仙 雄介

【基本情報】

総合計画	03	大津市総合計画 第2期実行計画				
基本方針	001	子どもから高齢者までが輝いて、魅力あふれるまちを創ります				
基本政策	001	子どもの未来が輝くまちにします				
施策	002	子どもを守る仕組みの充実				
取組の方向性	001	子どもの人権の尊重				
事務事業	005	家庭児童相談室運営事業				
新規継続区分	継続					
運営方法	直営					
評価区分	対象	主な取組区分	対象			

根拠法令等	児童福祉法、児童虐待の防止等に関する法律、家庭児童相談室設置運営要綱				
事業概要	<p>(事業概要)</p> <p>児童に係る家庭での適正な養育や福祉向上のため、家庭相談員が面談や訪問、電話等により専門的な相談指導を行う。特に、子どもの心身の成長等に重大な影響を与える児童虐待に対しては、相談対応を行うとともに、福祉、教育、警察など、子どもと家庭に関わる多様な機関で構成される「要保護児童対策地域協議会」の調整機関として各機関と連携し、子どもと家庭及び特定妊婦に対する支援・見守りを行い、児童虐待の早期発見・早期対応及び未然防止を図っていく。また、児童虐待の未然防止の取組みとして、研修会も開催する。</p>				
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	<p>(事業を取りまく社会環境)</p> <p>児童と家庭に関する相談は年々多様化・複雑化している。また、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響も考慮する必要がある。</p> <p>(見直しや改善等の経過)</p> <p>大津市要保護児童対策地域協議会を中心に関係機関の連携や支援体制の充実を図ってきた。また、児童虐待の未然防止のため、必要に応じてプログラム研修を実施している。</p>				

【事業分析】

対象(何又は誰を)	特定妊婦と18歳未満の子どもとその保護者を対象に
目的(何のために)	子どもや家庭への支援及び、児童虐待の早期発見・早期対応、未然防止を図るために
手段(どのようなやり方で)	面接・訪問・電話等での相談・支援及び、要保護児童対策地域協議会におけるケース会議等の実施や関係機関と連携・協働した、子どもと保護者への支援・見守りを実施することで
成果(どのような状態にするのか)	子どもや家庭への適切な支援と児童虐待の早期発見・早期対応及び未然防止を目指す。

【コスト】 (単位：千円)

	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
	決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト	75,089	80,916	81,734	83,059	82,355	82,339	84,555
事業費	5,670	5,969	3,841	5,166	4,462	4,446	6,662
国庫支出金	2,931	681	516	516	516	516	516
県支出金	578	556	363	363	363	363	363
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	170	0	0	0	0	0	0
一般財源	1,991	4,732	2,962	4,287	3,583	3,567	5,783
人件費計	69,419	74,947	77,893	77,893	77,893	77,893	77,893
事務・技術(人)	2.55	3.53	4.00	4.00	4.00	4.00	4.00
技能労務(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用(人)	2.77	2.70	2.90	2.90	2.90	2.90	2.90
会計年度任用(人)	10.63	10.33	9.73	9.73	9.73	9.73	9.73
嘱託(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

# 事務事業評価シート（2/2）

整理番号 0093  
 評価年度 令和 4年度 進捗区分 所属評価  
 所属 1407 福祉部子ども未来局子ども・子育て安心課  
 事務事業番号 00068 家庭児童相談室運営事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-15-10-05-16-00-01-00	家庭児童相談室運営事業費	福祉部子ども未来局子ども家庭相談室
01-15-10-05-16-00-02-00	会計年度任用職員雇用経費	福祉部子ども未来局子ども家庭相談室

【定量評価】

指標名	単位	上段：目標値 下段：実績値						
		令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
(活動)相談件数	件	23,000.00	27,000.00	30,000.00	30,000.00	30,000.00	30,000.00	30,000.00
		26,949.00	25,849.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(活動)要保護児童対策地域協議会、実務者会議等	回	1,000.00	300.00	300.00	300.00	300.00	300.00	300.00
		586.00	266.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果)相談処理件数	件	3,600.00	4,000.00	4,000.00	4,000.00	4,000.00	4,000.00	4,000.00
		3,849.00	3,902.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果)児童虐待把握件数	人	1,500.00	1,500.00	1,500.00	1,500.00	1,500.00	1,500.00	1,500.00
		1,278.00	1,019.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

【定性評価】

評価項目	評価の観点	基準	評価
1 妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A 妥当である	A
		B ほぼ妥当である	
		C あまり妥当ではない	
		D 妥当ではない	
評価理由	児童福祉法に基づき、市が適切に対応する必要がある		
2 有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A 上がっている	A
		B やや上がっている	
		C あまり上がっていない	
		D 上がっていない	
評価理由	要保護児童対策地域協議会での連携により、対応・把握している		
3 効率性	事業手法は効率的であるか	A 効率的である	A
		B やや効率的である	
		C あまり効率的でない	
		D 効率的でない	
評価理由	各機関との連携で効率化を図る余地はあるが、概ね効率的である		
4 施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A 貢献している	A
		B やや貢献している	
		C あまり貢献していない	
		D 貢献していない	
評価理由	子どもや家庭に寄り添い支える事で、子どもの健全な育成に繋がる		
評価理由			

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
所属コメント (400文字)	子どもの心身の成長や人格の形成に重大な影響を及ぼす児童虐待については、社会全体で取り組むべき重大な課題である。そのため、子どもと家庭に関わる関係機関が連携・協力し、それぞれが役割を担いながら、継続した子どもや家庭への支援、見守りを行うとともに、児童虐待の未然防止及び、早期発見、早期対応を図っていく。また、未然防止を図るため、今後子どもや保護者からの相談への対応を大切にするとともに、本市における児童虐待対応の状況を踏まえながら、必要な未然防止対策を検討していく。		

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
部局コメント (400文字)	児童虐待への対応については、多機関連携が重要であることから、関係機関の更なる意識醸成を図りながら、引き続き早期発見、早期対応及び未然防止に努めていく。また、相談対応においては、子どもや家庭の状況を踏まえて寄り添った支援を行い、子どもの心身の健全な育成を目指していく。		

# 事務事業評価指標一覧

評価年度 令和 4年度 進捗区分 所属評価  
所属 1407 福祉子ども未来局子ども・子育て安心課  
総合計画 03 大津市総合計画 第2期実行計画  
事務事業番号 00068 家庭児童相談室運営事業

上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
(活動)相談件数	件	23,000.00 26,949.00	27,000.00 25,849.00	30,000.00 0.00	30,000.00 0.00	30,000.00 0.00	30,000.00 0.00	30,000.00 0.00
	指標説明	面接相談、電話相談、家庭訪問による延べ相談件数						
(活動)要保護児童対策地域協議会、実務者会議等	回	1,000.00 586.00	300.00 266.00	300.00 0.00	300.00 0.00	300.00 0.00	300.00 0.00	300.00 0.00
	指標説明	児童虐待防止の支援体制づくりの連絡調整会議数とケース会議数※令和4年度より回数を児童から世帯単位へ						
(成果)相談処理件数	件	3,600.00 3,849.00	4,000.00 3,902.00	4,000.00 0.00	4,000.00 0.00	4,000.00 0.00	4,000.00 0.00	4,000.00 0.00
	指標説明	送致や通告、調査、施設入所措置、斡旋、助言等						
(成果)児童虐待把握件数	人	1,500.00 1,278.00	1,500.00 1,019.00	1,500.00 0.00	1,500.00 0.00	1,500.00 0.00	1,500.00 0.00	1,500.00 0.00
	指標説明	相談・通告等による把握児童数						



# 事務事業評価シート（1/2）

280 頁  
令和 5年 9月 5日

整理番号 0094  
 評価年度 令和 4年度  
 所属 1407  
 事務事業番号 03823

進捗区分 所属評価  
 福祉部子ども未来局子ども・子育て安心課  
 子どもの居場所づくり事業

所属長名 西 健次  
 記入者 笠 光彦

## 【基本情報】

総合計画	03	大津市総合計画 第2期実行計画				
基本方針	001	子どもから高齢者までが輝いて、魅力あふれるまちを創ります				
基本政策	001	子どもの未来が輝くまちにします				
施策	002	子どもを守る仕組みの充実				
取組の方向性	002	子どもの貧困対策				
事務事業	004	子どもの居場所づくり事業				
新規継続区分	継続					
運営方法	民間委託					
評価区分	対象	主な取組区分	対象			
根拠法令等						
事業概要	(事業概要) 様々な要因により、孤独を感じたり、支援を必要とする子どもが増えてきている状況を鑑みて、子どもたちが安心して過ごせる場所を提供し、当該場所において、学習支援や生活支援等を行うことによって、子どもの健全な育成を図る。					
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	(事業を取りまく社会環境) 様々な要因により、孤独を感じたり、支援を必要とする子どもが増えており、子どもの健全な育成のため、安心・安全な子どもの居場所が必要となってきている。 (見直しや改善等の経過) 子どもの居場所づくり事業については、令和3年度より、これまでの日中の居場所づくり事業と夜間のトワイライト事業を統合し、「子どもの居場所づくり事業」として2事業所で実施。令和4年度は3事業所に拡充し、また、令和5年度からは事業の実施にかかる体制の充実を図っている。					

## 【事業分析】

対象(何又は誰を)	小学生から18歳に達するまでの要支援児童及び要保護児童を対象に
目的(何のために)	子どもの健全な育成のために
手段(どのようなやり方で)	子どもたちが安心して過ごせる場所を提供し、学習支援や生活支援等を行うことによって
成果(どのような状態にするのか)	様々な要因により、孤独を感じたり、支援を必要とする子どもの健全な育成を目指す。

## 【コスト】

(単位：千円)

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
	決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト	9,334	12,460	14,360	17,028	18,358	19,634	20,834
事業費	7,160	10,900	11,630	14,298	15,628	16,904	18,104
国庫支出金	7,060	7,266	7,753	9,580	10,471	11,326	12,129
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0
一般財源	100	3,634	3,877	4,718	5,157	5,578	5,975
人件費計	2,174	1,560	2,730	2,730	2,730	2,730	2,730
事務・技術(人)	0.25	0.20	0.35	0.35	0.35	0.35	0.35
技能労務(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用(人)	0.03	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度任用(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
嘱託(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

# 事務事業評価シート（2/2）

281 頁  
令和 5年 9月 5日

整理番号 0094  
 評価年度 令和 4年度 進捗区分 所属評価  
 所属 1407 福祉部子ども未来局子ども・子育て安心課  
 事務事業番号 03823 子どもの居場所づくり事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-15-10-05-16-00-04-00	子どもの居場所づくり事業	福祉部子ども未来局子ども家庭相談室

【定量評価】

指標名	単位	上段：目標値 下段：実績値						
		令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
(活動)相談件数	件	100.00	150.00	170.00	170.00	170.00	170.00	170.00
		126.00	168.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果)利用回数	回	500.00	750.00	1,000.00	1,000.00	1,000.00	1,000.00	1,000.00
		647.00	918.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果)利用延人数	人	200.00	450.00	560.00	560.00	560.00	560.00	560.00
		397.00	551.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

【定性評価】

評価項目	評価の観点	基準	評価
1 妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A 妥当である	A
		B ほぼ妥当である	
		C あまり妥当ではない	
		D 妥当ではない	
評価理由	市が主体となり、事業者へ委託する手段が妥当である。		
2 有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A 上がっている	A
		B やや上がっている	
		C あまり上がっていない	
		D 上がっていない	
評価理由	適切な事業の実施により、目標が達成できている。		
3 効率性	事業手法は効率的であるか	A 効率的である	A
		B やや効率的である	
		C あまり効率的でない	
		D 効率的でない	
評価理由	効率的に子どもの健全な育成に寄与している。		
4 施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A 貢献している	A
		B やや貢献している	
		C あまり貢献していない	
		D 貢献していない	
評価理由	事業所と協働して子どもの健全な育成に寄与している。		
評価理由			

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
所属コメント (400文字)	令和4年度は、2事業所から3事業所に拡充して事業を実施した。令和5年度は、委託単価設定を一部見直し、より充実した人員体制で事業を実施できるようにする。今後も、様々な要因により、居場所を必要とする子どもたちに対して、寄り添い、安心できる場として当該事業を実施していくとともに、子どもたちが想いを話せる場として、継続的な事業の実施を目指していく。		

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
部局コメント (400文字)	当該事業によって、居場所を必要とする子どもたちが安心して居場所づくりに努めるとともに、事業の評価を行いながら適切に実施していく。		



# 事務事業評価シート（1/2）

283 頁  
令和 5年 9月 5日

整理番号 0095  
評価年度 令和 4年度  
所属 1430  
事務事業番号 00041

進捗区分 評価完了  
福祉部子ども未来局児童クラブ課  
放課後児童健全育成事業

所属長名 白子 広治  
記入者 松田 泰典

## 【基本情報】

総合計画	03	大津市総合計画 第2期実行計画				
基本方針	001	子どもから高齢者までが輝いて、魅力あふれるまちを創ります				
基本政策	001	子どもの未来が輝くまちにします				
施策	001	子ども・子育て支援の充実				
取組の方向性	003	児童クラブの量の確保と質の向上				
事務事業	001	放課後児童健全育成事業				
新規継続区分	継続					
運営方法	直営					
評価区分	対象	主な取組区分	対象			
根拠法令等	児童福祉法、大津市立児童クラブ条例					
事業概要	<p>(事業概要)</p> <p>仕事やその他の理由から、放課後、家庭で保育を受けることが困難な小学校児童の健全育成を図るため、市内70か所（うち民間33か所）に児童クラブを開設している。</p> <p>市立児童クラブは平成13年4月に従前の学童保育所を公営化したもので、近年、子どもの数は減少しているものの、共働き家庭や核家族化の増加等から、児童クラブを希望する児童は増加している。</p>					
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	<p>(事業を取りまく社会環境)</p> <p>今日、大津市全体の小学生の数は減少しているが、保育所等の整備が進んだ結果、児童クラブの利用ニーズが増加しており、一部の学区については公立児童クラブの狭あい化が問題となっている。</p> <p>(見直しや改善等の経過)</p> <p>公立児童クラブは児童数の増加から狭あい化が進んでおり、平成23年度以降民間児童クラブの参入促進を図っている。公立施設は長く使い続けられるよう適時修繕等を行い、適切な維持管理に努めている。</p>					

## 【事業分析】

対象(何又は誰を)	就労等により保護者が昼間家庭にいない児童を
目的(何のために)	放課後、家庭において保育を受けることが困難な小学校児童の健全育成を図り、就労と子育ての両面を支援するため
手段(どのようなやり方で)	安全と衛生に配慮した施設管理を進め、児童の健全育成を図るために適切な遊び及び生活の場を与えることで
成果(どのような状態にするのか)	児童の放課後の生活を充実させ、保護者が安心して就労等ができる。

## 【コスト】

(単位：千円)

	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
	決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト	217,383	194,218	210,121	208,831	208,737	208,737	208,737
事業費	187,736	165,051	180,954	179,664	179,570	179,570	179,570
国庫支出金	33,174	25,062	24,873	24,873	24,873	24,873	24,873
県支出金	33,174	24,060	23,755	23,755	23,755	23,755	23,755
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	88,213	92,868	93,275	93,275	93,275	93,275	93,275
一般財源	33,175	23,061	39,051	37,761	37,667	37,667	37,667
人件費計	29,647	29,167	29,167	29,167	29,167	29,167	29,167
事務・技術(人)	2.40	2.40	2.40	2.40	2.40	2.40	2.40
技能労務(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度任用(人)	3.37	3.37	3.37	3.37	3.37	3.37	3.37
嘱託(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

# 事務事業評価シート（2/2）

284 頁  
令和 5年 9月 5日

整理番号 0095  
 評価年度 令和 4年度 進捗区分 評価完了  
 所属 1430 福祉部子ども未来局児童クラブ課  
 事務事業番号 00041 放課後児童健全育成事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-15-10-40-69-00-01-00	放課後児童健全育成事業費	福祉部子ども未来局児童クラブ課

【定量評価】

指標名	単位	上段：目標値 下段：実績値						
		令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
(活動) 公立の入所児童数 ※目標を下回ること	人	3,263.00	3,223.00	3,208.00	3,208.00	3,208.00	3,208.00	3,208.00
		2,910.00	3,008.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果) 公立の受入可能人数に対する5月1日現在の入所率	率	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00
		89.18	93.33	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

【定性評価】

評価項目	評価の観点	基準	評価
1 妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A 妥当である	A
		B ほぼ妥当である	
		C あまり妥当ではない	
		D 妥当ではない	
評価理由	各小学校と密接な連携を持つには公設公営が妥当である		
2 有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A 上がっている	A
		B やや上がっている	
		C あまり上がっていない	
		D 上がっていない	
評価理由	待機児童が発生することなく受け入れており、有効である		
3 効率性	事業手法は効率的であるか	A 効率的である	A
		B やや効率的である	
		C あまり効率的でない	
		D 効率的でない	
評価理由	国県補助金を活用し会計年度職員による運営で費用対効果が高い		
4 施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A 貢献している	A
		B やや貢献している	
		C あまり貢献していない	
		D 貢献していない	
評価理由	保護者の就労と子育ての両面を支援しており施策に貢献している		
評価理由			

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
所属コメント (400文字)	放課後児童健全育成事業の更なる充実を図るため、施設の狭あい化解消と保育環境の充実に努めるとともに、長く使い続けられるよう適時修繕等を行い、引き続き適切な維持管理に努めていく。		

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
部局コメント (400文字)	少子化対策の施策として子育て支援の充実が求められており、児童クラブの必要性や重要性が益々高まってきている中、施設の狭あい化解消と適切な施設の維持管理・整備により、保育環境の向上の取り組みを推進していく。		

# 事務事業評価指標一覧

評価年度 令和 4年度 進捗区分 評価完了  
 所属 1430 福祉子ども未来局児童クラブ課  
 総合計画 03 大津市総合計画 第2期実行計画  
 事務事業番号 00041 放課後児童健全育成事業

上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
(活動) 公立の在所児童数 ※目標を下回ること	人	3,263.00	3,223.00	3,208.00	3,208.00	3,208.00	3,208.00	3,208.00
	指標説明	5月1日現在の在所児童数(実状に合わせ、令和3年度からは受入可能人数を目標値とし下回ることを指標とする)						
(成果) 公立の受入可能人数に対する5月1日現在の入所率	率	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00
	指標説明	令和3年度からの成果指標。狭あい化解消のため100%を下回ることを指標とする。						

# 事務事業評価シート（1/2）

286 頁  
令和 5年 9月 5日

整理番号 0096  
 評価年度 令和 4年度  
 所属 1430  
 事務事業番号 02616

進捗区分 評価完了  
 福祉部子ども未来局児童クラブ課  
 民間児童クラブ運営助成事業

所属長名 白子 広治  
 記入者 松田 泰典

## 【基本情報】

総合計画	03	大津市総合計画 第2期実行計画				
基本方針	001	子どもから高齢者までが輝いて、魅力あふれるまちを創ります				
基本政策	001	子どもの未来が輝くまちにします				
施策	001	子ども・子育て支援の充実				
取組の方向性	003	児童クラブの量の確保と質の向上				
事務事業	004	民間児童クラブ運営助成事業				
新規継続区分	継続					
運営方法	その他					
評価区分	対象	主な取組区分	対象			

根拠法令等	児童福祉法、大津市児童福祉法に基づく放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例				
事業概要	(事業概要) 急激な児童数の増加に伴う公立児童クラブの狭あい化を解消し、保護者の保育ニーズに応える選択肢を増やすため、民間児童クラブの参入を促進する。				
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	(事業を取りまく社会環境) 今日、大津市全体の小学生の数は減少しているが、保育所等の整備が進んだ結果、児童クラブの利用ニーズが増加しており、一部の学区については公立児童クラブの狭あい化が問題となっている。 (これまでの見直し) 平成23年度から民間の児童クラブが開設し、補助金交付により運営を支援している。近年、公立児童クラブの狭あい化を解消するため、民間児童クラブの開設にかかる補助金の交付等により、参入を促進している。				

## 【事業分析】

対象(何又は誰を)	社会福祉法人をはじめとする民間事業者に対して
目的(何のために)	児童クラブ通所児童数の増加による公立児童クラブの狭あい化を解消するため
手段(どのようなやり方で)	運営や開設にかかる補助金に加えて、土地建物の賃借料や送迎バスの購入費等に対する市独自の補助金を交付することで
成果(どのような状態にするのか)	民間児童クラブの参入を促進するとともに保育環境の充実を図る。

## 【コスト】 (単位：千円)

	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
	決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト	277,031	315,755	344,691	432,218	457,160	482,102	507,044
事業費	269,031	307,955	336,891	424,418	449,360	474,302	499,244
国庫支出金	92,446	97,092	105,156	131,957	137,041	142,115	147,189
県支出金	71,609	90,254	94,258	121,059	126,143	131,217	136,291
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0
一般財源	104,976	120,609	137,477	171,402	186,176	200,970	215,764
人件費計	8,000	7,800	7,800	7,800	7,800	7,800	7,800
事務・技術(人)	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00
技能労務(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度任用(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
嘱託(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

# 事務事業評価シート（2/2）

287 頁  
令和 5年 9月 5日

整理番号 0096  
 評価年度 令和 4年度 進捗区分 評価完了  
 所属 1430 福祉部子ども未来局児童クラブ課  
 事務事業番号 02616 民間児童クラブ運営助成事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-15-10-40-69-00-02-00	民間児童クラブ運営助成事業費	福祉部子ども未来局児童クラブ課

【定量評価】

指標名	単位	上段：目標値 下段：実績値						
		令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
(活動)民間クラブ受入可能人数(施設の生活面積/1.65㎡)	人	1,164.00	1,346.00	1,923.00	1,923.00	0.00	0.00	0.00
		1,669.00	1,764.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果)一人当たりの基準面積を満たす公立児童クラブ数	箇所	27.00	28.00	29.00	30.00	31.00	32.00	33.00
		27.00	24.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

【定性評価】

評価項目	評価の観点	基準	評価
1 妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A 妥当である	A
		B ほぼ妥当である	
		C あまり妥当ではない	
		D 妥当ではない	
評価理由	公立児童クラブの狭あい化の解消に貢献しており、妥当である		
2 有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A 上がっている	A
		B やや上がっている	
		C あまり上がっていない	
		D 上がっていない	
評価理由	民間児童クラブは年々増加しており、利用者も増加している		
3 効率性	事業手法は効率的であるか	A 効率的である	A
		B やや効率的である	
		C あまり効率的でない	
		D 効率的でない	
評価理由	公立児童クラブの整備費や人件費に比してコスト削減となっている		
4 施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A 貢献している	A
		B やや貢献している	
		C あまり貢献していない	
		D 貢献していない	
評価理由	公立クラブの狭あい化が解消され子育て環境の充実に寄与している		
評価理由			

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	拡大
所属コメント (400文字)	児童一人当たりの生活面積が少ない公立児童クラブの所在する地域に対して民間児童クラブの開設を進める。公立児童クラブの通所児童や新規申込者に対して民間児童クラブの利用を周知し、通所を誘導する。運営補助金の概算払いを行い、民間児童クラブの安定経営を支援する。		

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	拡大
部局コメント (400文字)	公立児童クラブの狭あい化の解消が喫緊の課題となっており、引き続き民間児童クラブの開設と安定経営を支援するとともに利用促進を図り保育環境の充実に努めていく。		



# 事務事業評価指標一覧

288 頁  
令和 5年 9月 5日

評価年度 令和 4年度 進捗区分 評価完了  
 所属 1430 福祉部子ども未来局児童クラブ課  
 総合計画 03 大津市総合計画 第2期実行計画  
 事務事業番号 02616 民間児童クラブ運営助成事業 上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
(活動)民間クラブ受入可能人数(施設の生活面積/1.65㎡)	人	1,164.00	1,346.00	1,923.00	1,923.00	0.00	0.00	0.00
	指標説明	子ども・若者支援計画(令和6年度まで)に掲げる目標値一市立児童クラブ受入可能人数(施設の生活面積を1.65㎡で除した数)						
(成果)一人当たりの基準面積を満たす公立児童クラブ数	箇所	27.00	28.00	29.00	30.00	31.00	32.00	33.00
	指標説明	5月1日現在の児童数で一人当たりの基準面積を算定						